

令和7年7月15日

国土交通省関東地方整備局

企画部・港湾空港部

令和6年度 優良工事等表彰式の開催について

～併せて、令和6年度の関東インフラDX大賞の授与を行います～

関東地方整備局では、令和6年度に完成した工事、完了した業務の中から、「特に優れた成績を収めた工事、業務、技術者」について、下記のとおり「令和6年度 優良工事等表彰式」にて表彰（局長表彰）しますので、お知らせします。

併せて、建設業界全体の「生産性向上」及び「働き方改革」等につながる優れた取組を行った工事・業務について、関東インフラDX大賞として表彰いたします。

1. 日時 令和7年7月17日（木）14時00分～17時00分（2回に分け開催）
 - ① 14時00分～15時30分 優良工事、優秀工事技術者、安全管理優良受注者、工事成績優秀企業認定
 - ② 16時00分～17時00分 優良業務、優秀技術者、関東インフラDX大賞
 2. 場所 さいたま新都心合同庁舎1号館 2階講堂
 3. 表彰（認定）件数及び人数 資料1～3参照
- ※上記3.の優良工事、優良業務等の概要及び表彰理由は、参考資料1～参考資料2を参照願います。関東インフラDX大賞の概要及び表彰理由は、参考資料3を参照願います。
- また、参考資料は関東地方整備局ホームページにて公開いたします。
4. 取材を希望される方は、別紙に基づき、電子メールにて申し込みください。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会

<問い合わせ先>

■優良工事等について（港湾空港関係除く）

所属：関東地方整備局 企画部

電話：048-601-3151（代表） E-mail：ktr-dx_icon20@ki.mlit.go.jp

氏名：総括技術検査官（工事全般） 飯野 （内線：3117）

工事品質調整官（業務全般） 渡辺 （内線：3118）

技術管理課長（DX大賞） 森 （内線：3311）

■優良工事等について（港湾空港関係のみ）

所属：関東地方整備局 港湾空港部

電話：045-211-7419（代表） FAX：045-211-0203（代表）

氏名：工事安全推進室 室長 北上 （内線：5708）

安全企画係長 末岡 （内線：5780）

報道機関の皆様へ

◆取材等の申し込みについて

【期 日】 令和 7 年 7 月 16 日（水）18：00 まで【申込み】

メールには、以下内容をご記載ください

件名：【取材希望】優良工事等局長表彰

本文：①氏名（ふりがな）、②社名、③連絡先（電話・Mail）

【送 付】 送付先：ktr-dx_icon20@ki.mlit.go.jp

◆その他

ご来館の際には以下についてご留意ください。

- ・ 写真撮影等は式の進行の妨げにならないようお願いいたします。
- ・ 腕章を持参のうえ、各社 1 名まででお願いします。

会場案内図

■さいたま新都心合同庁舎1号館 2階講堂

(埼玉県さいたま市中央区新都心1-1)

「さいたま新都心駅」徒歩5分(JR京浜東北・高崎・宇都宮線)

「北与野駅」徒歩10分(JR埼京線)

※ 公共交通をご利用ください。



1. 目的

（優良工事表彰）

優良工事表彰は、関東地方整備局発注の工事を受注し、その施工が優秀であって他の模範とするに足りるものを表彰することにより、技術の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

（優秀工事技術者表彰）

優秀工事技術者表彰は、関東地方整備局発注の工事を担当した現場代理人及び主任（監理）技術者の中から表彰を行うことにより、技術者の誇りと資質の向上を図り、円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

（安全管理優良受注者表彰）

安全管理優良受注者表彰は、安全管理に優れた受注者を表彰することにより、安全対策の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

（優良業務及び優秀技術者表彰）

優良業務及び優秀技術者表彰は、その成果及び業務への取り組み方が優秀であり他の模範となるものを表彰することにより、技術力の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

2. 選定方法

優良工事等の選定は、関東地方整備局及び管内の53事務所から推薦された河川、道路、営繕港湾・空港の工事及び業務の中から、優良工事等選定委員会（港湾空港関係については表彰審査委員会）において審査を行いました。

3. 選定方針

（優良工事）

- ①当該工事の成績が優良なもの、又はその功績が顕著なもの。
- ②工事の難易や創意工夫、安全対策への取り組み等が特に優れているもの。

（優秀工事技術者）

- ①当該工事技術者の担当した工事が優良であり、かつ、工事中における当該工事技術者の功績が顕著なもの。
- ②管理能力、技術能力、仕事に対する積極性、誠実性等が優れているもの。

（安全管理優良受注者）

- ①関東地方整備局発注の全工種（※港湾空港部を除く）及び港湾土木工事において、累計完成工事量が多く、過去3カ年度（令和4年4月1日～令和7年3月31日）無事故等を継続しているもの。

（優良業務及び優秀技術者）

- ①当該業務の成績が優良なもの、又はその功績が顕著なもの。
- ②業務計画段階から複雑な業務を掌握し、優れて企画力を発揮、積極的に斬新な提案を行うなど創意工夫がみられるもの。
- ③技術的に高度で複雑な業務を遂行し、優良な成果として取りまとめているもの。

4. 表彰される件数、人数(別紙1～別紙3参照)
- (1) 優良工事 49件(重複除き、47社)
 - (2) 優秀工事技術者 41名
 - (3) 安全管理優良受注者 205社(重複除き、174社)

各工種における受注者の内訳			
一般土木工事	: 105社	、 アスファルト舗装工事	: 10社
鋼橋上部工事	: 7社	、 造園工事	: 3社
建築工事	: 2社	、 電気設備工事	: 2社
暖冷房衛生設備工事	: 1社	、 セメント・コンクリート舗装工事	: 1社
プレストレスト・コンクリート舗装工事	: 4社		
法面処理工事	: 1社	、 塗装工事	: 1社
維持修繕工事	: 36社	、 河川しゅんせつ工事	: 2社
機械設備工事	: 7社	、 通信設備工事	: 11社
受変電設備工事	: 1社	、 橋梁補修工事	: 9社
港湾土木工事	: 2社		

- (4) 優良業務 64件(重複除き、41社)
- (5) 優秀技術者 64名(重複除き、61名)

■参考1 局長表彰数(工事)の昨年度との比較

種 別	表彰開始年度	令和6年度		令和5年度	
		対象件数	表彰数	対象件数	表彰数
優良工事	昭和50年度	969	49	978	64
優秀工事技術者	平成元年度		41		57
安全管理優良受注者※	平成13年度	-	205	-	198

※安全管理優良受注者は、令和2年度より対象を全工種(港湾空港部を除く)及び港湾土木工事としている。

■参考2 局長表彰数(業務)の昨年度との比較

種 別	表彰開始年度	令和6年度		令和5年度	
		対象件数	表彰数	対象件数	表彰数
優良業務	平成3年度	1,515	64	1,504	69
優秀技術者	平成3年度		64		75

5. 工事、業務の概要及び表彰理由

参考資料1～参考資料2参照

なお、記者発表資料及び参考資料については、下記のとおり公表いたします。

記者発表資料: (<https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/index00000003.html>)

優良工事等局長表彰: (<https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000022.html>)

6. その他

優良工事等局長表彰の受賞者は、入札契約手続きにおける企業及び担当技術者の技術力評価が優位になります。

令和6年度 優良工事・優秀技術者【局長表彰】（1／2）

	事務所	負担行為件名	工種	会社名	優秀工事技術者	
					技術者区分	氏名
1	常陸河川国道事務所	R5東関道延方西地区改良工事	一般土木工事	株式会社本間組 東京支店	監理技術者	大島 英明
2	常陸河川国道事務所	R4那珂川左岸野口排水樋管新設工事	一般土木工事	株式会社新井組 東京支店	監理技術者	山田 克好
3	常総国道事務所	R5東関道串挽野友地区改良工事	一般土木工事	日東エンジニアリング株式会社	監理技術者	林 隆広
4	日光砂防事務所	R4大真名子東沢砂防堰堤工事	一般土木工事	榎本建設株式会社	現場代理人 兼監理技術者	大出 豊
5	高崎河川国道事務所	R4国道17号洪川西BP2号函渠工事	一般土木工事	佐田建設株式会社	現場代理人	根岸 大輔
6	高崎河川国道事務所	R4烏川右岸根小屋地先井戸沢川下流護岸他工事	一般土木工事	池下工業株式会社	監理技術者	西巻 克始
7	利根川水系砂防事務所	R5片品上流第二砂防堰堤工事	一般土木工事	沼田土建株式会社	現場代理人 兼監理技術者	若杉 勝則
8	荒川上流河川事務所	R3入間川右岸古谷樋管改築工事	一般土木工事	戸田建設株式会社 関東支店	監理技術者	松坂 陽平
9	荒川上流河川事務所	R4荒川左岸平方地区低水護岸その1工事	一般土木工事	田部井建設株式会社	現場代理人	前林 陵平
10	北首都国道事務所	R5国道4号東埼玉道路吉川越谷地区改良その2工事	一般土木工事	関口工業株式会社	現場代理人	梶原 永智
11	北首都国道事務所	R5圏央道大生郷地区改良その4工事	一般土木工事	昭和建設株式会社	監理技術者	本田 秀一
12	利根川下流河川事務所	R5利根川左岸荒波樋管新設工事	一般土木工事	岡田土建株式会社	監理技術者	石毛 龍介
13	江戸川河川事務所	R5中川右岸中川五丁目地先堤防整備工事	一般土木工事	戸邊建設株式会社	監理技術者	嶋村 真一
14	江戸川河川事務所	R5江戸川右岸篠崎地先Aの1地区高規格堤防整備工事	一般土木工事	金杉建設株式会社	監理技術者	田中 佑季
15	相武国道事務所	R5国道20号八王子南BP館地区改良その22工事	一般土木工事	中部土木株式会社 東京支店	監理技術者	青木 昌義
16	京浜河川事務所	R5相模川左岸中島高潮堤防工事	一般土木工事	亀井工業株式会社	監理技術者	赤田 洋志
17	甲府河川国道事務所	R5中部横断道身延地区改良工事	一般土木工事	井上建設株式会社	現場代理人 兼監理技術者	鳥湯 徹
18	富士川砂防事務所	R2内河内第五砂防堰堤工事	一般土木工事	株式会社早野組		
19	長野国道事務所	R2国道20号下諏訪岡谷BP山田トンネル工事	一般土木工事	大成建設株式会社 北信越支店		
20	荒川調節池工事事務所	R4荒川第二調節池下大久保上流工区囲繞堤工事	一般土木工事	西武建設株式会社 関東支店	監理技術者	海老原 毅
21	久慈川緊急治水対策河川事務所	R4久慈川右岸頃藤南地区整備工事	一般土木工事	株式会社新井組 東京支店	監理技術者	宮原 基行
22	宇都宮国道事務所	R5国分寺出張所管内路面補修工事	アスファルト舗装工事	世紀東急工業株式会社 北関東支店	監理技術者	三木 真
23	千葉国道事務所	R4国道16号松ヶ崎地区上り(その2)電線共同溝工事	アスファルト舗装工事	大有建設株式会社 東京支店	監理技術者	青木 哲男
24	常総国道事務所	R4圏央道手代木橋上部その2工事	鋼橋上部工事	株式会社駒井ハルテック 東京本社		
25	常陸河川国道事務所	R5・R6鹿嶋国道管内緑地管理工事	造園工事	株式会社千本杉	主任技術者	伊藤 光一
26	鬼怒川ダム統合管理事務所	R5湯西川ダム選択取水施設棟外壁改修工事	建築工事	ミユキ建設株式会社		
27	営繕部	さいたま新都心合同庁舎2号館(22)電気設備改修工事	電気設備工事	日本電設工業株式会社	現場代理人	岩瀬 広行
28	営繕部	動物医薬品検査所(22)機械設備工事	暖冷房衛生設備工事	大成設備株式会社		
29	常総国道事務所	R4東関道古高築地地区跨道橋上部その2工事	プレストレスト・コンクリート工事	オリエンタル白石株式会社 東京支店		
30	富士川砂防事務所	R5中島砂防堰堤右岸斜面对策工事	法面処理工事	株式会社芦沢組土木	現場代理人 兼監理技術者	小尾 剛

令和6年度 優良工事・優秀技術者【局長表彰】（2／2）

	事務所	負担行為件名	工種	会社名	優秀工事技術者	
					技術者区分	氏名
31	常陸河川国道事務所	R5国道6号日立国道出張所管内防災他工事	維持修繕工事	鈴縫工業株式会社	監理技術者	武田 敏康
32	霞ヶ浦河川事務所	R5北浦左岸梶山地先外護岸補強工事	維持修繕工事	高橋建設株式会社	現場代理人 兼監理技術者	佐藤 敦
33	渡良瀬川河川事務所	R5・R6足利管内左岸維持管理工事	維持修繕工事	原工業株式会社	現場代理人 兼監理技術者	半田 修一
34	大宮国道事務所	R5春日部国道出張所管内構造物・舗装修繕他工事	維持修繕工事	北川ヒューテック株式会社 東京本社		
35	北首都国道事務所	R5・R6国道298号維持工事	維持修繕工事	株式会社ユーディーケー	監理技術者	高橋 一博
36	利根川下流河川事務所	R5・6利根川右岸佐原地先高水敷整備工事	維持修繕工事	室田建設株式会社	現場代理人	鳥越 裕基
37	千葉国道事務所	R5木更津出張所管内道路構造物他補修工事	維持修繕工事	株式会社小野工業所	監理技術者	佐藤 徹
38	東京国道事務所	R4・5・6代々木維持工事	維持修繕工事	日工建設株式会社		
39	甲府河川国道事務所	R5富士川下流部河道整備工事	維持修繕工事	鈴与建設株式会社	監理技術者	千澤 正樹
40	長野国道事務所	R5・R6上田出張所管内維持工事	維持修繕工事	株式会社木下組	現場代理人	相馬 增高
41	品木ダム水質管理所	R5品木ダム浚渫工事	河川しゅんせつ工事	東亜建設工業株式会社 東京支店	監理技術者	田中 寿長
42	霞ヶ浦導水工事事務所	R4利根機場切換ゲート修繕工事	機械設備工事	西田鉄工株式会社 関東支店	現場代理人 兼監理技術者	鶴田 智之
43	相模川水系広域ダム管理事務所	R5宮ヶ瀬ダム放流警報表示設備更新工事	通信設備工事	日本電子サービス株式会社	監理技術者	蠣瀬 貴是
44	甲府河川国道事務所	R5国道138号外CCTV設置工事	通信設備工事	日本電子サービス株式会社	監理技術者	久保田 晃史
45	国営昭和記念公園事務所	R5大磯受変電設備工事	受変電設備工事	株式会社丸電	主任技術者	松本 紘樹
46	千葉国道事務所	R5国道357号舞浜大橋左岸高架橋(海側)耐震補強その2工事	橋梁補修工事	大勝建設株式会社 東京支店	監理技術者	角方 純一
47	長野国道事務所	R5長野出張所管内橋梁補修維持工事	橋梁補修工事	木下建工株式会社	監理技術者	井出 一成
48	京浜港湾事務所	令和5年度 横浜港新本牧地区岸壁(-18m)(耐震)築造工事(その2)	港湾土工工事	東亜・あおみ・大本特定建設工事共同企業体	現場代理人	紫藤 旺伽
49	京浜港湾事務所	川崎港臨港道路東扇島水江町線主橋梁部上部工事(その3)	空港等土工工事	三井住友・みらい・日本ピーエス特定建設工事共同企業体	監理技術者	柴田 宙

令和6年度 安全管理優良受注者表彰（1／8）

（1）一般土木工事（105社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	樋口土木株式会社	茨城県稲敷郡	11
2	株式会社ノバック	兵庫県姫路市	6
3	株式会社秋山工務店	茨城県日立市	15
4	株式会社浅川組	和歌山県和歌山市	3
5	阿部建設株式会社	千葉県旭市	5
6	株式会社新井組	兵庫県西宮市	22
7	新井土木株式会社	茨城県常総市	10
8	株式会社飯塚工業	山梨県笛吹市	7
9	石井工業株式会社	千葉県香取市	9
10	サンセイ磯田建設株式会社	埼玉県秩父市	3
11	磯部建設株式会社	栃木県日光市	6
12	岩澤建設株式会社	栃木県足利市	5
13	株式会社植木組	新潟県柏崎市	5
14	株式会社梅原工務店	茨城県常陸太田市	5
15	大川建設株式会社	群馬県桐生市	5
16	大野建設株式会社	神奈川県愛甲郡	5
17	株式会社大林組	東京都港区	3
18	岡田土建株式会社	千葉県銚子市	7
19	株式会社岡谷組	長野県岡谷市	10
20	小川工業株式会社	埼玉県行田市	17
21	株式会社鹿熊組	長野県長野市	7
22	珂北開発株式会社	茨城県常陸太田市	4
23	金杉建設株式会社	埼玉県春日部市	22
24	亀井工業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市	3
25	川村建設株式会社	埼玉県幸手市	12
26	共立建設株式会社	東京都渋谷区	13
27	キムラ工業株式会社	茨城県牛久市	10
28	神稲建設株式会社	長野県飯田市	3
29	株式会社小池組	長野県長野市	4
30	小島土建株式会社	栃木県塩谷郡	3
31	株式会社ケージーエム	埼玉県熊谷市	9
32	小林建設株式会社	山梨県南アルプス市	3
33	小林建設株式会社	茨城県日立市	4
34	佐田建設株式会社	群馬県前橋市	10

令和6年度 安全管理優良受注者表彰（2／8）

（1）一般土木工事

	会社名	所在地	完成工事件数
35	株式会社山藤組	群馬県桐生市	7
36	新日本工業株式会社	東京都江東区	4
37	株式会社島村工業	埼玉県比企郡	4
38	常総開発工業株式会社	茨城県神栖市	11
39	常陽建設株式会社	茨城県取手市	11
40	菅原建設株式会社	茨城県水戸市	8
41	鈴縫工業株式会社	茨城県日立市	8
42	関口工業株式会社	埼玉県志木市	4
43	大勝建設株式会社	茨城県神栖市	5
44	大新工業株式会社	山梨県甲府市	3
45	大日本土木株式会社	岐阜県岐阜市	5
46	大豊建設株式会社	東京都中央区	5
47	高橋建設株式会社	茨城県行方市	3
48	株式会社サンタキザワ	長野県飯山市	4
49	工建設株式会社	千葉県千葉市	8
50	株式会社竹中土木	東京都江東区	4
51	株式会社竹花組	長野県佐久市	4
52	多田建設株式会社	東京都江東区	5
53	田部井建設株式会社	埼玉県熊谷市	9
54	東鉄工業株式会社	東京都新宿区	7
55	東武建設株式会社	栃木県日光市	4
56	東邦建設株式会社	千葉県成田市	10
57	戸邊建設株式会社	千葉県野田市	6
58	株式会社ナカノブドー建設	東京都千代田区	3
59	長山工業株式会社	茨城県常陸大宮市	4
60	名倉建設株式会社	埼玉県吉川市	4
61	奈良建設株式会社	神奈川県横浜市	14
62	株式会社新津組	長野県南佐久郡	3
63	遠藤建設株式会社	千葉県旭市	5
64	株式会社谷黒組	栃木県那須塩原市	4
65	沼田土建株式会社	群馬県沼田市	13
66	古郡建設株式会社	埼玉県深谷市	7
67	株式会社北條組	長野県長野市	4
68	株式会社本間組	新潟県新潟市	3
69	松浦建設株式会社	千葉県野田市	11
70	松崎建設株式会社	茨城県潮来市	19

令和6年度 安全管理優良受注者表彰（3／8）

（1）一般土木工事

	会社名	所在地	完成工事件数
71	松本土建株式会社	長野県松本市	10
72	馬淵建設株式会社	神奈川県横浜市	9
73	株式会社宮下組	長野県上田市	7
74	宮下工業株式会社	群馬県前橋市	11
75	宮内建設株式会社	神奈川県横浜市	4
76	株式会社森組	大阪府大阪市	6
77	株式会社吉田組	兵庫県姫路市	5
78	萬屋建設株式会社	群馬県沼田市	6
79	国土開発工業株式会社	神奈川県厚木市	18
80	小雀建設株式会社	神奈川県横浜市	14
81	岩崎工業株式会社	群馬県太田市	4
82	株式会社高橋芝園土木	茨城県古河市	5
83	萩原土建株式会社	千葉県山武郡	5
84	北都建設工業株式会社	茨城県土浦市	6
85	古谷建設株式会社	千葉県山武郡	13
86	株式会社大地	茨城県鹿嶋市	7
87	株式会社厚木植木	神奈川県厚木市	4
88	瑞穂建設株式会社	群馬県渋川市	5
89	高橋建設工業株式会社	茨城県水戸市	6
90	奥村組土木興業株式会社	大阪府大阪市	5
91	日東エンジニアリング株式会社	茨城県土浦市	9
92	湯澤工業株式会社	山梨県南アルプス市	15
93	木本建興株式会社	神奈川県相模原市	3
94	株式会社堀建設	千葉県野田市	5
95	株式会社赤塚土木興業	茨城県つくばみらい市	4
96	株式会社伊藤建設	茨城県稲敷郡	4
97	株式会社新みらい	茨城県つくばみらい市	3
98	株式会社アレスコ	茨城県石岡市	3
99	株式会社杉原建設	茨城県稲敷郡	5
100	株式会社ユーディケー	埼玉県さいたま市	7
101	金成重機建設株式会社	茨城県日立市	8
102	大木建設株式会社	東京都江東区	5
103	株式会社東日本土木	栃木県佐野市	9
104	大旺新洋株式会社	高知県高知市	5
105	シンコー・テクノ株式会社	東京都千代田区	4

令和6年度 安全管理優良受注者表彰（4／8）

(2)アスファルト舗装工事(10社)

	会社名	所在地	完成工事件数
1	株式会社大森工務所	山梨県富士吉田市	3
2	川上建設株式会社	栃木県鹿沼市	6
3	北川ヒューテック株式会社	石川県金沢市	10
4	佐田建設株式会社	群馬県前橋市	6
5	大成ロテック株式会社	東京都新宿区	6
6	大有建設株式会社	愛知県名古屋市	17
7	福田道路株式会社	新潟県新潟市	7
8	フジタ道路株式会社	東京都中央区	7
9	三井住建道路株式会社	東京都新宿区	7
10	光洋建設株式会社	栃木県小山市	4

(3)鋼橋上部工事(7社)

	会社名	所在地	完成工事件数
1	佐藤鉄工株式会社	富山県中新川郡	4
2	高田機工株式会社	大阪府大阪市	4
3	東綱橋梁株式会社	栃木県下野市	7
4	株式会社巴コーポレーション	東京都中央区	4
5	三井住友建設鉄構エンジニアリング株式会社	千葉県千葉市	4
6	古河産機システムズ株式会社	東京都千代田区	4
7	株式会社横河ブリッジ	千葉県船橋市	3

(4)造園工事(3社)

	会社名	所在地	完成工事件数
1	日産緑化株式会社	東京都千代田区	9
2	不二造園土木株式会社	茨城県土浦市	9
3	みかど造園株式会社	千葉県千葉市	7

(5)建築工事(2社)

	会社名	所在地	完成工事件数
1	東鉄工業株式会社	東京都新宿区	7
2	松本建設株式会社	栃木県真岡市	5

令和6年度 安全管理優良受注者表彰（5／8）

（6）電気設備工事（2社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	東照工業株式会社	東京都世田谷区	3
2	株式会社丸電	埼玉県さいたま市	8

（7）暖冷房衛生設備工事（1社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	大成設備株式会社	東京都新宿区	4

（8）セメント・コンクリート舗装工事（1社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	福田道路株式会社	新潟県新潟市	4

（9）プレストレスト・コンクリート工事（4社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	株式会社安部日鋼工業	岐阜県岐阜市	4
2	オリエンタル白石株式会社	東京都江東区	5
3	川田建設株式会社	東京都北区	5
4	株式会社IHIインフラ建設	東京都江東区	5

（10）法面処理工事（1社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	株式会社佐藤組	栃木県大田原市	3

（11）塗装工事（1社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	ショーボンド建設株式会社	東京都中央区	4

令和6年度 安全管理優良受注者表彰（6／8）

（12）維持修繕工事（36社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	新井土木株式会社	茨城県常総市	3
2	株式会社アジア開発興業	千葉県印西市	9
3	伊田テクノス株式会社	埼玉県東松山市	3
4	小川工業株式会社	埼玉県行田市	6
5	鹿島建設株式会社	東京都港区	4
6	金杉建設株式会社	埼玉県春日部市	7
7	川上建設株式会社	栃木県鹿沼市	10
8	川村建設株式会社	埼玉県幸手市	3
9	株式会社ケイミックス	東京都港区	9
10	株式会社小池組	長野県長野市	3
11	株式会社ケージーエム	埼玉県熊谷市	4
12	株式会社島村工業	埼玉県比企郡	3
13	鈴縫工業株式会社	茨城県日立市	4
14	関口工業株式会社	埼玉県志木市	7
15	高橋建設株式会社	茨城県行方市	7
16	株式会社サンタキザワ	長野県飯山市	4
17	株式会社鶴田組	茨城県那珂市	4
18	東照工業株式会社	東京都世田谷区	4
19	戸邊建設株式会社	千葉県野田市	4
20	株式会社日工	神奈川県横浜市	3
21	日産緑化株式会社	東京都千代田区	5
22	日本道路建装株式会社	山梨県大月市	3
23	日本ハイウエイ・サービス株式会社	東京都新宿区	3
24	日本ロード・メンテナンス株式会社	東京都港区	8
25	沼田土建株式会社	群馬県沼田市	5
26	原工業株式会社	群馬県館林市	3
27	古郡建設株式会社	埼玉県深谷市	4
28	松崎建設株式会社	茨城県潮来市	6
29	室田建設株式会社	千葉県香取市	3
30	矢木コーポレーション株式会社	長野県長野市	7
31	小雀建設株式会社	神奈川県横浜市	4
32	株式会社ニューテック康和	東京都北区	3
33	株式会社ユーディケー	埼玉県さいたま市	5
34	株式会社東日本土木	栃木県佐野市	4
35	宮川興業株式会社	東京都渋谷区	9
36	菊水建設株式会社	東京都葛飾区	4

令和6年度 安全管理優良受注者表彰（7／8）

(13)河川しゅんせつ工事(2社)

	会社名	所在地	完成工事件数
1	東洋建設株式会社	東京都千代田区	5
2	若築建設株式会社	東京都目黒区	3

(14)機械設備工事(7社)

	会社名	所在地	完成工事件数
1	株式会社荏原製作所	東京都大田区	23
2	新菱工業株式会社	東京都千代田区	4
3	株式会社電業社機械製作所	東京都大田区	6
4	カナデビア株式会社	大阪府大阪市	6
5	株式会社ミゾタ	佐賀県佐賀市	3
6	クボタ環境エンジニアリング株式会社	東京都中央区	5
7	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	東京都千代田区	16

(15)通信設備工事(11社)

	会社名	所在地	完成工事件数
1	エクシオグループ株式会社	東京都渋谷区	4
2	日本電子サービス株式会社	山梨県甲府市	6
3	田中電気株式会社	東京都千代田区	10
4	東照工業株式会社	東京都世田谷区	10
5	日本無線株式会社	東京都中野区	7
6	扶桑電通株式会社	東京都中央区	6
7	株式会社ほくつう	石川県金沢市	6
8	株式会社丸電	埼玉県さいたま市	11
9	エフコム株式会社	東京都港区	13
10	日本フィールド・エンジニアリング株式会社	東京都品川区	15
11	東京システム特機株式会社	東京都千代田区	10

(16)受変電設備工事(1社)

	会社名	所在地	完成工事件数
1	株式会社桜電社	東京都港区	8

令和6年度 安全管理優良受注者表彰（8／8）

(17)橋梁補修工事(9社)

	会社名	所在地	完成工事件数
1	川上建設株式会社	栃木県鹿沼市	3
2	ショーボンド建設株式会社	東京都中央区	14
3	東鉄工業株式会社	東京都新宿区	4
4	日本ロード・メンテナンス株式会社	東京都港区	3
5	ライト工業株式会社	東京都千代田区	12
6	株式会社IHIインフラ建設	東京都江東区	5
7	大勝建設株式会社	大阪府大阪市	4
8	株式会社小野工業所	福島県福島市	3
9	関東化工建設株式会社	埼玉県熊谷市	3

(18)港湾土木工事(2社)

	会社名	所在地	完成工事件数
1	信幸建設株式会社	東京都千代田区	4
2	あおみ建設株式会社	東京都千代田区	9

令和6年度 優良業務・優秀技術者【局長表彰】(1/2)

	事務所	負担行為件名	業種	会社名	優秀技術者	
					技術者区分	氏名
1	利根川上流河川事務所	R6栗橋・古河流量観測業務	測量	バスキン工業株式会社	主任技術者	石渡 伸
2	横浜国道事務所	R5横浜国道改築事業測量(その2)業務	測量	大栄測量設計株式会社	主任技術者	高橋 義孝
3	長野国道事務所	R6長野国道管内交通安全施設調査他測量(その1)業務	測量	株式会社伊藤測量設計	主任技術者	伊藤 奨
4	営繕部	渋谷地方合同庁舎(23)建築設備改修設計業務	建築関係建設 コンサルタント業務	日和エンジニアリング株式会社	管理技術者	齋藤 健太郎
5	営繕部	営繕建築(24)積算業務	建築関係建設 コンサルタント業務	株式会社T&M建築事務所	管理技術者	高橋 英樹
6	企画部	R6技術評価点算定業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社日建技術コンサルタント 東京本社	管理技術者	大江 拓己
7	河川部	R5関東地方整備局管内7水系洪水予測精度向上検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	管理技術者	此島 健男子
8	道路部	R6道路を活用したまちづくり活動支援検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	R6道路を活用したまちづくり活動支援 検討業務日本みち研究所・建設技術研 究所設計共同体	管理技術者	青山 万吉
9	常陸河川国道事務所	R5国道6号日立バイパス鮎川橋橋梁詳細設計業務	土木関係建設 コンサルタント業務	セントラルコンサルタント株式会社 茨城営業所	管理技術者	赤瀬 哲也
10	常陸河川国道事務所	R5那珂川下流部堤防詳細設計業務	土木関係建設 コンサルタント業務	日本工営株式会社 東京支店	管理技術者	松下 朋哉
11	下館河川事務所	R4下館管内耐震性能照査業務	土木関係建設 コンサルタント業務	三井共同建設コンサルタント株式会社 茨城営業所	管理技術者	五百蔵 一史
12	霞ヶ浦河川事務所	R5霞ヶ浦水環境改善手法検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	管理技術者	金山 拓広
13	常総国道事務所	R5東関東水戸線道路修正設計他5C8業務	土木関係建設 コンサルタント業務	復建調査設計株式会社 東京支社	管理技術者	土井 勇介
14	常総国道事務所	R5東関東水戸線環境調査5C7業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社建設環境研究所	管理技術者	木下 長則
15	宇都宮国道事務所	R6宇都宮国道管内道路附属物及び防災点検業務	土木関係建設 コンサルタント業務	アジア航測株式会社 宇都宮営業所	管理(主任)技術者	藤ヶ崎 聡
16	宇都宮国道事務所	R5宇都宮国道管内橋梁補修設計他業務	土木関係建設 コンサルタント業務	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 関東支社	管理(主任)技術者	原田 豊
17	日光砂防事務所	R5日光砂防防砂・水文観測手法検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	アジア航測株式会社 宇都宮営業所	管理技術者	岡野 和行
18	渡良瀬川河川事務所	R5渡良瀬川環境検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	いであ株式会社	管理技術者	前田 研造
19	高崎河川国道事務所	R5国道50号前橋笠懸道路詳細修正設計業務	土木関係建設 コンサルタント業務	大日コンサルタント株式会社 東日本 支社	管理技術者	飯山 哲行
20	高崎河川国道事務所	R6烏川・神流川流域減災対策他検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	管理技術者	山田 早恵香
21	利根川水系砂防事務所	R5利根砂防降灰量把握手法検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	国際航業株式会社 群馬営業所	管理技術者	皆川 淳
22	利根川上流河川事務所	R5田中調節池布施下地区他周囲堤詳細設計業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 埼玉事務所	管理技術者	岡和田 早紀子
23	利根川上流河川事務所	R5利根川上流管内環境調査検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	いであ株式会社	管理技術者	川口 究
24	荒川上流河川事務所	R4・R5荒川右岸古南用水樋管改築詳細設計他業務	土木関係建設 コンサルタント業務	日本工営株式会社 北関東事務所	管理技術者	大瀧 諭
25	荒川上流河川事務所	R5越辺川・都幾川築堤等詳細設計業務	土木関係建設 コンサルタント業務	三井共同建設コンサルタント株式会社 北関東事務所	管理技術者	徐 龍二
26	大宮国道事務所	R6大宮国道管内構造物点検・補修等設計業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社片平新日本技研 東京本店	管理技術者	加藤 人士
27	大宮国道事務所	R6新大宮上尾道路外橋梁設計他業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社総合技術コンサルタント 東京支社	管理技術者	山本 晃弘
28	北首都国道事務所	R5国道4号東埼玉道路道路詳細修正設計業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社復建技術コンサルタント 東京支店	管理技術者	山本 佳和
29	北首都国道事務所	R5国道4号東埼玉道路調整池計画検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	管理技術者	金丸 阿沙美
30	利根川下流河川事務所	R5佐原川樋管詳細設計業務	土木関係建設 コンサルタント業務	三井共同建設コンサルタント株式会社 千葉事務所	管理技術者	本田 正修
31	江戸川河川事務所	R5江戸川管内樋管改築等検討設計業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社日水コン 東京支所	管理技術者	鎌田 信行
32	江戸川河川事務所	R5江戸川河道整備検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	いであ株式会社	管理技術者	岡村 誠司

令和6年度 優良業務・優秀技術者【局長表彰】（2／2）

	事務所	負担行為件名	業種	会社名	優秀技術者	
					技術者区分	氏名
33	千葉国道事務所	R5千葉国道管内橋梁耐震補強・補修設計M11業務	土木関係建設 コンサルタント業務	セントラルコンサルタント株式会社 千葉営業所	管理技術者	赤瀬 哲也
34	荒川下流河川事務所	R5荒川下流氾濫解析等検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社東京建設コンサルタント	管理技術者	茂木 鉄平
35	荒川下流河川事務所	R5荒川下流流量観測高度化検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	R5荒川下流流量観測高度化検討業務 パシフィックコンサルタンツ・水文環境設計 共同体	管理技術者	浜口 憲一郎
36	東京国道事務所	R5国道15号品川駅西口基盤整備詳細設計（その1）業務	土木関係建設 コンサルタント業務	パシフィックコンサルタンツ株式会社 首都圏本社	管理技術者	石原 大作
37	東京国道事務所	R5東京国道管内道路空間利活用検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	日本工営株式会社 東京支店	管理技術者	上田 透
38	相武国道事務所	R5G国道20号八王子南BP道路詳細修正設計 他業務	土木関係建設 コンサルタント業務	セントラルコンサルタント株式会社 東京事業本部	管理技術者	吉田 武
39	相武国道事務所	R5M相武国道事務所管内事故対策検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 関東支社	管理技術者	大畑 長
40	相模川水系広域ダム管理事務所	R6宮ヶ瀬ダム管内水辺現地調査（植物・利用実態）他業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社建設環境研究所	管理技術者	嶋田 啓一
41	京浜河川事務所	R5西湘海岸環境調査業務	土木関係建設 コンサルタント業務	いであ株式会社	管理技術者	大野 正博
42	京浜河川事務所	R6京浜管内水辺現地調査（河川空間利用実態調査）業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社建設環境研究所	管理技術者	木下 長則
43	横浜国道事務所	R5国道1号渋滞状況分析・対策検討（その2）業務	土木関係建設 コンサルタント業務	八千代エンジニアリング株式会社	管理技術者	内藤 一郎
44	甲府河川国道事務所	R6富士川水辺現地調査（魚類・空間利用実態調査）業務	土木関係建設 コンサルタント業務	いであ株式会社	管理技術者	木下 裕士郎
45	甲府河川国道事務所	R5甲府河川国道管内防災点検・設計業務	土木関係建設 コンサルタント業務	応用地質株式会社 東京事務所	担当技術者	味野 晴佳
46	長野国道事務所	R5国道20号施工計画等検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	管理技術者	金丸 阿沙美
47	長野国道事務所	R5あづみの公園大町・松川地区電気設備設計業務	土木関係建設 コンサルタント業務	電設コンサルタンツ株式会社	管理技術者	松尾 和宏
48	利根川ダム統合管理事務所	R6利根川上流部治水検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	管理技術者	中谷 明彦
49	鬼怒川ダム統合管理事務所	R6湯西川ダム水運用高度化検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	R6湯西川ダム水運用高度化検討業務 ニュージェック・国土技術研究センター 設計共同体	管理技術者	赤松 利之
50	関東技術事務所	R6デジタル技術を活用した河川管理技術力向上に関する検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	R6デジタル技術を活用した河川管理技術力向上に関する検討業務河川財団・日本工営設計共同体	管理技術者	津久井 俊彦
51	関東道路メンテナンスセンター	R5・R6関東MC管内橋梁診断他業務	土木関係建設 コンサルタント業務	一般財団法人橋梁調査会	管理技術者	新沼 俊治
52	荒川調節池工事事務所	R5荒川調節池橋梁影響対策詳細設計業務	土木関係建設 コンサルタント業務	三井共同建設コンサルタント株式会社 北関東事務所	管理技術者	佐藤 弘康
53	久慈川緊急治水対策河川事務所	R6久慈川緊急治水対策工事監督支援業務	土木関係建設 コンサルタント業務	R6久慈川緊急治水対策工事監督支援業務関東建設・三展ミネ設計共同体	管理技術者	大谷 一宏
54	国営昭和記念公園事務所	R5武蔵丘陵森林公園整備・管理運営あり方検討業務	土木関係建設 コンサルタント業務	株式会社エイト日本技術開発 東京支社	管理技術者	村山 克也
55	千葉国道事務所	R5圏央道地下水他調査検討G8業務	地質調査業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	担当技術者	原 大輔
56	横浜国道事務所	R6国道1号戸塚地区地質調査業務	地質調査業務	川崎地質株式会社 関東支社	主任技術者	内田 秀樹
57	甲府河川国道事務所	R5新山梨環状道路地質調査業務	地質調査業務	株式会社地圏総合コンサルタント 東京支店	主任技術者	代永 佑輔
58	二瀬ダム管理所	R5二瀬ダム荒川上流地区地すべり観測体制整備検討業務	地質調査業務	日本工営株式会社 北関東事務所	管理（主任） 技術者	藤元 亮
59	横浜営繕事務所	川崎港湾合同庁舎（仮称）（24）敷地調査	地質調査業務	株式会社東京ソイルリサーチ 横浜支店	管理技術者	市島 俊
60	長野国道事務所	R5長野国道事務所管内用地調査等業務	補償関係 コンサルタント業務	株式会社国土開発センター 長野営業所	主任技術者	中土 春輝
61	京浜港湾事務所	令和6年度 横浜港本牧地区D5岸壁付属施設構造検討業務	建設コンサルタント等	日本海洋コンサルタント株式会社	管理技術者	久保 浩司
62	東京空港整備事務所	令和5年度 東京国際空港西側ターミナル地区エプロン地盤及び舗装改良設計	建設コンサルタント等	復建調査設計株式会社 東京支社	管理技術者	渡邊 真悟
63	横浜港湾空港技術調査事務所	令和5年度 千葉港船橋地区海岸保全施設断面水理模型実験	建設コンサルタント等	株式会社エコー	管理技術者	長谷川 巖
64	横浜港湾空港技術調査事務所	令和5年度 千葉港船橋地区海岸保全施設（湊町胸壁）基本設計	建設コンサルタント等	株式会社ニュージェック	管理技術者	高岡 慶人

令和7年度 工事成績優秀企業 局長認定について

1. 背景と目的

国土交通省においては、受注者の適切な選定及び指導育成を図るため、平成13年3月に請負工事成績評定要領を定め、地方整備局が発注する直轄工事において、工事の施工状況

や工事目的物の品質等について請負工事成績評定（以下「工事成績評定」という。）を実施しているところです。

平成13年4月施行の「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（以下「適正化法」という。）では、工事成績評定の結果を原則として公表するなど公共工事の透明性が求められるとともに、平成17年4月に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」においては、公共工事の品質確保にあたり、民間事業者の能力が適切に評価され、それらを一層活用することが求められたところです。

工事成績優秀企業認定は、これらの状況を踏まえ、工事成績評定の透明性確保と民間事業者の技術力の一層の向上を図ることを目的として創設した制度です。

2. 選定方法

工事成績優秀企業は、関東地方整備局（港湾空港部を除く。）において過去2カ年度（令和5年4月1日～令和7年3月31日）に完成した土木工事の工事成績評定結果をもとに、当該工事を受注した企業の工事成績評定点の平均点（小数点第一位を四捨五入）を算出し、企業の工事成績評定結果のランキングを作成し（但し、過去2カ年に3件以上、下記11業種の土木工事を受注した業者に限る。）、優良工事等選定委員会において審査を行い選定したものです。

■工事成績優秀企業局長認定の対象企業

下記（1）、（2）に該当する工事の実績を3件以上有する企業を対象とし、選定。

なお、（3）に該当する企業については、選定しない。

（1）対象工事

関東地方整備局発注工事で過去2カ年度（令和5年4月1日～令和7年3月31日）に完成した直轄土木工事。

（2）対象工種

工事請負業者選定事務処理要領に規定された22工事種別のうち、下記の11工種を対象とする（※建築、機械、電気通信等は除く）。

- ①一般土木工事、②アスファルト舗装工事、③鋼橋上部工事、④セメント・コンクリート舗装工事、
- ⑤プレストレスト・コンクリート工事、⑥法面処理工事、⑦河川しゅんせつ工事、⑧グラウト工事、
- ⑨杭打工事、⑩橋梁補修工事、⑪維持修繕工事

（3）その他

（1）、（2）に該当する企業でも優良工事等選定委員会の審査により認定にふさわしくないと認められる場合は、選定しない。

3. 選定方針

工事成績評定の平均点が80点以上の企業かつ、工事成績優秀認定企業としてふさわしい企業。

今年度、工事成績優秀企業として認定される企業は116社となります。

4. 認定される企業等(1/3)

順位	会社名	所在地	平均点
1	株式会社芦沢組土木	山梨県笛吹市	82
1	阿部建設株式会社	千葉県旭市	82
1	川田建設株式会社	東京都北区	82
1	北都建設工業株式会社	茨城県土浦市	82
1	松尾建設株式会社	佐賀県佐賀市	82
6	株式会社安部日鋼工業	岐阜県岐阜市	81
6	株式会社新井組	兵庫県西宮市	81
6	新井土木株式会社	茨城県常総市	81
6	株式会社飯塚工業	山梨県笛吹市	81
6	池下工業株式会社	群馬県前橋市	81
6	石井工業株式会社	千葉県香取市	81
6	岩澤建設株式会社	栃木県足利市	81
6	株式会社エス・ケイ・ディ	神奈川県平塚市	81
6	岡田土建株式会社	千葉県銚子市	81
6	奥村組土木興業株式会社	大阪府大阪市	81
6	オリエンタル白石株式会社	東京都江東区	81
6	鹿島建設株式会社	東京都港区	81
6	金杉建設株式会社	埼玉県春日部市	81
6	亀井工業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市	81
6	共立建設株式会社	東京都渋谷区	81
6	サンセイ磯田建設株式会社	埼玉県秩父市	81
6	株式会社山藤組	群馬県桐生市	81
6	清水建設株式会社	東京都中央区	81
6	常総開発工業株式会社	茨城県神栖市	81
6	常陽建設株式会社	茨城県取手市	81
6	関口工業株式会社	埼玉県志木市	81
6	大旺新洋株式会社	高知県高知市	81
6	大勝建設株式会社	大阪府大阪市	81
6	大有建設株式会社	愛知県名古屋市中区	81
6	高橋建設株式会社	茨城県行方市	81
6	高橋建設工業株式会社	茨城県水戸市	81
6	株式会社高橋芝園土木	茨城県古河市	81
6	工建設株式会社	千葉県千葉市	81
6	株式会社竹花組	長野県佐久市	81
6	株式会社鶴田組	茨城県那珂市	81
6	東亜建設工業株式会社	東京都新宿区	81
6	東綱橋梁株式会社	栃木県下野市	81
6	東洋建設株式会社	東京都千代田区	81
6	戸邊建設株式会社	千葉県野田市	81
6	株式会社巴コーポレーション	東京都中央区	81
6	日東エンジニアリング株式会社	茨城県土浦市	81
6	沼田土建株式会社	群馬県沼田市	81
6	株式会社ノバック	兵庫県姫路市	81
6	フジタ道路株式会社	東京都中央区	81
6	宮下工業株式会社	群馬県前橋市	81
6	株式会社吉田組	兵庫県姫路市	81

4. 認定される企業等(2/3)

順位	会社名	所在地	平均点
47	株式会社IHIインフラ建設	東京都江東区	80
47	あおみ建設株式会社	東京都千代田区	80
47	株式会社アコオ	茨城県水戸市	80
47	株式会社アジア開発興業	千葉県印西市	80
47	株式会社阿部工務店	栃木県日光市	80
47	株式会社アレスコ	茨城県石岡市	80
47	株式会社井坂組	茨城県常陸太田市	80
47	磯部建設株式会社	栃木県日光市	80
47	伊田テクノス株式会社	埼玉県東松山市	80
47	井上建設株式会社	山梨県南巨摩郡	80
47	岩崎工業株式会社	群馬県太田市	80
47	株式会社植木組	新潟県柏崎市	80
47	潮田建設株式会社	栃木県小山市	80
47	株式会社梅原工務店	茨城県常陸太田市	80
47	大川建設株式会社	群馬県桐生市	80
47	株式会社大森工務所	山梨県富士吉田市	80
47	小川工業株式会社	埼玉県行田市	80
47	株式会社小野工業所	福島県福島市	80
47	株式会社ガイアート	東京都新宿区	80
47	株式会社鹿熊組	長野県長野市	80
47	加藤建設株式会社	山梨県南巨摩郡	80
47	株木建設株式会社	茨城県水戸市	80
47	珂北開発株式会社	茨城県常陸太田市	80
47	川上建設株式会社	栃木県鹿沼市	80
47	川村建設株式会社	埼玉県幸手市	80
47	関東化工建設株式会社	埼玉県熊谷市	80
47	北川ヒューテック株式会社	石川県金沢市	80
47	キムラ工業株式会社	茨城県牛久市	80
47	木本建興株式会社	神奈川県相模原市	80
47	神稲建設株式会社	長野県飯田市	80
47	株式会社ケージーエム	埼玉県熊谷市	80
47	株式会社小池組	長野県長野市	80
47	国土開発工業株式会社	神奈川県厚木市	80
47	小雀建設株式会社	神奈川県横浜市	80
47	小林建設株式会社	茨城県日立市	80
47	佐田建設株式会社	群馬県前橋市	80
47	株式会社サンタキザワ	長野県飯山市	80
47	株式会社島村工業	埼玉県比企郡	80
47	昭和建設株式会社	茨城県水戸市	80
47	ショーボンド建設株式会社	東京都中央区	80
47	菅原建設株式会社	茨城県水戸市	80
47	鈴縫工業株式会社	茨城県日立市	80
47	高田機工株式会社	大阪府大阪市	80
47	株式会社竹中土木	東京都江東区	80
47	田部井建設株式会社	埼玉県熊谷市	80
47	東照工業株式会社	東京都世田谷区	80

4. 認定される企業等(3/3)

順位	会社名	所在地	平均点
47	東鉄工業株式会社	東京都新宿区	80
47	東邦建設株式会社	千葉県成田市	80
47	奈良建設株式会社	神奈川県横浜市	80
47	日本ロード・メンテナンス株式会社	東京都港区	80
47	株式会社野澤實業	栃木県宇都宮市	80
47	萩原土建株式会社	千葉県山武郡	80
47	株式会社早野組	山梨県甲府市	80
47	株式会社東日本土木	栃木県佐野市	80
47	樋口土木株式会社	茨城県稲敷郡	80
47	福田道路株式会社	新潟県新潟市	80
47	古谷建設株式会社	千葉県山武郡	80
47	真下建設株式会社	埼玉県本庄市	80
47	松浦建設株式会社	千葉県野田市	80
47	松崎建設株式会社	茨城県潮来市	80
47	松原建設株式会社	茨城県稲敷市	80
47	馬淵建設株式会社	神奈川県横浜市	80
47	瑞穂建設株式会社	群馬県渋川市	80
47	三井住友建設鉄構エンジニアリング株式会社	千葉県千葉市	80
47	株式会社宮下組	長野県上田市	80
47	株式会社ユーディケー	埼玉県さいたま市	80
47	湯澤工業株式会社	山梨県南アルプス市	80
47	株式会社横河ブリッジ	千葉県船橋市	80
47	萬屋建設株式会社	群馬県沼田市	80
47	若築建設株式会社	東京都目黒区	80

5. 認定式

認定式は「令和6年度 優良工事等表彰式」と併せて開催します。

6. その他

認定された工事成績優秀企業は、工事を受注した際には発注者が行う中間技術検査を省略することができます。また、総合評価方式において企業の評価が優位になります。

関東インフラDX大賞について

1. 目的

関東インフラDX大賞は、関東地方整備局所管の工事及び業務に関し、「生産性向上」及び「働き方改革」等につながる優れた取組を選定し、これを表彰することにより、インフラ分野のDX推進に資することを目的とした取組です。

2. 選定方法

関東インフラDX大賞の選定は、関東地方整備局及び管内の事務所等から推薦された工事及び業務を対象に、「有効性」「波及性」「先進性」等の観点に配慮し、関東インフラDX推進本部会議において決定しました。

3. 選定方針

建設業界全体の「生産性向上」及び「働き方改革」等につながる優れた実績を有し、その功績が顕著な受注者から選定しています。

4. 関東インフラDX大賞表彰件数

令和6年度 局長表彰件数 23件 ※受賞工事・業務、会社名の一覧は次項に掲載
(参考:令和5年度 局長表彰件数 12件)

5. 工事、業務の概要及び表彰理由

関東地方整備局ホームページにて公表します。

記者発表資料: (<https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/index000000003.html>)

関東インフラDX大賞: (https://www.ktr.mlit.go.jp/dx_icon/iconst_00050.html)

関東インフラDX大賞一覧(局長表彰)

No	事務所名	負担行為件名	会社名
1	常陸河川国道事務所	R5国道6号日立国道出張所管内防災他工事	鈴縫工業株式会社
2	常陸河川国道事務所	R5久慈川・那珂川河床材料調査業務	応用地質株式会社
3	常総国道事務所	R5東関道延方前川地区改良工事	株式会社加藤建設 東京支店
4	宇都宮国道事務所	R4国道121号日光川治防災詳細設計業務	三井共同建設コンサルタント株式会社 北関東事務所
5	日光砂防事務所	R5日光砂防管内自律飛行型UAVによる 点検計画検討業務	株式会社エイト日本技術開発 東京支社
6	利根川水系砂防事務所	R5利根砂防降灰量把握手法検討業務	国際航業株式会社 群馬営業所
7	荒川上流河川事務所	R6荒川水系小ヶ谷地点流量観測及び管内測量業務	株式会社リョーチ
8	北首都国道事務所	R5圏央道高須賀地区改良その4工事	金杉建設株式会社
9	北首都国道事務所	R5国道4号東埼玉道路橋梁詳細設計(その3)業務	JR東日本コンサルタンツ株式会社
10	利根川下流河川事務所	R5利根川左岸荒波樋管新設工事	岡田土建株式会社
11	首都国道事務所	R5北千葉道路(市川・松戸)トンネル詳細設計業務	中央復建コンサルタンツ株式会社
12	千葉国道事務所	R5千葉国道管内トンネル及び構造物点検M7業務	応用地質株式会社
13	東京国道事務所	R2国道246号渋谷駅周辺地下道工事	東急建設株式会社
14	相武国道事務所	R5国道20号八王子南BP館地区改良その22工事	中部土木株式会社
15	相武国道事務所	R6J相武国道管内道路管理効率化検討他業務	株式会社オリエンタルコンサルタンツ
16	京浜河川事務所	R6京浜管内水辺現地調査(河川空間利用実態調査) 業務	株式会社建設環境研究所
17	甲府河川国道事務所	R5新山梨環状道路実施設計業務	株式会社総合技術コンサルタント
18	富士川砂防事務所	R5富士川砂防自律飛行型UAVによる点検計画検討 業務	株式会社パスコ 山梨支店
19	関東技術事務所	R6道路防災診断等業務	基礎地盤コンサルタンツ株式会社 千葉支店
20	関東道路 メンテナンスセンター	R5関東MC構造物LCC計算アプリ検討業務	株式会社建設技術研究所 東京本社
21	荒川調節池工事事務所	R4荒川第二調節池下大久保下流工区囲繞堤工事	戸田建設株式会社 関東支店
22	京浜港湾事務所	令和5年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)南側 築造工事	あおみ建設株式会社
23	鹿島港湾・空港整備 事務所	令和5年度 鹿島港外港地区中央防波堤付属施設 築造工事(その2)	五洋建設株式会社

令和 6 年度 優良工事及び優秀工事技術者
局長表彰の概要及び表彰理由

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃ ほんまぐみ とうきょうしてん 株式会社 本間組 東京支店		
ふりがな 技術者名	おおしま ひであき 大島 英明	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごとうかんだうのぶかたにしちくかいりょうこうじ R 5 東関道延方西地区改良工事		
工 期	(自) 令和5年12月1日 (至) 令和7年3月20日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
工事概要	本工事は、茨城県潮来市小泉南から延方西において、東関東自動車道水戸線と国道51号潮来バイパスの道路土工、法面工、擁壁工、軽量盛土工、排水構造物工及び仮設工を施工するものである。		
表彰理由 【工事】	当該工事は、東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)と国道51号潮来バイパスの並走部における道路土工(路体盛土)、擁壁工(補強土壁)、軽量盛土及び排水構造物他を施工するものである。本工事の施工にあたり、現場内への出入り口が限られる中で、近接する他工事との工事調整に積極的に取り組み、適切な工程管理を行い、遅れなく工期内に完成させるとともに、関係機関や地元関係者と調整を図り、良好な関係を構築し、苦情などのトラブルなく円滑に施工がなされた。		
表彰理由 【技術者】	当該技術者は、監理技術者として、工事全体を把握し、施工上の課題の対応を事前に図るとともに、積極的に監督職員へ相談・提案がなされ、工程に影響が生じないよう確実な施工に努めた。また、現場においては、輻輳する他工事との調整を積極的に行うとともに、地元の小学生見学会を開催し、地域とのコミュニケーションを図るなど、他工事の模範となるものである。		

完成又は施工状況写真



路体盛土（ICT）施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃ あらいぐみ とうきょうしてん 株式会社 新井組 東京支店		
ふりがな 技術者名	やまだ かつよし 山田 克好	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるよんなかがわさがんのぐちはいすいひかんしんせつこうじ R 4 那珂川左岸野口排水樋管新設工事		
工 期	(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年5月31日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
工事概要	本工事は、令和元年出水に伴い実施している那珂川・久慈川緊急対策プロジェクトとして、那珂川左岸38.8km付近の茨城県常陸大宮市野口地先にて、樋管の新設及び約41,000m3の築堤盛土を行うものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は、周辺地域からの雨水排水のための樋管を新設するとともに、無堤防区間における築堤を行う工事である。 工事着手において設計照査を行った結果、設計の修正が生じるとともに、工場製作期間が延びたことから当初工程の見直しが必要となった。当初は樋管構造の完成後、場内の水路を切り回し、下流側盛土を行う予定であったが、工期短縮のため、場内の中央部に水路を切り回し、仮橋を構築することで樋管本体工と2期盛土を同時施工することが可能となり、その結果、工期内にトラブルなく工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	当該技術者は、築堤及びコンクリート構造物工事において、無堤防区間にて出水期施工を行いながら、工期内に事故なく工事を完成させるとともに、担い手確保・育成に関する様々な取り組みを行った。 現場代理人や担当技術者などの若手職員が多く、適切な指導の下、事故なく工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



樋門・樋管本体施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな	にっとうえんじにありんぐ かぶしきがいしゃ		
会社名	日東エンジニアリング 株式会社		
ふりがな	はやし たかひろ	職種	監理技術者
技術者名	林 隆広		
ふりがな	あーるごとうかんどうくしひきのともちくかいりょうこうじ		
工事名	R 5 東関道串挽野友地区改良工事		
工 期	(自) 令和5年9月1日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	常総国道事務所		
工事概要	本工事は、東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)約31kmのうち、茨城県鉾田市串挽地先から同市野友地先において、道路土工、排水構造物工等を行うものである。		
表彰理由 【工事】	当該箇所の掘削施工にあたっては、3次元点群処理による施工土量管理を行い、作業時間の短縮や施工精度の向上が図られた。またCIMを活用した施工ステップの確認や作業員とのイメージ共有、出来形管理など効率的な施工を行うとともに、各工種の進捗を正確に把握し、他工事との積極的な工程調整を実施した。このように、適切な工程管理により、工期内に無事故で工事を完成させ、予定より早く、NEXCOへの現場引継ぎを行うことができたことから、本工事を表彰するものである。		
表彰理由 【技術者】	当該技術者の適切な安全管理・ICT施工による工程管理及び品質管理により、無事故、無遅延で工事を竣工させた。		

完成又は施工状況写真



掘削施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	えのもとけんせつ かぶしがいいしゃ 榎本建設 株式会社		
ふりがな 技術者名	おおで ゆたか 大出 豊	職種	現場代理人兼監理技術者
ふりがな 工事名	あーるよんおおまなこひがしさわさぼうえんていこうじ R 4 大真名子東沢砂防堰堤工事		
工 期	(自) 令和4年7月4日 (至) 令和6年11月29日		
事務所名	日光砂防事務所		
工事概要	大真名子東沢砂防堰堤は、鬼怒川右支大谷川左小支荒沢上流部の大真名子東沢に新規に計画されている鋼製透過型砂防堰堤で、本工事では左岸側袖部と水通し底版部の一部を施工した。現場は火山性の脆弱な地質で土砂や巨礫が堆積しているほか、標高約1,900mの高所にあり、冬期は積雪のため工事が不稼働となる。		
表彰理由 【工事】	本工事の施工箇所は標高約1,900mの高所で、降雨、強風等天候の急変が多い気象条件で、また、冬期は積雪の影響で約5ヶ月間不稼働となることから、年間を通して施工可能時期が限られていた。さらに、施工箇所に到着するまで公道から幅員が狭い林道を10km以上走行する等、通勤・資機材運搬にも時間を要する厳しい条件であったが、工期の遅れや事故・トラブルもなく無事に工事を完成させた。 また、携帯電話等の不感エリアであったが、衛星通信システム（STARLINK）を導入することにより、作業員による情報収集や電話による緊急時の連絡が可能となり、さらに遠隔臨場が可能となり、監督職員の確認や立会時の現場までの移動時間の削減に繋がった。		
表彰理由 【技術者】	現場代理人兼監理技術者は、厳しい現場条件を熟知し、工程・現場管理にあたり施工に取り組んだ。疑義があれば速やかに監督職員と協議し、資料も丁寧に整理して対応した。 堰堤袖部掘削後に岩盤線の変更が確認され地盤支持力の確認を要した際にも、狭隘な現場に対応するため「エレフット」を提案して地盤支持力を確認し対応した。また、残土処理や法面養生についても積極的に提案し、次期工事も考慮した丁寧な施工を実施した。通信面では、当初のPLANET-BBに代わりSTARLINKを導入し、連絡や情報収集の効率化を図った。こうした臨機応変かつ前向きな対応は、出来形の向上や遅延防止、緊急時の対応や安全性向上に貢献し、模範的な取り組みとなった。		

完成又は施工状況写真



コンクリート打設状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな	さたけんせつ かぶしきがいしゃ		
会社名	佐田建設 株式会社		
ふりがな	ねぎし だいすけ	職種	現場代理人
技術者名	根岸 大輔		
ふりがな	あーるよんこくどうじゅうななごうしぶかわにしばいばすにごうかんきょうじ		
工事名	R 4 国道 1 7 号渋川西 B P 2 号函渠工事		
工 期	(自) 令和4年7月4日 (至) 令和6年10月31日		
事務所名	高崎河川国道事務所		
工事概要	本工事は、国道 1 7 号渋川西バイパスの群馬県渋川市渋川地先において、函渠 1 基の設置を行う工事である。		
表彰理由 【工事】	<p>工事全般を通じて、工程、品質、出来形、安全について優れた施工管理がなされ、無事故で工事を完成させた。</p> <p>コンクリート工では温度ひび割れ防止対策として 3 次元温度応力解析を行い補強鉄筋の追加や中庸熱セメントの使用など、コンクリート構造物の品質向上に効果的な取組がなされ評価できるものであった。</p> <p>近隣の高校生を対象とした現場見学会の開催など、地域とのコミュニケーションを積極的に図りつつ、円滑に工事を進めており、評価できるものであった。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>監督職員等と密に協議調整を図りつつ、占用企業者調整など関係機関調整も的確に行い、無事故で工事を完成させた。</p> <p>コンクリート構造物の品質向上のための施工上の工夫、B I M / C I M の活用による設計の照査、I C T の活用や新技術を積極的に取り入れるなど、創意工夫をもって工事を進めており、工事全般において優れた施工管理がなされた。</p> <p>住宅地に近接し主要地方道の交通確保を必要とする工事であったが、地域とのコミュニケーションを積極的に図り、住民と良好な関係の構築に努めるなど、高く評価できるものであった。</p>		

完成又は施工状況写真



函渠頂版打設施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな	いけした こうぎょう かぶしがいいしゃ		
会社名	池下工業 株式会社		
ふりがな	にしまき かつし	職種	監理技術者
技術者名	西巻 克始		
ふりがな	あーるよんからすがわうがんだちさきいどさわがわかりゅうごがんほかこうじ		
工事名	R 4 烏川右岸根小屋地先井戸沢川下流護岸他工事		
工 期	(自) 令和5年5月15日 (至) 令和6年5月17日		
事務所名	高崎河川国道事務所		
工事概要	<p>本工事は、高崎市寺尾町の城南大橋より下流の烏川右岸の寺尾・根小屋地区の無堤部における堤防整備等である。</p> <p>井戸沢川地区においては、井戸沢川の護岸工事約3,000m²を施工する。また、一本松地区においては築堤盛土を約3,000m³施工するものである。</p>		
表彰理由 【工事】	<p>本工事は、井戸沢川地区においては、狭隘な河道内の井戸沢川の既設護岸を撤去し多自然護岸（かごマット）を設置するものであった。また、一本松地区においては、交通量の多い市道に法覆護岸工を施工し築堤を接続するものであった。</p> <p>工事の実施にあたっては、BIM/CIM活用の提案を行い、現場へのICT等の積極的な活用を推進し良好な出来高、品質を確保した。併せて、若手技術者の育成等の取り組みを行った。</p> <p>また、周辺環境への配慮や地域とのコミュニケーション等に積極的に取り組み、無事故で工事を完成させた。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>本工事技術者は、本工事内容の意図、地域特性を十分に理解し、積極的に関係者調整を行い無事に工事を完成させた。</p> <p>築堤工等の品質向上のための施工上の工夫、BIM/CIMの活用、ICTの活用や新技術を積極的に取り入れるなど、創意工夫をもって工事を進め、工事全般において優れた施工管理がなされた。また、資材等の運搬路として利用する周辺の生活道路の除草やゴミ拾いの美化活動を行うなど地域への貢献を積極的に行うとともに、地元への配布資料は写真を多く使い視覚的にもわかりやすい資料とする等の工夫を行った。</p>		

完成又は施工状況写真



井戸沢川地区 かごマット工施工状況



井戸沢川地区 完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな	ぬまたどけん かぶしがいいしゃ		
会社名	沼田土建 株式会社		
ふりがな	わかすぎ かつのり	職種	現場代理人兼監理技術者
技術者名	若杉 勝則		
ふりがな	あーるごかたしなじょうりゅうだいにさぼうえんていこうじ		
工事名	R 5 片品上流第二砂防堰堤工事		
工 期	(自) 令和5年5月16日 (至) 令和7年1月31日		
事務所名	利根川水系砂防事務所		
工事概要	本工事は、片品川に計画された片品上流第二砂防堰堤の本体工の一部を施工するものである。		
表彰理由 【工事】	<p>本工事は、群馬県北部の片品村に位置する片品川上流部の片品上流第二砂防堰堤を施工する工事であり、施工箇所は標高約1, 0 0 0 mの山間地で1 2月以降は降雪による影響により工事が出来なくなり、作業可能な期間に限られる制約があった。このため、施工者は、ICT機械を活用し、生産性向上と工期短縮を実現し、安全対策においては最善の注意を払い施工を行った。</p> <p>現場は狭隘な谷地形を呈しており、雪解けや降雨等の出水時には河川水位が急激に上昇する山岳河川である。増水の際には退避場所が限られるため、河川内の作業においては出水に対する安全対策に十分な配慮が必要であり、V R技術を活用して事前に出水時の疑似的な現場の増水シミュレーションを行い、避難訓練に活用することで、現場作業員の安全を確保したとともに、重機を退避させたことで実際の出水時において被害を免れた実績も有している。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>本工事は技術者は施工にあたり、BIM/CIMやI C Tを活用した。</p> <p>特にBIM/CIMを活用した作業員の安全教育では、出水時の水位と現地状況を重ね合わせ、現場作業員や重機の退避場所を明確に示し、実際に出水があった際には、この教育に基づいて現場内の重機を安全な場所に事前に退避させ、被害を免れた。</p> <p>また、工事全般を通して、監督職員等と密に協議調整を図りながら、良好で安全な施工に努めた。</p> <p>厳しい現場条件であったが、事故もなく工期内に工事を完成させた功績は顕著であり、配置技術者としての能力は優秀であった。</p>		

完成又は施工状況写真



砂防堰堤コンクリート打設施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	とだけんせつ かぶしきがいしゃ かんとうしてん 戸田建設 株式会社 関東支店		
ふりがな 技術者名	まつざか ようへい 松坂 陽平	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるさんいるまがわうがんふるやひかんかいちくこうじ R 3 入間川右岸古谷樋管改築工事		
工 期	(自) 令和3年9月22日 (至) 令和6年8月30日		
事務所名	荒川上流河川事務所		
工事概要	本工事は、入間川右岸 0. 3 k 付近において、埼玉県川越市古谷上地先に位置する古谷排水樋管（延長約 80m、H3.1m×B2.4m×2 連）の改築を行うものである。また、埼玉県上尾市平方地先において発生した法面崩落箇所の復旧を行うものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は、延長約80mの2連構造の樋管を、既設樋管の機能を維持しつつ構築するものである。また、施工中に対岸で発生した法面崩落箇所の復旧について緊急対応を行ったものである。 樋管本体施工に先立ち設置した仮排水路ゲートについては、出水時のゲート操作体制を確立し適切な操作を行うとともに、堤防開削部の養生を行うなど、既存施設の機能維持を確実に行いつつ工事を完成させた。 法面崩落箇所の復旧にあたっては、施工箇所が隣接地ではなかったが、速やかに現場状況の把握と施工計画の立案、現場体制の確保を行い、二次災害を発生させることなく、無事故で工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	本技術者は、樋管本体の施工管理はさることながら、緊急対応が必要となった法面崩落箇所の施工計画の立案を速やかに行うとともに、施工中に発生した法面からの湧水対策の提案を行うなど、良好な品質を確保しつつ、迅速な復旧活動に貢献した。 また、樋管現場の近隣マンションの方々等を招待しての見学会を複数開催するとともに、定期的な工事情報の提供を積極的に行うなどし、円滑に工事を進めた。		

完成又は施工状況写真



函体施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	たべいけんせつ かぶしがいいしゃ 田部井建設 株式会社		
ふりがな 技術者名	まえばやし りょうへい 前林 陵平	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるよんあらかわさがんひらかたちくていすいごがんそのいちこうじ R 4 荒川左岸平方地区低水護岸その1 工事		
工 期	(自) 令和5年7月3日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	荒川上流河川事務所		
工事概要	本工事は、荒川左岸48.4km付近（埼玉県上尾市平方地先）において、築堤・護岸工、地盤改良工（中層混合処理）及び矢板護岸工の施工を行うものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は、延長約200mの区間において、護岸、盛土、張芝等を行うものであるが、市道や宅地が隣接する狭隘な施工ヤードとなっており、近隣住民対策や、工程管理が特に求められる工事であった。 施工に先立ち、道路の利用状況を把握し、地域や利用者へ工事の説明を行うとともに、情報共有を継続した。さらに、地域の催しに参加するなどし地域とのコミュニケーションを図りながら円滑に工事を進めた。狭隘な施工ヤードであったため、護岸、盛土、張芝施工において、入念な施工計画を立て、限られた施工ヤードにおいて安全で円滑な施工を行い、無事故で工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	本技術者は、近隣への配慮として、自治会を始め、通過するバス会社や、ゴルフクラブへ情報共有を密に行うとともに、地域とのコミュニケーションを図るため地域の催しに参加し、感謝状を得るなどし、トラブルなく施工を行ったものである。また、狭隘な施工ヤードであったため、道路使用等が必要であったが速やかに必要な手続きを行うなど、綿密な工程管理のもと無事故で工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



矢板護岸工施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	せぎぐちこうぎょう かぶしがいいしゃ 関口工業 株式会社		
ふりがな 技術者名	かじわら ながとも 梶原 永智	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるごこくどうよんごうひがしさいたまどうろよしかわこしがやちくかいりょうそのにこうじ R 5 国道 4 号東埼玉道路吉川越谷地区改良その 2 工事		
工 期	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	北首都国道事務所		
工事概要	本工事は、国道 4 号東埼玉道路のうち、埼玉県吉川市川藤～埼玉県越谷市増森において、掘削工、路体（築堤）盛土工、法面整形工、路床安定処理工、アスファルト舗装工（路盤部）を施工するものである。		
表彰理由 【工事】	道路土工の施工にあたり、地上型レーザースキャナーによる起工測量を行い、3Dマシンコントロールによる ICT 施工、3次元点群データによる出来形管理を実施し、所定の品質を確保しつつ作業の効率化を図った。また、本工事の工期内に、隣接他業者の工事や占用企業者の工事があり、調整の多い工事にも関わらずしっかりと工程管理を行い、追加工種もあったなか、無事工期内に工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	本工事を施工するにあたり、監理技術者は本工事の内容等をデジタルサイネージを活用して分かりやすく説明したり、路面清掃車を使用して周辺道路の清掃を実施して地域の美化に努めたりする等、地域住民と積極的にコミュニケーションを図ったため、苦情等なく円滑に工事を実施できた。また、事務所主催の視察・インターシップ対応等にも協力し、ICT 施工を実演する等、参加者へ丁寧な説明を実施した。		

完成又は施工状況写真



道路土工のICT施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	しょうわけんせつ かぶしがいいしゃ 昭和建设 株式会社		
ふりがな 技術者名	ほんだ しゅういち 本田 秀一	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごけんおうどうおおのどうちくかいりょうそのよんこうじ R 5 圏央道大生郷地区改良その4 工事		
工 期	(自) 令和6年2月21日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	北首都国道事務所		
工事概要	本工事は、国道468号首都圏中央連絡自動車道の茨城県常総市大生郷地先において、4車線化における路体盛土及び道路改良を施工するものである。また、既設函渠（3基）において、軽量盛土工における函渠補強（炭素繊維シート、コンクリート増厚）をあわせて施工するものである。		
表彰理由 【工事】	圏央道の4車線化における工期の制約がある中、3カ所の既設函渠の補強が必要となり、追加で補強工事を実施した。補強の工法について現地条件による比較検討や現地調査を行い、さらに調査で判明した函渠のクラック補修を行い期限内に工事を完成させた。一部の函渠周辺環境においては、交通量も多い生活道路であり、昼間に大型車の通行が確認された為、夜間の施工となった。夜間施工では、作業における騒音や光量など確認し夜間への地元調整を行い苦情もなく夜間施工を行った。工事期間中においては、月2回の周辺美化活動としてゴミ拾いなど地元の方々とコミュニケーションを取り、地元の方々からは感謝をされるなど、地元へ配慮した工事となった。		
表彰理由 【技術者】	函渠補強において、発注者及びコンサルタントと綿密な打合せを行い、現地状況での懸案事項（函渠のクラック）については補修内容の提案を行うなど、工期に影響しないよう、確実な計画を立案及び工程修正を行い工程管理を行った。 また地域住民の方々へは、工事の必要性について十分な説明をし、理解とご協力を頂き、周辺住民へ配慮した、交通事故防止対策として現場特性による危険箇所を、事前にリスク想定し周辺の危険マップなどを作成し周知するなど、近隣への安全を考慮した事故防止対策などを行った。		

完成又は施工状況写真



炭素繊維施工状況（夜間通行止め）



完成

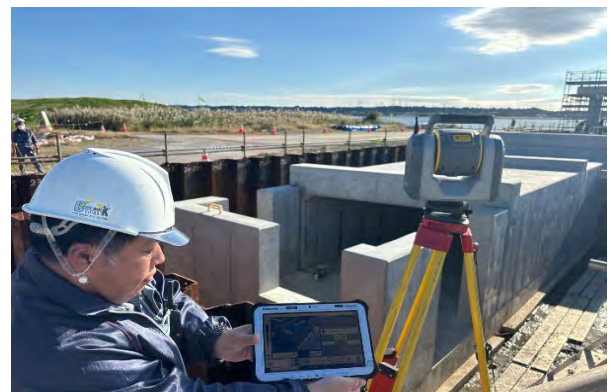
優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな	おかだどけん かぶしきがいしゃ		
会社名	岡田土建 株式会社		
ふりがな	いしげ りゅうすけ	職種	監理技術者
技術者名	石毛 龍介		
ふりがな	あーるごとねがわさがんあらくひかんしんせつこうじ		
工事名	R 5 利根川左岸荒波樋管新設工事		
工 期	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月4日		
事務所名	利根川下流河川事務所		
工事概要	本工事は、令和元年東日本台風により浸水被害を受けた利根川下流部における無堤部築堤事業に伴い、茨城県神栖市波崎地先利根川左岸6.16k付近において排水樋管の新設を行うものである。		
表彰理由 【工事】	<p>本工事では、ICT施工、CIMを積極的に活用し、完全週休2日を達成したうえで、契約工期を大幅に前倒して工事を高品質で安全に施工を完了させた。</p> <p>CIMモデルを活用し下請け業者との打合せに活用し、タブレット端末を利用したARを使用してバックホウオペレーターと床掘り形状の確認を行うなど工事現場の生産性向上に取り組んだ。</p> <p>最新の技術を使用した効率的な施工のみでなく、夏期における樋管本体現場打ち部の施工時には遮蔽シートを設置し作業員の熱中症対策にあたったり、施工現場を常に綺麗に保ちそれが他の現場に波及するなど、細部まで工夫された施工現場であった。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>監理技術者は、ICT施工、CIM等を積極的に活用し、工事全般について効率的で安全な施工を主導した。樋管の現場打ち施工部の出来形管理においては、これまで管内で実施したことのない3次元スキャニングによる出来形管理を採用したほか、AI配筋検査システムの導入など建設業の生産性向上に取り組んで大きな成果をあげた。</p> <p>樋管名板の製作にあたっては、地元中学校と連携して製作にあたり製作した名板のお披露目を中学校で行うなど建設業の担い手確保に大きく貢献した。また、盗難防止について地元へ協力を求めるなど地元調整にも積極的に取り組んだ。</p>		

完成又は施工状況写真



完成



3次元スキャニングによる出来形管理

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	とべけんせつ かぶしきがいは 戸邊建設 株式会社		
ふりがな 技術者名	しまむら しんいち 嶋村 真一	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごなかがわうがんなかがわごちょうめちさきていぼうせいびこうじ R 5 中川右岸中川五丁目地先堤防整備工事		
工 期	(自) 令和6年9月5日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	江戸川河川事務所		
工事概要	本工事は、利根川水系中川右岸堤防法尻に家屋等が隣接している箇所において堤防嵩上げを実施するもので、交通規制（通行止め）を行いながら、築堤盛土（嵩上げ）や足立区道改築を施工したものである。		
表彰理由 【工事】	本工事の施工にあたっては、改築する足立区道に接道する家屋・操業中事業所からの車両・居住者等の出入りを確保しつつ、限られた狭隘な規制帯及び複数回の道路切替を要するため、交通管理者及び道路管理者のみならず改築する足立区道に接道する家屋・操業中事業所との密な調整を行い、厳しい工程管理を実践することが必須であった。 工事の施工にあたり、受注者はこれら様々な制約の中、綿密な調整を行い苦情なく無事工事を完成させた。また、工程調整を円滑化し現場の生産性向上することを目的に「高精度屋外AR（拡張現実）システム」を用いた各ステークホルダーとの施工イメージ共有を実践するなど新技術採用への取組とその成果は顕著であった。		
表彰理由 【技術者】	当該技術者は、複雑な工程管理や道路管理者・交通管理者への諸手続について明確な根拠を示しながら最適案等の提案を監督職員に行うなど、極めて専門的な知識と技術力を駆使し、各ステークホルダーとの調整に高い能力を発揮したことのみならず、地元地域の生活・事業活動に最大限の配慮を実践することで、特段の苦情なく、無事工事を完了させた。また、複雑で厳しい工程でありながら、月単位の週休2日を達成したことは、ワークライフバランスの実践及び生産性の向上の観点からも優秀工事技術者として表彰に値するものである。		

完成又は施工状況写真



隣接居住者との合意形成



神社境界部の擁壁施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かなすぎけんせつ かぶしがいいしゃ 金杉建設 株式会社		
ふりがな 技術者名	たなか ゆうき 田中 佑季	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごえどがわうがんしのざきちさきえーのいちちくこうきかくていぼうせいびこうじ R 5 江戸川右岸篠崎地先 A の 1 地区高規格堤防整備工事		
工 期	(自) 令和5年11月10日 (至) 令和7年3月28日		
事務所名	江戸川河川事務所		
工事概要	本工事は、東京都江戸川区篠崎地先（江戸川右岸11.0k付近）において、「篠崎公園地区における高台まちづくり事業」として、地盤改良工（深層混合処理、中層混合処理、安定処理）、擁壁工、盛土工を行う工事である。		
表彰理由 【工事】	<p>施工箇所は住宅や幼稚園、寺院等の施設と隣接しており、重機作業に伴う振動、騒音の発生や粉塵等に配慮する必要があった。</p> <p>施工期間中は、隣接する住宅と施工現場の境界に振動計と騒音計を設置し、地域住民に見える化を図り、重機オペレーターに計測状況がわかるシステムを導入し振動、騒音の低減を図った。また地盤改良施工時は汚泥飛散防止対策として防塵ネットを設置し、盛土作業時は振動発生を抑制するために小型機械を用いたり周辺家屋等に配慮した施工に努めていた。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>施工箇所近傍に現場見学施設や意見箱を設け、工事の進捗状況や事業目的等の情報提供や意見箱に寄せられる質問に回答したり、毎週、地域住民への工事情報の配布を行い、地域住民との良好なコミュニケーションを図っていた。</p> <p>また積極的に現場見学会を地盤改良施工時及び I C T 盛土施工時に計 3 回実施し、技術系職員や建設会社及びコンサル会社の若手職員を対象に開催した。</p>		

完成又は施工状況写真



地盤改良施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	ちゅうぶどぼく かぶしきがいは とうぎょうしてん 中部土木 株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	あおき まさよし 青木 昌義	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごこくどうにじゅうごうはちおうじみなみばいばすたてちくかいりょうそのにじゅうにこうじ R 5 国道 2 0 号八王子南 B P 館地区改良その 2 2 工事		
工 期	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	相武国道事務所		
工事概要	本工事は、東京都八王子市館町において、一般国道 2 0 号バイパスの場所打ち擁壁及び補強土壁等を構築し、殿入川の改修を行うものである。		
表彰理由 【工事】	当該箇所は東西からの工事用道路が市道に接続する重要な箇所であり、東西の各ブロックで施工している関連工事との施工調整を行いながら、小規模な構造物構築を複数平行して施工し、優れた工程管理により工期内に完了することができた。 また工事全般に D X を活用し、特に建設ディレクター制度を取り入れ、現場技術者の負担を軽減するなど、残業削減の取り組みが優れていた。		
表彰理由 【技術者】	監理技術者の青木氏は現地状況の変化を常に把握し、必要と想定される作業について早期に提案を行い、またその提案内容も発注者の視点からも適切なものであった。 追加増工した工事用道路の施工に際しては、緊急の事案であったにも関わらず速やかに下請け業者と調整・施工の手配を行い、本工事を円滑に完了させるだけでなく、他工事の進捗にも大きく貢献した。		

完成又は施工状況写真



カルバート工施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かめいこうぎょう かぶしがいいしゃ 亀井工業 株式会社		
ふりがな 技術者名	あかた ひろし 赤田 洋志	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごさがみがわさがんなかじまたかしおていぼうこうじ R 5 相模川左岸中島高潮堤防工事		
工 期	(自) 令和6年8月22日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	京浜河川事務所		
工事概要	本工事は、相模川左岸1.6 k 付近の神奈川県茅ヶ崎市中島地先において高潮堤防工事を行うものである。		
表彰理由 【工事】	<p>本工事の施工エリアは、狭小で施工条件が厳しい中、鋼矢板やプレキャストL型擁壁等を使用した工事で、BIM/CIMを活用し、施工の可視化や作業手順の共有化を行い、リスク低減を図った。また、I C T擁壁やAI配筋検査システムを活用し、生産性の向上と働き方改革を実現させた。</p> <p>更に、CIMモデルの活用により、地域住民や自治体に理解度を向上させ、工事をスムーズに進めることができた。</p> <p>これらの取り組みは他の模範となる事から優良工事として推薦するものである。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>新規入場者教育や安全訓練においてCIMモデルを活用することで、施工ステップ毎の構造物、重機及び仮設の配置・離隔を視覚的に把握することが可能になり、安全施工に関する共通認識を確実に定着させた。</p> <p>また、鉄筋工事におけるAI配筋検査システム、測量業務における自動追尾型測量機の採用を提案し、施工管理の効率化および省力化を図った。</p> <p>これらの創意工夫により、工程遅延もなく、安全に工事を進捗させたことは、他の模範となることから優秀工事技術者として推薦するものである。</p>		

完成又は施工状況写真



プレキャスト擁壁 施工状況

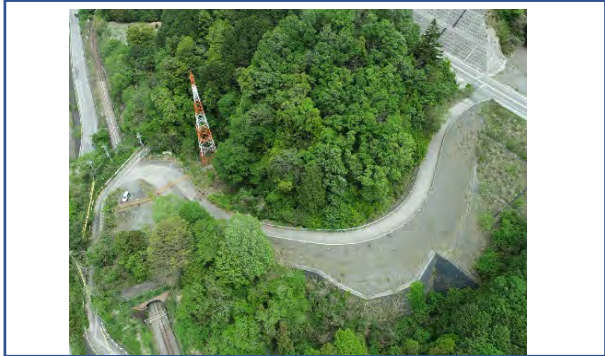


完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな	いのうえけんせつ かぶしがいいしゃ		
会社名	井上建設 株式会社		
ふりがな	とりがた とおる	職種	現場代理人兼監理技術者
技術者名	鳥潟 徹		
ふりがな	あーるごちゅうぶおうだんどうみのぶちくかいりょうこうじ		
工事名	R 5 中部横断道身延地区改良工事		
工 期	(自) 令和6年3月13日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	甲府河川国道事務所		
工事概要	本工事は、中部横断自動車道の建設時に使用した、長戸地区工事用道路の撤去復旧をメインに、応急作業等(借地箇所復旧、除草、廃アルカリ水処理、下山地区二種土の運搬)を実施した工事である。		
表彰理由 【工事】	長戸地区工事用道路撤去において、急峻な地形での土砂・補強土壁撤去等の原形復旧を行いながら、既設法面や排水構造物への接続を行う作業となり、複雑化した法面形状となることから、3D測量を行い現況地盤を精細に把握し、設計条件と発注者の意向とのすり合わせを行うとともに、問題提起や解決方法の提案、速やかな修正設計の実施等を行った。 また、ICT建機による掘削・法面整形を実施し、法面や排水構造物等の出来映えも良好であり、急峻な地形での作業となる中、工期内に完成させるとともに、安全な施工を行い工事を無事故で完成させた。		
表彰理由 【技術者】	当該技術者は、各現場状況を適切に把握し、課題を早期に抽出、問題提起を行い、検討期間を考慮した工程管理を行うなど、工事の進行に遅延を生じさせないよう円滑に取り組んだ。また、工事用道路の原形復旧作業では、施工前の形状を確認しながら作業を行い、繊細な現地合わせを実施し、設計では把握できない部分への対応や、他工事への土砂引渡し時期を遅滞なく実施する等、調整を図りつつも遅れることなく工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



施工前



完成

優良工事 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな	かぶしがいいしゃ はやのぐみ
会社名	株式会社 早野組
ふりがな	あーるにうちこうちだいごさぼうえんていこうじ
工事名	R 2 内河内第五砂防堰堤工事
工 期	(自) 令和2年10月3日 (至) 令和6年12月18日
事務所名	富士川砂防事務所
工事概要	本工事は、南巨摩郡早川町新倉地先において、内河内第五砂防堰堤工事としてコンクリート堰堤工（本堰堤の左右岸袖部及び水通し部の一部を施工）と水叩工を施工するものである。
表彰理由 【工事】	<p>本工事の施工は、施工箇所上流に田代川第二発電所水車発電機取替工事現場（東京電力）があり、下流にリニア中央新幹線工事現場があって、本工事現場までの道路を共に使用しており、工事進捗に遅れを来すことが懸念がされた。しかし、町道改良工事（東京電力による町道通行止め）やコンクリート打設時等、頻繁にミキサー車が通行する際にも関係機関と密に連絡を取り、支障がないように調整及び対策を講じ、工程も遅れることなく工期内検査を行うなど、素晴らしい工程管理であった。</p> <p>また、急峻で狭隘な河道内での作業であることや土石流流下区間であるため、わずかな降雨でも土砂が流出する可能性があったが、適切な安全対策を講じ事故を発生することなく工事を完了させた。</p>
完成又は施工状況写真	
<div><p>着手前</p></div> <div><p>完成</p></div>	

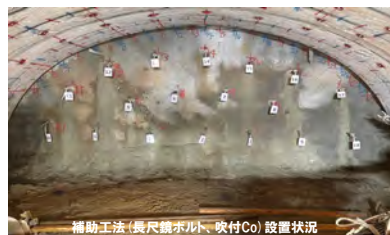
優良工事 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	たいせいけんせつ かぶしがいいしゃ ほくしんえつしてん 大成建設 株式会社 北信越支店
ふりがな 工事名	あーるにくくどうにじゅうごうしもすわおかやばいばすやまだとんねるこうじ R 2 国道 2 0 号下諏訪岡谷 B P 山田トンネル工事
工 期	(自) 令和3年2月13日 (至) 令和6年10月31日
事務所名	長野国道事務所
工事概要	本工事は、国道 2 0 号下諏訪岡谷バイパス（諏訪郡下諏訪町東町～岡谷市今井 L = 5.4km）の岡谷市、諏訪郡下諏訪町境を跨ぐ、延長 4 8 5 m のトンネル掘削、覆工コンクリート工、坑門工等を施工したものである。
表彰理由 【工事】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 破砕作用を受けた不良地山かつ、土被りが非常に少ない区間を有する厳しい条件下での施工であったが、高い技術力と発注者、監督職員とのきめ細かな意思疎通による課題解決を迅速かつ適切に行い、高い品質を有する目的物を仕上げた。 ・ 長期間の工事であったが、高い安全意識をもって工事に取り組んだこと、また、積極的に地元住民との接触を図り、無事故かつ、進捗に支障を来すトラブルを伴うことなく工事を完成させた。 ・ 働き方改革や担い手確保（若手、女性技術者の配置）等、建設業界全体の課題に対する取り組みを積極的に実施した。

完成又は施工状況写真



機械掘削（自由断面掘削機）



補助工法（長尺鋼管ルット、吹付Co）設置状況



完成（下諏訪側坑内）状況



機械掘削（プレカ掘削）



補助工法（長尺鋼管先受け）設置状況



完成（岡谷側坑口）状況

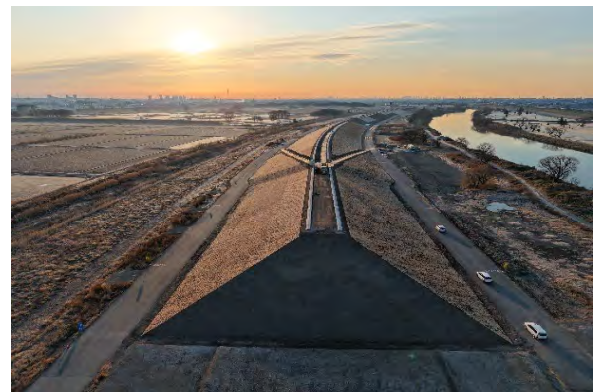
優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	せいぶけんせつ かぶしがいいしゃ かんとうしてん 西武建設 株式会社 関東支店		
ふりがな 技術者名	えびはら たけし 海老原 毅	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるよんあらかわだいにちょうせつちしもおおくぼじょうりゅうこうくいきょうていこうじ R 4 荒川第二調節池下大久保上流工区囲繞堤工事		
工 期	(自) 令和4年12月1日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	荒川調節池工事事務所		
工事概要	本工事は、荒川第二調節池整備の一環として、さいたま市桜区内の荒川左岸39.6～40.1km付近約500m区間において、囲繞堤築堤、地盤改良工、土砂改良工等を行う工事である。		
表彰理由 【工事】	<p>本工事では築堤のみならず、軟弱地盤対策としての地盤改良工、堤防敷に埋設された水道用水取水用導水管の保護対策工、築堤に使用する土砂の改良工、管理用道路及び付帯道路の新設等、多岐に渡る作業を実施する必要があった。併せて、当該工区上下流では別工事を施工中であり、別工事との調整も必要だった。</p> <p>このような状況の中、受注者は適切な工程管理、関係工事間の諸調整、ARによる埋設物確認等のDX等に積極的に取り組んだうえで、出来形・出来映え共に良好かつ無事故で工事を完成させた。</p> <p>これらの結果により荒川調節池群整備に貢献したことは評価に値するものである。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>本工事の監理技術者は、専門的な知識及び技術力をもって、適切に施工管理し、安全・円滑に工事を完成させたことは評価に値するものである。</p> <p>特にDX・別の複数工事との工事用道路関連調整、若手・女性技術者を育成などに取り組みながら適切に工事を完成させたことは他の技術者の模範となるものである。</p>		

完成又は施工状況写真



施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃ あらいぐみ とうきょうしてん 株式会社 新井組 東京支店		
ふりがな 技術者名	みやはら もとゆき 宮原 基行	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるよんくじがわうがんころふじみなみちくせいびこうじ R 4 久慈川右岸頃藤南地区整備工事		
工 期	(自) 令和5年4月1日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	久慈川緊急治水対策河川事務所		
工事概要	本工事は、令和元年東日本台風に伴い久慈川緊急治水対策プロジェクトとして茨城県久慈郡大子町頃藤地先において、全長約700mの築堤・護岸及び樋管3基を施工した工事である。		
表彰理由 【工事】	<p>本工事では隣接家屋の通行を確保しながらの施工となり、工事着手にあたり近隣住民に対してBIM/CIMモデルを活用しARにより施工後の堤防や家屋出入り口形状などを視覚的に分かりやすく説明を行うとともに、新技術を利用した振動計測データの一元管理を行うなど、地域住民の理解を得ながら施工を行った。</p> <p>施工においては、築堤工でICT技術を活用し省力化、効率化を図り良質な堤防を構築するとともに、出水による渡河施設の被災により復旧に時間を要した中、複数樋管の同時施工等により工程短縮を図り、また当事務所大子支部の安全協議会の幹事として管内現場の工事安全に真摯に取り組む、工期内に無事故で安全に工事を完成させた。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>当該技術者は、「久慈川緊急治水対策プロジェクト」の目的を十分に理解し、築堤工事を行う為に必要なICT土工や新技術を活用し高品質な施工を行うとともに、樋管工等に関する技術基準、要領などを十分に理解した上で、厳しい工程の中で段取りよく施工を進め、工期内に確実に工事を完成させた。</p> <p>また、週休二日確保の取組や監理技術者育成プログラムを活用した若手技術者の育成など、働き方改革や担い手確保の取組も積極的に実施した。</p>		

完成又は施工状況写真



樋管施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	せいきとうきゅうこうぎょう かぶしがいいしゃ きたかんとうしてん 世紀東急工業 株式会社 北関東支店		
ふりがな 技術者名	みき まこと 三木 真	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごこくぶんじしゅっちょうじょかないろめんほしゅうこうじ R 5 国分寺出張所管内路面補修工事		
工 期	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年1月31日		
事務所名	宇都宮国道事務所		
工事概要	本工事は、新4号国道の茨城県古河市大和田地先他3カ所の各所において路面の補修工事を行ったものである。主な工種は、切削オーバーレイ、コンクリート舗装工である。		
表彰理由 【工事】	本工事は現場が広範囲に点在するとともに、交通量の多い新4号国道の舗装修繕サイクルコストを抑えることを目的としたコンクリート舗装を含む重要な工事である。 ランプ部のコンクリート舗装は、施工中終日通行止めになるという現場条件を踏まえ、事前の横断幕設置や終日LED看板を設置するなどの提案がなされた。また、交通量及び大型車の多い新4号国道でかつ交差点部での夜間施工もあったが、通行車両が工事箇所手前で車線変更しやすくなるようテーパー長を通常より長く確保しLED矢印板を設置する等、安全対策を適切に行い無事故で工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	当該技術者は、当該地区において数日間終日通行止めとする工事の規制方法等について、警察と円滑かつ綿密に調整を行い、迂回路の設定においては、関連自治体との協議、及び地元住民への周知について丁寧かつ積極的に取り組んだ。 広域的な迂回となるため広範囲に迂回看板を設置し、エックスやヤフーバナー等を用いて道路利用者へ周知した。また、事故防止対策や工事による交通規制等の安全管理を的確に行い、無事故で工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



敷均し・転圧状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	たいゆうけんせつ かぶしがいいしゃ とうきょうしてん 大有建設 株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	あおき てつお 青木 哲男	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるよんこくどう 16 ごう まつがさきちくのぼり (そのに) でんせんきょうどうこうこうじ R4 国道 16 号松ヶ崎地区上り (その 2) 電線共同溝工事		
工 期	(自) 令和 5 年 7 月 10 日 (至) 令和 6 年 8 月 30 日		
事務所名	千葉国道事務所		
工事概要	本工事は、国道 16 号における電線類の地中化において、千葉県柏市十余二地先から松ヶ崎地先に位置する、延長約 500m の電線共同溝工事である。		
表彰理由 【工事】	<p>本工事は、歩道部に地下埋設物が輻輳しているため、埋設支障物件について占用企業者と積極的に調整するとともに、隣接する工区の施工者や占用企業者の工事と綿密な規制形態及び工程調整を行い、約 48,000 台/日が通行する国道 16 号において、夜間施工にて支障物件の移設を行いながら電線共同溝の設置を行った工事である。</p> <p>工程のフォローアップを積極的に行い、規制日数の短縮に寄与する施工方法や資材の提案を行うなど、優れた施工管理をもって工事を完成させた。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>当該技術者は、本工事内容を十分に理解し、関連工事との工程調整及び工程調整に伴う工程管理を的確に実施して施工管理に努めるとともに、占用企業者など関係機関調整を積極的に関与した。</p> <p>また事業説明看板を作成し、工事区間内へ掲示したことにより、通行者へ事業への理解に貢献した。</p> <p>さらに、冬期の降雪時において、積極的に歩道橋の除雪作業を行い通学路の確保に寄与した。</p>		

完成又は施工状況写真



特殊部設置状況



完成

優良工事 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいがいしゃ こまいはるてつく とungskょうほんしゃ 株式会社 駒井ハルテック 東京本社
ふりがな 工事名	あーるよんけんおうどうてしろぎばしじょうぶそのにこうじ R 4 圏央道手代木橋上部その2 工事
工 期	(自) 令和4年11月1日 (至) 令和6年4月30日
事務所名	常総国道事務所
工事概要	本工事は、首都圏中央連絡自動車道のうち、茨城県つくば市手代木地先から同市西大沼地先において、手代木橋の橋梁上部工等を施工するものである。
表彰理由 【工事】	当該箇所は、供用済みの圏央道に近接した施工であり、かつ4車線の国道を跨ぐ上部工架設となるが、工事全般を通じ、品質、出来形、安全に対し十分な管理を行った。 また、床版の出来形計測にあたっては、新技術3次元計測システム「ハイブリッド測量」を活用し、地上からの作業のみで計測することができるなど現場作業の効率化を図る取り組みを行う等により、工期限内に無事故で工事を完成させたことから、本工事を表彰するものである。

完成又は施工状況写真



架設前地組状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃ せんぼんすぎ 株式会社 千本杉		
ふりがな 技術者名	いとう こういち 伊藤 光一	職種	主任技術者
ふりがな 工事名	あーるご・あーるろくかしまこくどうかんないりょくちかんりこうじ R 5 ・ R 6 鹿嶋国道管内緑地管理工事		
工 期	(自) 令和5年5月25日 (至) 令和7年2月28日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
工事概要	本工事は、鹿嶋国道出張所管内全域における、歩道部及び中央分離帯部の植栽帯の維持管理を行い、道路の緑化環境を良好な状態に保つための工事である。		
表彰理由 【工事】	<p>本工事は、契約工期が12ヶ月を超え、かつ交通量の多い現道上で日々移動しながらの作業であったが、通行車両への飛び石対策を入念に行うなど、安全対策に配慮し、第三者に対する安全対策を十分に講じながら作業を行い、無事故で工事を完成させた。</p> <p>また、地元からの要望や緊急を要する事案に対しても、施工体制を整え、柔軟に対応するなど、突発的事象に対する対応を行いつつ、工程管理に関する取り組みが積極的かつ、適切に行われた。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>本工事は、植栽帯内の除草及び街路樹の剪定など、交通量の多い道路を交通規制しながら施工することから、施工にあたっては工程管理に加えて、十分な安全対策を実施し、さらに沿線住民や店舗等に対して、騒音・振動・作業時間などの配慮と丁寧な対応がなされていた。</p> <p>また、労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であり、技術者が率先して、作業従事者に声がけを行い事故等の発生防止に努めるなど積極的な取り組みが見られ、他工事の模範となるものである。</p>		

完成又は施工状況写真



除草施工状況



完成

優良工事 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	みゆきけんせつ かぶしがいいしゃ ミユキ建設 株式会社
ふりがな 工事名	あーるごゆにしがわだむせんたくしゅすいせつとうがいへきかいしゅうこうじ R 5 湯西川ダム選択取水施設棟外壁改修工事
工 期	(自) 令和6年8月5日 (至) 令和6年12月17日
事務所名	鬼怒川ダム統合管理事務所
工事概要	本工事は、栃木県日光市西川地先に位置する湯西川ダムの選択取水施設において、外壁の改修工事である。
表彰理由 【工事】	<p>選択取水施設棟はダム湖に張り出しており、外壁の改修工事は高所での作業環境であるうえ、ダム天端通路からのクレーン作業となる現場条件であった。また、劣化した外壁材（押出成形セメント板（ECP））の撤去に際し、荷揚げ中に折れて落下する可能性が予見され、落下したECPが放流設備に悪影響を及ぼすことが懸念された。</p> <p>本工事では、ECPの中空部にワイヤーを通し、荷揚げ途中でECPが折れても分離しないよう当受注者が確実な施工方法の工夫を行ったことで、作業の安全性も向上し計画通り施工がなされたため。</p>

完成又は施工状況写真



工事現場風景



外壁改修施工状況

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	にほんでんせつこうぎょう かぶしがいいしゃ 日本電設工業 株式会社		
ふりがな 技術者名	いわせ ひろゆき 岩瀬 広行	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	さいたましんとしんごうどうちようしゃにごうかん（にじゅうに）でんきせつびかいしゅうこうじ さいたま新都心合同庁舎 2 号館（2 2）電気設備改修工事		
工 期	（自） 令和4年12月5日 （至） 令和6年11月20日		
事務所名	営繕部		
工事概要	本工事は、さいたま新都心合同庁舎 2 号館において、2 号館、厚生棟及び検査棟の照明器具更新と照明制御装置を更新する電気設備工事である。		
表彰理由 【工事】	<p>工事にあたっては次のような制約があった。</p> <p>①施設を運用しながらの施工であるため、執務室の作業は休日のみであった。</p> <p>②災害対策室等においては、災害発生時には作業が出来ないため、作業日程の調整が困難であった。</p> <p>これらの制約の中でも確実な施工が必要なため、関係者と綿密な工程及び施工管理を的確に行い、施設運用に支障を与えることなく優れた品質で工事を完成することが出来た。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>当該技術者は本施設における特殊性を理解した上で、発注者及び施設管理者との協議・調整を密に行い、工事日程・作業手順などについて丁寧な説明を行い、作業による照明の停止時においても仮設照明を用意するなど、工事中において施設機能を保ったまま工事を完成させることに大いに貢献した。</p>		

完成又は施工状況写真



執務室照明器具取付施工状況



完成状況（会議室）

優良工事 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	たいせいせつび かぶしきかいしゃ 大成設備 株式会社
ふりがな 工事名	どうぶついやくひんけんさじょ（にじゅうに）きかいせつびこうじ 動物医薬品検査所（22）機械設備工事
工 期	（自） 令和5年5月8日（至） 令和7年3月14日
事務所名	営繕部 保全指導・監督室
工事概要	現在使用している動物医薬品検査所は、計画道路による敷地の現象、また、施設の老朽化、狭隘化が進んでおり、耐震性能も不足している。これらを解消するため、現地建替が困難であることから、つくば市へ移転整備を行うものである。本工事はそのうち空調機や衛生器具を整備した冷暖房衛生設備工事である。
表彰理由 【工事】	本工事は、研究者のニーズをくみ取り、施工に反映していく、きめ細やかな調整が求められる工事である。工事受注者は、各研究室ごとに、実験で使用する実験機器の性能から、使用する薬品に至るまで聞き取り調査を行い、一覧表で整理しながら工事を進め、実験環境に必要な使用・品質を確保した。また、施工途中にモックアップ等の作成や研究者を集めた施設見学を開催し、引き渡し後の業務を分かりやすくイメージできるよう努力した。これらの取組により良好な品質を確保し工事を完成することができた。

完成又は施工状況写真



本庁舎 屋上設備スペース



焼却炉

優良工事 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな	おりえんたるしらいし かぶしきがいしゃ とungskyoushiten
会社名	オリエンタル白石 株式会社 東京支店
ふりがな	あーるよんとうかんどうふったかついじちくこどうきょうじょうぶそのにこうじ
工事名	R 4 東関道古高築地地区跨道橋上部その 2 工事
工 期	(自) 令和4年12月9日 (至) 令和6年11月8日
事務所名	常総国道事務所
工事概要	本工事は、東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)約31kmのうち、茨城県潮来市古高地先、同市築地地先、及び行方市中根地先における跨道橋（4 橋）のPC橋上部工事である。
表彰理由 【工事】	工事範囲が広範囲に点在しており、かつ橋種も異なる現場条件の中、各橋に対し適切な施工計画を立てて工程管理を確実に行った。 また、コンクリート打設時の打設天端レベル表示や養生時の保湿保温マット等、様々な新技術や有用な技術を活用することにより施工性や安全性を向上させ、良質な構造物の構築がなされたことから、本工事を表彰するものである。

完成又は施工状況写真



セグメント桁施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃ あしざわぐみどぼく 株式会社 芦沢組土木		
ふりがな 技術者名	おび つよし 小尾 剛	職種	現場代理人兼監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごなかじまさぼうえんていうがんしゃめんたいさくこうじ R 5 中島砂防堰堤右岸斜面对策工事		
工 期	(自) 令和6年4月17日 (至) 令和7年1月24日		
事務所名	富士川砂防事務所		
工事概要	本工事は、釜無川上流部に整備されている中島砂防堰堤の改築にあたり、工事の支障となる右岸崩壊地からの落石対策として、斜面对策を行うものである。		
表彰理由 【工事】	<p>本工事は、崩壊地の落石対策として斜面工事を行うものであるが、現地状況、設計照査等により、落石防止網工について当初範囲より増工する必要が生じたが、法面整形の無人化施工、ICTを活用するなど、効率的な施工を実施し、厳しい現場条件であったが、工程に遅れが生じることなく工事を完成させた。</p> <p>また、作業従事者の安全施工を行うべく、新技術等を活用し体調管理等を行い安全管理及び現場管理を行った上で、無事故で工事を完成させた。</p> <p>さらに、山間部であるがICT等の活用で良好な出来形を確保し、質の高い施工を行った事により、他の模範となる工事となることから、優良工事として推薦するものである。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>本工事の現場代理人兼監理技術者は、現場条件を詳細に把握し、工事全般を通じて監督職員とも密に協議・調整を図り、綿密な工程計画、施工管理等により良好な出来型を確保し、質の高い施工を行った。</p> <p>また、安全管理については斜面上での作業であるため、転落、落石など非常に危険リスクの伴う作業であったが、ICT活用や新技術を積極的に活用し、危険リスクの高い作業の軽減を図るなど、安全管理及び現場管理等について取り組む姿勢が非常に評価できるものであったことから、優秀工事技術者として表彰に値するものである。</p>		

完成又は施工状況写真



法面整形工施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな	すずぬいこうぎょう かぶしきがいしゃ		
会社名	鈴縫工業 株式会社		
ふりがな	たけだ としやす	職種	監理技術者
技術者名	武田 敏康		
ふりがな	あーるごこくどうろくどうひたちこくどうしゅっちょうじょかんないぼうさいほかこうじ		
工事名	R 5 国道 6 号日立国道出張所管内防災他工事		
工 期	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年1月31日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
工事概要	本工事は、令和5年度台風13号によって崩落した茨城県高萩市赤浜地先に位置する法面において、法面の復旧工事を行うものである。		
表彰理由 【工事】	<p>令和5年9月の台風13号により被災した法面崩壊箇所の復旧と既存法面を保護する工事である。歩道と民地間の極めて狭隘な法面での工事であり作業員や民地耕作者の安全確保の他、翌台風シーズン到来までの迅速な崩落面の復旧が課題であった。</p> <p>また、交差点からの大型トラックの出入りが激しく一般交通の安全確保も重要であった。</p> <p>受注者は動的な3Dモデルの活用等により作業員・重機の導線、規制帯の線形、民地耕作者の出入り等を検討し、綿密な安全管理と工程管理により無事故で工事を完成した。</p> <p>工事中は降雨等による再被災の懸念に配慮し、変位計等による常時計測や雨天時監視など万全の体制で施工にあたり、また、周辺歩道の清掃や除草を行い、周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>翌台風シーズン前に被災法面を復旧することが重要であり、工事契約後早期に着手することが求められた。</p> <p>監理技術者は、車線切り回しのため所轄警察署や隣接する工業団地関係者への丁寧な説明に努め、円滑に道路協議を得ることができた。施工中もトラック運転手等の要望を聞き取り、規制資材の配置を改善するなど一般交通の安全確保にも努めた。また法肩の施工導線を確保するためには隣接する民地の借地が不可欠であるが、耕作中の畑地であるため耕作者の出入りにも安全配慮が必要であった。監理技術者は地主や耕作者への丁寧な説明により円滑に借地の同意を得ただけでなく、施工中も地主や耕作者と密に連絡調整することにより作業員と耕作者双方の安全確保に貢献した。</p>		

完成又は施工状況写真



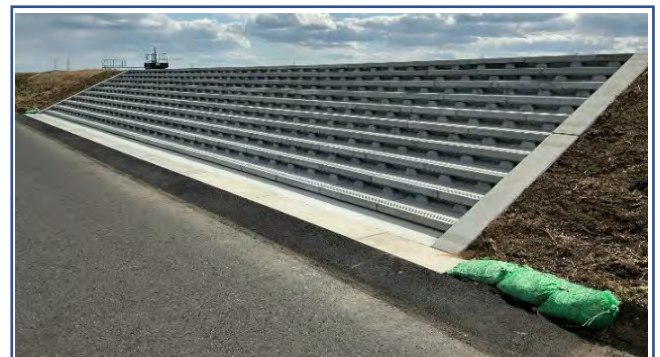
優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	たかはしけんせつ かぶしきがいしゃ 高橋建設 株式会社		
ふりがな 技術者名	さとう あつし 佐藤 敦	職種	現場代理人兼監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごきたうらさがんかじやまちさきほかごがんほきょうこうじ R 5 北浦左岸梶山地先外護岸補強工事		
工 期	(自) 令和6年4月8日 (至) 令和7年2月28日		
事務所名	霞ヶ浦河川事務所		
工事概要	本工事は、茨城県銚田市梶山地先及び二重作地先の北浦左岸において、施設点検・評価の結果、予防保全段階と評価された範囲の矢板護岸前面に袋詰根固めを設置し、護岸の補強を行う工事である。また、追加工事として袋詰根固めの製作と堤防法面における階段設置工事を行った。		
表彰理由 【工事】	もともと点在型工事として二か所の施工箇所が指定されていたが、工事の完成に差し掛かった頃、地元要望に早急に応える必要性があったことから、本工事に堤防法面への階段設置工事が追加された。その結果、施工期間が年を跨ぐこととなり、市道摺り付けの施工に伴う地元調整等が必要となったが、優れた施工管理のもと、地域住民とも綿密な調整を行い、スケジュールの遅れや事故などのトラブルなく工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	当該技術者は、多量の袋詰根固め運搬のため、袋詰根固め備蓄ヤードにおける他工事との工事間調整が必要となる中、滞りなく調整を行うことで問題なく実施した。また、追加工事となった堤防法面への階段設置は、歩道のない市道脇にあり、通行止め等が生じたが、問題なく施工した。 さらに、市民団体が主催する霞ヶ浦の清掃活動についても、開催の度に参加するなど、地域貢献に大きく努めるとともに、当該施工箇所周辺にうなぎの仕掛けなどの漁具が多数あったが、細やかな配慮を行うことで、苦情などのトラブルもなく完成した。		

完成又は施工状況写真



完成（梶山地先の袋詰根固め設置工事）



完成（潮来地先の階段設置工事）

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	はらこうぎょう かぶしがいいしゃ 原工業 株式会社		
ふりがな 技術者名	はんだ しゅういち 半田 修一	職種	現場代理人兼監理技術者
ふりがな 工事名	あーるご・あーるろくあしかがかんないさがんいじかんりこうじ R 5・R 6 足利管内左岸維持管理工事		
工 期	(自) 令和5年4月1日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	渡良瀬川河川事務所		
工事概要	本工事は、渡良瀬川左岸25.0km～44.0km（栃木県佐野市高橋町地先～栃木県足利市小俣町地先）の堤防除草工事、維持工事及び洪水、地震時の状況把握業務を行うものである。また、変更による増工で、袋川水門上屋の新設工を行ったものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は、河川堤防の除草工、養生工、清掃工及び緊急的な維持工が主な工種であるが、当初予定されていなかった「袋川水門上屋の新設」等の大幅な追加工種の指示事項に対し、厳しい工程の中、会社の更なる支援体制を整え、施工現場においては現地状況を勘案した施工方法や構造についての提案等、常に発注者側とコミュニケーションを図り、適切かつ円滑な施工が実施された。 さらに、地元の学童クラブを対象とした現場見学会を実施し、建設機械の乗車体験や測量体験等により、子ども達とも積極的にコミュニケーションを図った。		
表彰理由 【技術者】	現場代理人兼監理技術者は、当該工事の主旨・目的を的確に捉え、現場状況を適切に把握し、臨機かつ迅速な対応により計画的な現場管理・工程管理を行い、良好な出来形・品質を確保しつつ、工事を進捗させた。 また、近接する河川占有者や地元住民との調整を丁寧に行い、滞りなく無事に工事を完成させ、配置技術者として十分な能力を発揮した。		

完成又は施工状況写真

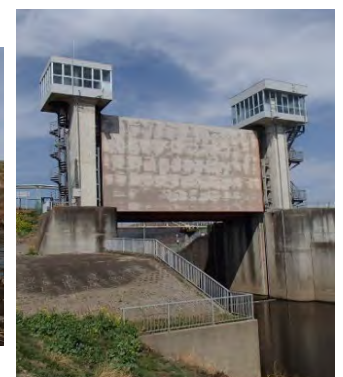


除草工

養生工



堆積土砂撤去（出流川水門）



上屋完成（袋川水門）

優良工事 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	きたがわひゅーてつく かぶしがいいしゃ とungskyouhonsha 北川ヒューテック 株式会社 東京本社
ふりがな 工事名	あーるごかすかべこくどうしゅっちょうじょかんないこうぞうぶつ・ほそうしゅうぜんほかこうじ R 5 春日部国道出張所管内構造物・舗装修繕他工事
工 期	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日
事務所名	大宮国道事務所
工事概要	本工事は、春日部国道出張所管内において、越谷市大間野地先の横断管補修、春日部市水角地先の舗装修繕、春日部市永沼地先の避難路整備を行う工事である。
表彰理由 【工事】	<p>本工事は、施工箇所が点在する工事であったが、優れた施工管理がなされ、事故無く、工期内に工事を完成させた。また、路面下空洞発見時や降雪時には、万全な支援体制を整え対応した。</p> <p>横断管補修工事においては、交差点内かつ非出水期施工という制約条件であると共に、地下水位の高い施工条件で、関係機関と綿密な調整を行いながら施工した。</p> <p>舗装修繕工事においては、上下線各2車線の全4車線、日交通量約38,000台の施工条件で、24時間営業の店舗からの出入り車両に配慮しながら車線規制による夜間施工を行った。</p>

完成又は施工状況写真



施工状況（既設函渠への接続）



完成（舗装修繕工事）

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃ ゆーでいけー 株式会社 ユーディケー		
ふりがな 技術者名	たかはし かずひろ 高橋 一博	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるご・あーるろくこくどうにひやくきゅうじゅうはちごういじこうじ R 5・R 6 国道 2 9 8 号維持工事		
工 期	(自) 令和5年4月1日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	北首都国道事務所		
工事概要	本工事は、国道 2 9 8 号の維持修繕を行ったものである。 主な工種として道路巡回工 1 式、舗装工 1 式、区画線工 1 式、道路附属物復旧工 1 式、道路除草工 1 式、応急処理工 1 式である。		
表彰理由 【工事】	<p>本工事は、国道298号の維持工事であり、本線 4 車線と側道を含む環境施設帯（幅員 4 0 m～6 0 m）を有しており、沿道との調和に配慮した道路として、緑地帯等が管理延長（3 0．6 k m）に比べて多い。また本線と側道間には遮音壁を有し、交差道路や鉄道との交差はアンダーパス等の立体交差が多い。このうち、特にサグ地形部で雨水排水が集中している箇所が川口地区に数カ所あり、側道や国道本線が集中豪雨でたびたび冠水が生じている。</p> <p>当該箇所における短期的な冠水対策として、排水構造物の改修や交通規制の方法などを台風時やゲリラ豪雨それぞれの特徴に合わせた対応を積極的に提案し、関係機関や沿道との協議調整を行い、トラブル無く工事を完成させた。さらに実際の豪雨時に迅速に現地対応を行い、被害等を未然に防いだ。</p> <p>また管内全域で地域の状況に合わせた適切な除草、道路清掃や異常気象時の雨水排水、除雪作業や沿道への周知を積極的に行い地域へ支援を行った。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>当該技術者は、管内全域の現場状況を適切に把握し、遅滞のない関係機関調整や沿道住民への配慮等を行い、迅速な対応や計画的な工程管理により無事工事完了させた。</p> <p>また、工事期間全般において積極的・迅速な監督職員との打合せ・調整を行い、現地作業員へ適切な指示を行い迅速かつ円滑に工事を進めた。</p>		

完成又は施工状況写真



応急処理作業状況（排水対策）



大雨時の交通規制

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	むろたけんせつ かぶしがいがいしゃ 室田建設 株式会社		
ふりがな 技術者名	とりごえ ゆうき 鳥越 裕基	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるご・あーるろくとねがわうがんさわちさきこうすいじきせいびこうじ R 5・6 利根川右岸佐原地先高水敷整備工事		
工 期	(自) 令和6年1月19日 (至) 令和6年8月30日		
事務所名	利根川下流河川事務所		
工事概要	本工事は、千葉県香取市佐原地先の河川敷で行われた第72回利根川水系連合・総合水防演習の会場及びその周辺の整備を行った工事である。		
表彰理由 【工事】	土砂等の運搬において、ダンプトラックの標準積載量に応じた積載量管理を、バックホウに設置したデジタル計測機能を活用し確実に行うことで、過積載防止に加え、最適積載量による運搬作業の効率化が図られた。 また、施工エリアが広く敷鉄板の敷設替えを多く伴う工事であったが、設置撤去に新技術を活用し、効率化・省人化による、安全かつ、工程短縮が図られた。 他の行政機関や業者との複雑な工程調整等を必要とする工事であったが、適確かつ主体的に実施されるとともに、施工では生産性の向上に努め、他工事の模範となるものであった。		
表彰理由 【技術者】	整備範囲は、降雨後に水はけが悪く、排水処理が課題であった。 UAVによる微地形の把握を行うとともに、雨天後の現地状況を記録し照合させることで、効果的な排水処理対策を提案し早期解決に導いた。 また、整備後の利用者の安全性と、コスト縮減を考慮した使用材料の試験施工の実施を含む提案がなされ、より良い仕上がりを追求する施工に努めていた。 工事目的を考慮した積極的な姿勢は、技術者として他工事の模範となるものであった。		

完成又は施工状況写真



水防演習会場設置状況

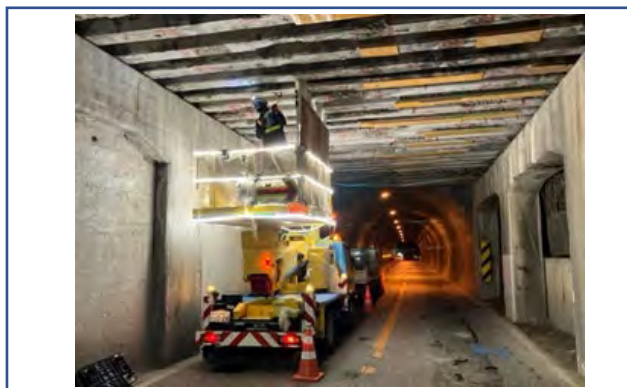


過積載防止対策

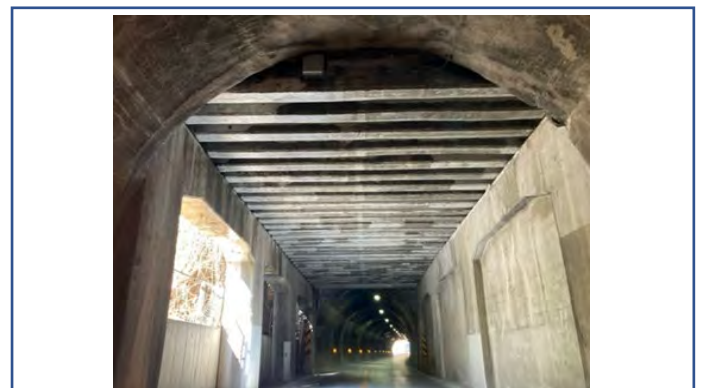
優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃ おのこうぎょうしょ 株式会社 小野工業所		
ふりがな 技術者名	さとう とおる 佐藤 徹	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごきさらづしゅっちょうじょかんないどうろこうぞうぶつほかほしゅうこうじ R 5 木更津出張所管内道路構造物他補修工事		
工 期	(自) 令和5年9月27日 (至) 令和7年3月14日		
事務所名	千葉国道事務所		
工事概要	本工事は、木更津出張所管内の国道127号に点在するトンネルやロックシェットの補修工事及び法面の防災対策工事を実施したものである。施工箇所は12箇所に及び、多数の構造物等を長期に渡り施工した。		
表彰理由 【工事】	<p>本工事は、国道127号に点在するトンネル（5箇所）、ロックシェット（6箇所）の補修工事及び法面（1箇所）の防災対策工事について、主に夜間片側交互通行により施工したものである。当該施工箇所は、作業ヤードに制限がある狭隘部が多い中、一般通行車両に配慮しながら工事を進める必要があった。</p> <p>当該施工業者は、狭隘部での接触防止対策や通行車両の視認性確保など、様々な安全対策を行い、各現場に応じた適切な施工を実施された。</p> <p>また、発注者からの指示事項についても、積極的かつ迅速に対応された。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>当該配置技術者は、約35km12箇所に及ぶ対象物の特徴や劣化原因等の把握に努め、補修箇所の抽出や施工方法について、監督職員と密に調整し、各現場に応じた的確な施工を行った。</p> <p>更に、各現場における施工中における課題についても把握に務め、各々の現場に応じた安全対策や施工順序について提案され、無事故で確実な施工に寄与した。</p>		

完成又は施工状況写真



ロックシェットの補修作業（夜間工事）



完成

優良工事 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな	にっこうけんせつ かぶしがいいしゃ
会社名	日工建設 株式会社
ふりがな	あーるよん・ご・ろくよぎいじこうじ
工事名	R 4 ・ 5 ・ 6 代々木維持工事
工 期	(自) 令和 4 年 4 月 1 日 (至) 令和 7 年 3 月 3 1 日
事務所名	東京国道事務所
工事概要	本工事は、国道20号(約16.6km)、国道246号(約14.8km)における巡回を実施するものであり、また、路面陥没や異常気象時などでの迅速な応急処理を実施する工事である。
表彰理由 【工事】	<p>交通量の非常に多い都心での道路維持作業において事故無く工事完遂させた。</p> <p>日々のポットホール等の道路異常への対応も迅速であり、道路利用者の安全な走行環境の確保に大きく貢献した。</p> <p>交通結節点(バスタ新宿)での路面補修等については、時間的制約を受ける中、車両の運行や利用者の利便性を低下させないよう、品質・工程管理を行い時間内で作業を完遂させた。</p> <p>台風や短時間豪雨による道路冠水や、大雪の予防的通行止め時の除雪作業など災害対応において迅速かつ的確に対応し早期開放に寄与。</p>

完成又は施工状況写真



応急処理(ポットホール)対応状況



路面補修前



完成(路面補修後)

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	すずよけんせつ かぶしがいがいしゃ 鈴与建設 株式会社		
ふりがな 技術者名	ちざわ まさき 千澤 正樹	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごふじかわかりゅうぶかどうせいびこうじ R 5 富士川下流部河道整備工事		
工 期	(自) 令和 6 年 5 月 2 8 日 (至) 令和 7 年 2 月 7 日		
事務所名	甲府河川国道事務所		
工事概要	本工事は、静岡県富士市岩淵地先の河岸洗掘対策として袋型根固め及び根固めブロック（乱積み）を設置する工事である。		
表彰理由 【工事】	<p>本工事は、富士川本川における河岸洗掘対策として袋型根固め及び根固めブロック（乱積み）を設置する工事である。</p> <p>施工に際し、流水を制御するために必要な仮締め切り工や根固めブロック設置のための作業ヤード等の施工方法について、現場状況に応じた段取りが重要である。</p> <p>当該受注者は、現場状況を十分に把握し、手戻りもなく無事故・無災害で工期内に工事を完成させた。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>本工事の監理技術者は、これまでの実績と経験から、当該現場に必要な施工方法や安全対策を熟知していた。なお、出来形や品質管理についても、ばらつきが少なく優れた管理がなされている。また、ＩＣＴ技術を積極的に活用し、既設構造物との摺り付けまで、出来映え良く優れた施工がなされている。</p>		

完成又は施工状況写真



根固めブロック工施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃ きのしたぐみ 株式会社 木下組		
ふりがな 技術者名	そうま ますたか 相馬 増高	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるご・あーるろくうえだしゅっちょうじょかんないじこうじ R 5・R 6 上田出張所管内維持工事		
工 期	(自) 令和5年4月1日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	長野国道事務所		
工事概要	本工事は、上田出張所管内の国道18号（管理延長65.5km）において道路巡回や舗装工、路面清掃工、除雪工及び除草工や応急処理工などを主に施工する道路維持工事である。		
表彰理由 【工事】	<p>本工事は、道路利用者が安全に通行できるように日常的な維持管理を行う工事であるが、24時間365日常に適切な管理体制を確立して落下物や事故対応など緊急出動に迅速に対応した。特に冬期の路面管理において予防的通行止めの実施に際しては、除雪の作業員だけでなく、多くの交通規制の要員を遅滞なく確保して迅速に現場に配置して通行規制を実施するなど、主体的に作業を行っている。</p> <p>加えて、令和6年8月に集中的な豪雨により一部法面が崩落する事象が発生したが、迅速に作業員や資機材を確保し、夜を徹して作業にあたり、一晩で応急復旧作業を完了し、安全な交通確保に寄与している。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>本工事の現場代理人として、豊富な経験と技術力を生かし、責任を持って監督職員と綿密な協議を行い、工事全般について適切な対応に努めて作業を進め、2年間の長期の工事であったが無事故で工事を完成させた。</p> <p>また、行政相談に対する対応においては、相談者に対して親切かつ丁寧な対応に努め問題を生じさせることなく作業を行っている。</p> <p>加えて、地先の周辺道路の清掃や冬期の除雪を行うなど地域貢献にも取り組み、工事のイメージアップにも貢献している。</p>		

完成又は施工状況写真



応急復旧施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	とうあけんせつこうぎょう かぶしきがいしゃ とうきょうしてん 東亜建設工業 株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	たなか としなが 田中 寿長	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごしなきだむしゅんせつこうじ R 5 品木ダム浚渫工事		
工 期	(自) 令和6年4月3日 (至) 令和7年1月31日		
事務所名	品木ダム水質管理所		
工事概要	本工事は、品木ダムの堆砂量軽減を目的としてダム湖に沈殿した中和生成物等による堆積土砂の浚渫を行い、強制脱水処理、浚渫土運搬、固化処理、盛土を行うものである。		
表彰理由 【工事】	堆積土砂を浚渫し、強制脱水処理したのちに、処分場にて行う埋立作業（盛土）に際して、盛土前後に3次元計測技術（地上型レーザースキャナー）を用いた起工測量・出来形管理を実施し、迅速かつ正確な出来形数量を算出した。 また日々のKY、作業手順書、重機作業計画書をタブレット端末（eYACHO）等を駆使し、かつ端末を職長に配布することで現場（タブレット端末）と現場事務所のPC間をリアルタイムで情報共有することによって、相互確認を可能とした。 中和事業並びに浚渫工事の概要をまとめたPR動画を作成し、現場事務所前面に設置したデジタルサイネージを活用し、来場された工事見学者に明快な概要説明ができた。		
表彰理由 【技術者】	監理技術者は、責任感を持って、工事全体を主体的に管理を行い、詳細な施工計画を策定した。 浚渫で使用する浚渫船・圧送船の点検を行い、点検結果に表れた不具合及び浚渫開始後も突発的な設備の不具合トラブルについても監督職員へ協議を行い、適切な対応を提示し対応を行っていた。よって運用停止期間を最小限にとどめ、不具合で生じた期間を的確な工程管理によって、遅延せずに工期内に施工を完成させた。 また、週休2日（4週8休以上）にも積極的に取り組み達成した。		

完成又は施工状況写真

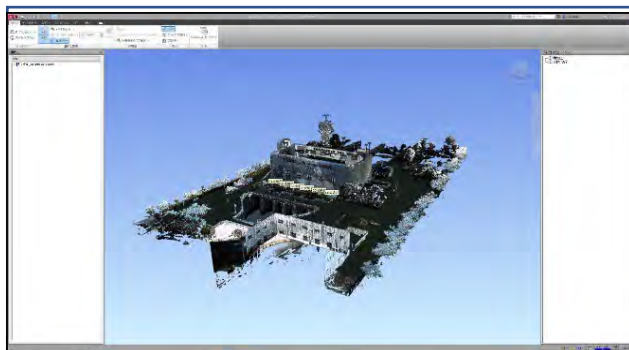


処分地転圧状況 タブレット端末（eYACHO） デジタルサイネージを使用しての説明会

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	にしだてっこう かぶしがいいしゃ かんとうしてん 西田鉄工 株式会社 関東支店		
ふりがな 技術者名	つるた ともゆき 鶴田 智之	職種	現場代理人兼監理技術者
ふりがな 工事名	あーるよんとねきじょうきりかえげーとしゅうぜんこうじ R 4 利根機場切替ゲート修繕工事		
工 期	(自) 令和4年8月17日 (至) 令和6年6月28日		
事務所名	霞ヶ浦導水工事事務所		
工事概要	本工事は、利根機場における切替ゲートのうち、霞ヶ浦側切り替えゲート（6門分）について、扉体・開閉装置・機側操作盤の更新を行うものである。		
表彰理由 【工事】	<p>【三次元データ挑戦工事】</p> <p>既存ポンプ設備の機器類がひしめく狭隘な現場でのゲート設備の修繕工事において、他では活用事例の少ない三次元モデルを積極的に活用しつつ、定点カメラによるデジタル動画撮影を行い、三次元モデルと現実作業をうまく組み合わせながら、工程管理と現場管理を両立させた。</p> <p>狭隘な施工場所に合わせた専用の移動式吊込架台を設置して、既設ゲートの撤去作業と新設ゲートの据付作業を効率的に行えるように施工方法が工夫されており、自主的に三次元データを活用して工程を遵守するなど、新たな施工に挑戦した工事。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>【関連工事との綿密な調整、適切な工程管理】</p> <p>三次元モデルと工程管理ソフト等を組み合わせ、デジタルデータを活用した工程管理や現場管理を積極的に取り組んだ。</p> <p>また、ポンプ設備を管理する多様な点検事業者と機場を管理している関連工事業者との綿密な工程調整、適切な工程管理を行い事故等がなく修繕工事を完成させた。</p> <p>今後、当該機場で同様の作業をする場合のデジタル手順書として、施工状況を記録するなどの将来を見据えた工夫もされている。</p>		

完成又は施工状況写真



三次元モデルの管理状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	にほんでんしきーびす かぶしがいいしゃ 日本電子サービス 株式会社		
ふりがな 技術者名	かさせ たかよし 蠣瀬 貴是	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごみやがせだむほうりゅうけいほうひょうじせつびこうしんこうじ R 5 宮ヶ瀬ダム放流警報表示設備更新工事		
工 期	(自) 令和6年6月5日 (至) 令和7年3月21日		
事務所名	相模川水系広域ダム管理事務所		
工事概要	本工事は、相模川水系広域ダム管理事務所管内に設置されている放流警報表示設備の更新を行うものである。 放流警報表示設備製作 2 面、放流警報表示設備設置 2 面、放流警報表示設備撤去 2 面		
表彰理由 【工事】	本工事において独自に導入した現場ポータルサイトを用いて施工管理、安全管理を行ったことにより安全かつ適切な施工が為された。 施工計画書をはじめ機器仕様書、適用基準の電子書籍化、動画による新規入場者eラーニング現場内のバーチャルツアーや気象情報、移動経路をまとめたポータルサイトを開設。現場責任者や作業員に必要な情報を一つにまとめ、本工事の情報をPC、スマートフォン、タブレットで確認出来る様にされていた。 上記を用いた優れた安全管理、施工管理により適切に工程管理を実施したことから、優良工事として推薦するものである。		
表彰理由 【技術者】	現場代理人は、上記ポータルサイト等を利用することで個々の作業員に至るまで細かな業務管理とサポートを行い、これにより施工の安全性の向上及び品質の確保に大いに寄与した。バーチャルツアーでは全天球カメラを使用し、作業員があらかじめ現場を確認出来る環境を作ることで安全かつ確実な施工を行った。 また、近隣住民に工事の周知を行う際、独自の取り組みとして工事内容をわかりやすく説明したパンフレットを作成して配布しており、公共事業のイメージアップに繋がるものである。 これらの取り組みを評価し、優秀技術者として推薦するものである。		

完成又は施工状況写真



放流警報表示設備設置施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな	にほんでんしーびす かぶしきがいしゃ		
会社名	日本電子サービス 株式会社		
ふりがな	くぼた こうし	職種	監理技術者
技術者名	久保田 晃史		
ふりがな	あーごこくどうひゃくさんじゅうはちごうほかしーていーぶいせっちこうじ		
工事名	R 5 国道 1 3 8 号外 C C T V 設置工事		
工 期	(自) 令和6年5月7日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	甲府河川国道事務所		
工事概要	本工事は、一般国道 1 3 8 号及び 1 3 9 号における路面凍結等の監視を行うため C C T V 設備を新設・更新する工事である		
表彰理由 【工事】	本工事は、道路の路面凍結等の監視を行うためのCCTVカメラ設置であるが、各設置箇所の撮影範囲について綿密な調査を実施し、路面状況を確認するにあたって最適な設置箇所の提案を行った。 また、施工箇所が広範囲に点在したが、事前の現地調査、各箇所の課題把握を行った上で、効率的な施工を行い工期内に無事故で工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	当該技術者は、専門的な知識及び技術力をもって、適切な施工管理により安全かつ円滑に工事を完成させた。 また、広範囲に点在する施工箇所において、各箇所の施工上の課題に対し、的確な技術的な判断により対処し、工事全般のマネジメントがなされ、無事故で工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな	かぶしががいしゃ　まるでん		
会社名	株式会社　丸電		
ふりがな	まつもと　ひろき	職種	主任技術者
技術者名	松本　紘樹		
ふりがな	あーるごおいそじゅへんでんせつびこうじ		
工事名	R 5 大磯受変電設備工事		
工　期	(自)　令和6年1月24日		

完成又は施工状況写真



施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	だいしょうけんせつ かぶしがいいしゃ とうきょうしてん 大勝建設 株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	かくほう じゅんいち 角方 純一	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごくどうさんびやくごじゅうななごうまいはまおおしさがんこうかきょう（うみがわ）たいしんほきょうそのにこうじ R 5 国道 3 5 7 号舞浜大橋左岸高架橋（海側）耐震補強その 2 工事		
工 期	（自） 令和5年10月18日 （至） 令和7年3月30日		
事務所名	千葉国道事務所		
工事概要	本工事は、重交通路線である国道 3 5 7 号舞浜大橋左岸高架橋（海側）において、落橋防止装置の設置や支 承交換、桁連結工など橋梁の耐震補強を行う工事である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、施工にあたり、工程、品質、出来形、安全において適切な管理がなされており、工程の遅延もな く無事故で品質の高い工事を完成させている。 特に、供用中の橋梁における耐震補強工事であるため、既設構造物に対しても安全管理、施工管理の配慮を 要する。配筋が密集している箇所でのコンクリートコア削孔などにおいては、既設構造物の鉄筋を切断しない よう、現地確認や完成図の確認だけでなく、現場で作業員に構造鉄筋を作業箇所毎に掲示するなど工夫した。 また、電導度法による付着塩分量の測定や、次世代足場の活用など品質や安全性を確保させるとともに、生 産性向上チャレンジへの取り組みを行った。		
表彰理由 【技術者】	本工事の監理技術者として、工事全体を把握するとともに、施工時における課題が多い中、監督職員との協 議等を適時行い、技術者としての確かな判断をすることにより高品質な施工となった。 また、月 2 回の歩道清掃や、積雪時における歩道の除雪作業など、地域貢献に取り組んだ。 さらに、若手技術者への指導や、学生インターンシップの受け入れなど、後進の育成への貢献は評価できる ものであった。		

完成又は施工状況写真



支承取替工 施工中



桁連結工 完成



落橋防止装置 完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	きのしたけんこう かぶしがいいしゃ 木下建工 株式会社		
ふりがな 技術者名	いで かずなり 井出 一成	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごながのしゅっちょうじょかんないぎょうりょうほしゅういじこうじ R 5 長野出張所管内橋梁補修維持工事		
工 期	(自) 令和 6 年 8 月 1 9 日 (至) 令和 7 年 3 月 3 1 日		
事務所名	長野国道事務所		
工事概要	本工事は、国道 1 8 号長野出張所管内の横断歩道橋の維持作業、補修等を行うものであり、また橋梁の不具合が発生した場合の迅速な応急処理を実施する工事である。		
表彰理由 【工事】	約半年間の短い工期であったが、通学路指定されている 2 箇所の横断歩道橋を通行止めにして補修するにあたり、関係機関との迂回路の調整を円滑に行ったほか、地元からの苦情に対して適切に対応し、遅れを発生させることなく工事着手し、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 加えて、出来ばえにおいても良好な施工がなされた。		
表彰理由 【技術者】	当技術者は、降雪時の仮設防護上部からの落雪対策等の安全対策、超遮塩性塩害対策塗装工法による修繕サイクル等を勘案した提案、同工法による低温環境下（-5℃）での施工による工期短縮に関する提案、歩道橋の雨水滞留部分の構造修正による施工後のメンテナンス改善に対する提案を行うなど、意欲的に創意工夫に取り組んだ。		

完成又は施工状況写真



巡回式ブラスト施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな	とうあ・あおみ・おおもと とくていけんせつ こうじきょうどうきぎょうたい		
会社名	東亜・あおみ・大本 特定建設工事共同企業体		
ふりがな	しとう おうが	職種	現場代理人
技術者名	紫藤 旺伽		
ふりがな	れいわごねんど よこはまこうしんほんもくちくがんべき（－じゅうはちめ－とる）（たいしん）ちくぞうこうじ（そのに）		
工事名	令和5年度 横浜港新本牧地区岸壁（－18m）（耐震）築造工事（その2）		
工 期	（自） 令和5年10月16日 （至） 令和7年1月15日		
事務所名	京浜港湾事務所		
工事概要	本工事は、横浜港新本牧地区岸壁（-18m）（耐震）の海上地盤改良工、基礎工、本体工（セル式）、付属工、仮設工、共通工及び調査工を施工したものである。		
表彰理由 【工事】	工事作業区域内で多くの工事が輻輳する施工状況下で、鋼板セルの製作場所から、直径24.5m、高さ26m、重量約400tの鋼板セルを起重機船により安全に吊り、えい航するとともに、鋼板セルの安全かつ確実な据付のため、鋼板セル据付位置管理システムを使用して据付誘導を行い、セルの位置と離隔を確保して、セルの位置ずれ、回転、傾斜を抑制し精度良く水深23mの基礎マウンド上に据付を行った。 さらに、各工事と連携した配置やアンカー係留調整について、BIM/CIMを活用した三次元モデルによる作業船のアンカー配置を可視化し、工事進捗を図りつつ、難易度が高い鋼板セル据付工事において、事故やトラブル無く工事を完遂した。		
表彰理由 【技術者】	工事作業区域内で多くの工事が輻輳する施工状況下で、本工事は工事作業区域内への出入口と隣接する工事区域であるため、工事船舶の出入を確保した作業船の配置が必要になるなどの多くの工事が輻輳する施工状況下において、現場代理人として、極めて高い調整能力を発揮し、各工事との綿密な協議・調整を行い、難易度が高い鋼板セル据付工事において、事故やトラブル無く工事を完遂した。		

完成又は施工状況写真



セル据付施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	みついすみとも・みらい・にっぽんピーエス とくていけんせつこうじきょうどうきぎょうたい 三井住友・みらい・日本ピーエス 特定建設工事共同企業体		
ふりがな 技術者名	しばた ひろし 柴田 宙	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	かわさきこうりんこうどうろひがしおうぎしまみずえちようせんしゅきようりょうぶじょうぶこうじ（そのさん） 川崎港臨港道路東扇島水江町線主橋梁部上部工事（その3）		
工 期	（自） 令和1年10月28日 （至） 令和6年9月19日		
事務所名	京浜港湾事務所		
工事概要	本工事は、川崎港臨港道路東扇島水江町線における主橋梁部（5径間連続複合斜張橋）のうち東扇島側（2径間）の橋脚工、P C箱桁工（ピロン柱併用張出し施工）、仮設工、調査工を施工したものである。		
表彰理由 【工事】	施工箇所の東扇島工区は、橋梁下部及び上部工事が近接して実施されている中、安全確保に努めながら、仮斜材により主桁を保持し施工中の応力を調整しながら施工する難易度の高い特殊な工法により、地上30～80mの高所に位置する大規模構造物の構築を行った。主桁及びピロン柱の構築は、適切な設計照査とBIM/CIMを活用した3次元モデルを使用し、施工計画の検討や施工方法の見える化を図ることによって、幅員19m、桁高3.855m、4主桁3室構造の大型でかつ過密状態の鉄筋・P Cの組立を実現させた。また、大規模構造物であることから、コンクリートの打設割に応じた温度応力解析を行い、コンクリート配合と配筋等の工夫により品質トラブルなく構築し、工事を完遂した。		
表彰理由 【技術者】	地上30～80mの高所に位置する大規模構造物の構築において、複数工事が近接する施工条件であったが、各隣接工事との進入車両の調整や共同利用している仮設栈台の利用調整を行い、施工ヤードの安全確保に努めながら、各工事との綿密な協議・調整を図り施工を進めた。 また、仮斜材を併用した張出施工においては、過去の斜張橋工事の経験を活かし、今回工事における設計・現場条件に応じた施工計画を策定し、優れた指導力をもって品質・安全のトラブル無く、また工程の遅延なく施工を完了させた。		

完成又は施工状況写真



ピロン柱併用張り出し施工状況



完成

令和 6 年度 優良業務及び優秀技術者
局長表彰の概要及び表彰理由

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号ー1

ふりがな	ばすきんこうぎょう かぶしきがいしゃ		
会社名	パスキン工業 株式会社		
ふりがな	いしわた おさむ	職種	主任技術者
技術者名	石渡 伸		
ふりがな	あーろくくりはし・こがりゅうりょうかんそくぎょうむ		
業務名	R 6 栗橋・古河流量観測業務		
履行期限	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	利根川上流河川事務所		
業務概要	本業務は、栗橋観測所、古河観測所等において平常時の流量観測、河川測量等を行うことで、河川管理上、重要な基礎資料を得ることを目的とする業務である。		
表彰理由	栗橋観測所、古河観測所、下宮橋観測所において、流量観測、河川測量等を確実に行之、無事故で業務を完了させた。 また、履行中の出水により被災した渡良瀬川左岸の河川管理用道路の復旧に要する水準測量、路線測量が必要となったため、本業務に増工し対応することとなったが、監督職員との密な連絡調整や地元自治体との調整が行われ、適切な調査計画を立て、円滑に業務が遂行され、優良な業務履行がなされた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号ー2

ふりがな	だいえいそくりょうせつけい かぶしきがいしゃ		
会社名	大栄測量設計 株式会社		
ふりがな	たかはし よしたか	職種	主任技術者
技術者名	高橋 義孝		
ふりがな	あーごよこはまこくどうかいちくじぎょうそくりょうそのにぎょうむ		
業務名	R 5 横浜国道改築事業測量（その2）業務		
履行期限	（自） 令和5年9月29日（至） 令和7年3月31日		
事務所名	横浜国道事務所		
業務概要	本業務は、国道468号さがみ縦貫道路建設に伴う機能補償道路等について、各自治体へ移管手続きを行うため、測量作業を実施し、移管図書の作成を行うものである。		
表彰理由	本業務の履行にあたり、業務の目的を十分に理解し、現場状況や移管先との協議内容を反映し、限られた時間の中で、迅速に対応し、遅滞なく業務を遂行させた。 特に、相模原市の移管図書の作成のための現地測量においては、現地状況等の変化により、基準点成果の整合が図られていない箇所や、用地境界杭の位置の相違がある箇所があったが、基準点、境界杭の再設置等を行うことにより、責任感をもって、的確な図書を作成し、移管手続きの完了に貢献した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－3

ふりがな	かぶしがいいしゃ いとうそくりょうせつけい		
会社名	株式会社 伊藤測量設計		
ふりがな	いとう すすむ	職種	主任技術者
技術者名	伊藤 奨		
ふりがな	あーろくながのこくどうかんないこうつうあんぜんしせつちようさほかそくりょう（そのいち）ぎょうむ		
業務名	R 6 長野国道管内交通安全施設調査他測量（その１）業務		
履行期限	（自） 令和6年6月4日（至） 令和6年12月20日		
事務所名	長野国道事務所		
業務概要	本業務は長野国道事務所管内における交通安全対策事業及び道路施設に関する測量及び調査を行う業務である。		
表彰理由	道路施設調査として、国道隣接の沿道民地内の工作物調査、地下埋設物調査及び公共ます等の調査作業を実施するとともに、４級基準点測量、地形測量、地形レーザ測量、路線測量、用地測量をそれぞれ迅速かつ効率的に実施し、並行して進める設計業務等へ測量成果を速やかに引き継ぐなど、優れた成果を上げ、貢献した。 現地作業にあたっては、関係地権者及び地域住民へ確実な事前周知及び説明を行い、トラブルなく作業を進めるとともに、発注者との綿密な連絡調整及び情報共有を図るなど、優れた成果を上げ、貢献した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－4

ふりがな	にちわえんじにありんぐ かぶしがいいしゃ		
会社名	日和エンジニアリング 株式会社		
ふりがな	さいとう けんたろう	職種	管理技術者
技術者名	齋藤 健太郎		
ふりがな	しぶやちほうごうどうちようしゃ（にじゅうさん）けんちくせつびかいしゅうせつけいぎょうむ		
業務名	渋谷地方合同庁舎（２３）建築設備改修設計業務		
履行期限	（自） 令和6年1月31日 （至） 令和6年11月26日		
事務所名	営繕部		
業務概要	本業務は、渋谷地方合同庁舎の以下設備の改修に係る設計業務である。 <業務対象施設改修概要> 空気調和設備及び受変電設備の更新並びにそれに伴う機械設備改修、電気設備改修、建築改修工事		
表彰理由	本業務は、渋谷地方合同庁舎の機械設備（空気調和設備）及び電気設備（受変電設備）に係る改修設計を行うもので、施設を使用しながら工事を行うなど、施工条件を踏まえた設計とする必要があった。 本庁舎の空気調和設備改修及び受変電設備改修を行うため、設計段階において十分な業務の把握、業務を踏まえた改修ステップの調整が必要となり高い技術力を必要とするものであった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－5

ふりがな	かぶしがいいしゃ ていーあんどえむけんちくじむしょ		
会社名	株式会社 T & M建築事務所		
ふりがな	たかはし ひでき	職種	管理技術者
技術者名	高橋 英樹		
ふりがな	えいぜんけんちく（にじゅうよん）せきさんぎょうむ		
業務名	営繕建築（24）積算業務		
履行期限	（自） 令和6年4月19日 （至） 令和7年3月28日		
事務所名	営繕部		
業務概要	本業務は、新規設計、変更設計及び修正設計に対する建築積算業務を行うものである。 <業務概要> ・新規積算 2件 ・変更積算 9件 ・修正積算 18件		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、複数案件を同時に対応し、各案件の工程に遅延することなく作業を行うとともに、積算業務に対する知見・知識を十分に生かし、図面に記載された意図を的確に読み解き、完成度の高い成果品をとりまとめた。 さらに、関係者との対応が迅速に出来る体制を構築し、打合せ等において積極的な発言をすることにより、各案件を良好な成果でとりまとめ、業務の完了に貢献した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－6

ふりがな	かぶしがいいしゃ にっけんぎじゅつこんさるたんと とうきょうほんしゃ		
会社名	株式会社 日建技術コンサルタント 東京本社		
ふりがな	おおえ たくみ	職種	管理技術者
技術者名	大江 拓己		
ふりがな	あーろくぎじゅつひょうかてんさんていぎょうむ		
業務名	R 6 技術評価点算定業務		
履行期限	(自) 令和6年6月12日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	企画部 技術調査課		
業務概要	本業務は、国土交通省一般競争参加資格の審査に必要な技術評価点を算定するため、国土交通省（各地方整備局及び北海道開発局）及び地方公共団体（都道府県及び政令市）が発注した工事の成績等に関するデータの取りまとめ及び照査を行い、技術評価点の算定を行うものである。		
表彰理由	本業務の目的、成果の重要性などを十分に理解し、膨大な収集データの誤入力や工事案件の脱漏を防止するため、収集様式の改良を行い綿密なエラーチェック機能を持たせる等の工夫を施した上で、種々のチェックを行い、算出する技術評価点の精度確保に努めた。 また、一連のデータ収集、照査、技術評価点の算出作業は、極めて短い期間で行わなければならないものであるが、遅延なく、確実に算出作業を完了させた。 その結果、関東地方整備局は、スケジュールどおりに申請者に対して一般競争参加資格の通知を行っており、本業務の貢献度は極めて高く、優良な業務であった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－7

ふりがな	かぶしきがいしゃ けんせつぎじゅつけんきゅうじょ とうきょうほんしゃ		
会社名	株式会社 建設技術研究所 東京本社		
ふりがな	このしま たけひこ	職種	管理技術者
技術者名	此島 健男子		
ふりがな	あーるごかんとうちほうせいびきょくかんないなすいけいこうずいよそくせいどうじょうけんとうぎょうむ		
業務名	R 5 関東地方整備局管内 7 水系洪水予測精度向上検討業務		
履行期限	(自) 令和6年3月27日 (至) 令和7年2月28日		
事務所名	河川部 水災害予報センター		
業務概要	本業務は、関東地方整備局管内の洪水予測システム構築の一環として、利根川水系の河川水位予測プログラム（中川・綾瀬川を除く）の精度向上、統一河川等の表示システムへの対象河川の登録のための各種データセットの作成を行うものである。		
表彰理由	<p>本業務は、関東地方整備局の洪水予測システムの一環として、利根川水系の河川水位予測プログラム（中川・綾瀬川を除く）におけるRRIモデルの水位予測プログラムを改良し、予測精度向上について検討を行ったものである。</p> <p>河道モデルの対象区間は64河川・約1,300kmであり、加えて県管理区間との水位予測データ同化も実施した。</p> <p>粒子フィルタやカスケード同化などの高度技術により予測精度向上に対し成果を得ることが出来た。特筆すべき点として、RRIモデルの課題に対する技術提案や、有識者向けの分かりやすい資料作成と的確な対応が優れた成果につながったことが表彰理由としてあげられる。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－8

ふりがな	あーるろくどうろをかつようしたまちづくりかつどうしえんけんとうぎょうむ にほんみちけんきゅうじょ・けんせつぎじゅつけんきゅうじょせつけいきょうどうたい		
会社名	R 6 道路を活用したまちづくり活動支援検討業務日本みち研究所・建設技術研究所設計共同体		
ふりがな	あおやま まんきち	職種	管理技術者
技術者名	青山 万吉		
ふりがな	あーるろくどうろをかつようしたまちづくりかつどうしえんけんとうぎょうむ		
業務名	R 6 道路を活用したまちづくり活動支援検討業務		
履行期限	(自) 令和6年4月9日 (至) 令和7年2月28日		
事務所名	道路部		
業務概要	本業務は、道路において地域資源を活かしたまちづくり活動への支援策を整理し、地域活性化及び実施主体の活動活性化の推進に資することを目的とし、日本風景街道の活動内容の効果的な情報共有方策の検討として、活動支援方策の検討などを行った業務である。		
表彰理由	<p>本業務は、関東ブロックでは21ルートある日本風景街道の活動内容や現状、課題を、十分に理解した上で、方策の検討を行う必要があった。</p> <p>業務の履行にあたっては、風景街道の活動状況を的確に把握し、それぞれの個別ルートでの課題をヒアリングなどを実施し効率的に整理してとりまとめを行った。それをもとに、今後の全体的な活動活性化に向けて、特に共有すべき活動・取り組みの方策を検討した。</p> <p>また、活動団体との意見交換会や交流会の開催にあたって、検討した方策を適切に反映した資料を作成し、会の運営補助を実施、今後の風景街道の活動支援に大いに役立つ成果となるなど、業務全般として高く評価できるものであった。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－9

ふりがな	せんとらるこんさるたんと かぶしきがいしゃ いばらきえいぎょうしょ		
会社名	セントラルコンサルタント 株式会社 茨城営業所		
ふりがな	あかせ てつや	職種	管理技術者
技術者名	赤瀬 哲也		
ふりがな	あーごこくどうろくごうひたちばいばすあゆかわばしきょうりょうしょうさいせつけいぎょうむ		
業務名	R 5 国道 6 号日立バイパス鮎川橋橋梁詳細設計業務		
履行期限	(自) 令和5年4月21日 (至) 令和6年8月31日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
業務概要	本業務は、国道 6 号日立バイパスⅡ期事業における鮎川橋の橋梁詳細設計等を行ったものである。		
表彰理由	本業務は、国道 6 号日立バイパスⅡ期事業区間内の鮎川橋の橋梁詳細設計などを行うものであったが、海岸部かつ鮎川河口部に位置する橋梁のため、考慮すべき条件が多々ある中、現地条件を的確に把握した上で課題を整理し、それらの課題に対して確実に解決を図り、優れた設計を行った。 管理技術者は、施工計画立案にあたりBIM/CIMを活用し、河川の流れを阻害せず効率的に施工できる手順を検討するなど、技術力と調整力を発揮して業務を遂行した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－10

ふりがな	にほんこうえい かぶしきがいはしや とうぎょうしてん		
会社名	日本工営 株式会社 東京支店		
ふりがな	まつした ともや	職種	管理技術者
技術者名	松下 朋哉		
ふりがな	あーごなかがわがりゅうぶていぼうしょうさいせつけいぎょうむ		
業務名	R 5 那珂川下流部堤防詳細設計業務		
履行期限	(自) 令和6年5月22日 (至) 令和7年3月24日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
業務概要	本業務是那珂川下流部における堤防嵩上げ詳細設計及び高水護岸詳細設計を行うものである。		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、急遽必要となった堤防概略設計、浸水対策施設設計、地盤改良設計、築堤修正設計、CCTV移設設計等、緊急性を求められた多岐にわたる業務を的確かつ効率よく実施した。 各設計業務箇所の現地状況を詳細に把握し、業務履行に際し各設計に対して適切な社内体制が構築され、課題・問題点等を適切に抽出するとともに、課題解決のために複数案提案を行うなどし、適切な時期に積極的に打合せ等を実施した。多岐にわたる業務でありながら高度な技術力と関係機関等の調整が効率的に行われ、迅速かつ質の高い設計成果であった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－11

ふりがな	みついきょうどうけんせつこんさるたんと かぶしきがいしゃ いばらきえいぎょうしょ		
会社名	三井共同建設コンサルタント 株式会社 茨城営業所		
ふりがな	いおろい かずふみ	職種	管理技術者
技術者名	五百藏 一史		
ふりがな	あーるよんしもだてかんないたいしんせいのうしょうさぎょうむ		
業務名	R 4 下館管内耐震性能照査業務		
履行期限	(自) 令和5年5月9日 (至) 令和6年11月29日		
事務所名	下館河川事務所		
業務概要	本業務は、田川可動堰及び君島堰について、耐震性能照査及び耐震診断を実施するものである。		
表彰理由	<p>耐震性能照査及び耐震診断を行う田川可動堰及び君島堰は、門柱が中空構造になっており、通常の堰の門柱構造とは異なる特殊な構造となっていた。</p> <p>そのため、既存の構造物耐震性能照査マニュアルでは解析するには困難であることが判明した。</p> <p>そこで、門柱が中空構造になっている堰の耐震性能照査の考え方や解析方法について国土技術政策総合研究所及び土木研究所と協議を行い、助言を頂きながら、新たな解析モデルの構築を行った。</p> <p>新たな解析モデル構築に際しては社内体制の拡充を速やかに行い、課題を整理した上でモデル改良の提案など高度な技術力を発揮し、優れた履行がなされた。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－12

ふりがな	かぶしきがいしゃ けんせつぎじゅつけんぎゅうしょ とうきょうほんしゃ		
会社名	株式会社 建設技術研究所 東京本社		
ふりがな	かなやま たくひろ	職種	管理技術者
技術者名	金山 拓広		
ふりがな	あーるごかすみがうらみずかんきょうかいぜんしゅほうけんとうぎょうむ		
業務名	R 5 霞ヶ浦水環境改善手法検討業務		
履行期限	(自) 令和5年4月28日 (至) 令和7年1月31日		
事務所名	霞ヶ浦河川事務所		
業務概要	本業務は、近年の霞ヶ浦における水質汚濁状況を踏まえた水質予測シミュレーションモデルの検討及び浄化効果の算定、霞ヶ浦環境整備事業評価に向けた費用対効果調査検討及び資料のとりまとめを行うものである。		
表彰理由	<p>水質予測シミュレーションモデルの改良については、高度な技術を駆使し、霞ヶ浦の現状分析を踏まえ、霞ヶ浦の流動特性や水質汚濁特性を適切に評価できる3次元シミュレーションモデルの改良及び精度向上を行い、今後の水質改善手法に関する浄化効果などの予測計算に行った。</p> <p>費用対効果調査検討に関しては、霞ヶ浦田村・沖宿・戸崎地区自然再生事業について、CVM調査及びTCM調査を実施し、両調査の結果を比較した上で適切に事業の効果を整理し、事業評価資料案の作成、霞ヶ浦河川整備計画フォローアップ委員会の資料作成、適切に運営補助も行った。</p> <p>管理技術者は、専門的な知識や高度な技術力を用いて、水質予測シミュレーションの改良や予測、事業評価に関する成果を、理解しやすく適切にとりまとめたことは特に評価できるものであった。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－13

ふりがな	ふっけんちょうさせっけい かぶしきがいしゃ とうぎょうししゃ		
会社名	復建調査設計 株式会社 東京支社		
ふりがな	どい ゆうすけ	職種	管理技術者
技術者名	土井 勇介		
ふりがな	あーごとうかんだうみとせんだうろしゅうせいせっけいほかごしーはちぎょうむ		
業務名	R 5 東関東水戸線道路修正設計他 5 C 8 業務		
履行期限	(自) 令和6年3月20日 (至) 令和7年3月14日		
事務所名	常総国道事務所		
業務概要	本業務は、東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）のうち、茨城県潮来市延方～行方市石神区間における、道路詳細修正設計、排水設計、一般構造物設計、境界座標算出、麻生IC（仮称）道路修正設計、工事用道路設計、軟弱地盤対策修正設計を行うものである。		
表彰理由	<p>本業務の履行にあたっては、業務の目的及び内容を十分理解し、調査職員と綿密な連携を図り調査職員からの検討依頼に対して、実施体制を確保し迅速かつ適切に業務が進められた。</p> <p>特に、工事の施工に伴い発生した新たな事象について、複数の対応を同時に短期間で行う必要が生じたが、迅速かつ適切に対応を行ったものである。また、軟弱地盤対策修正設計においては、新たに判明した被圧地下水の影響に対し高い技術力をもって条件を整理し修正設計案を提示した事により、当該箇所の工事が円滑に実施されたものである。</p> <p>以上により、積極的かつ効果的な提案を行うとともに業務の目的と内容を十分理解把握のうえ、調査職員の指示等に対して迅速に対応するなど、高度な技術力を活用し、円滑で正確な業務遂行がなされたことから、本業務を表彰するものである。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－14

ふりがな	かぶしきがいしゃ けんせつかんきょうけんぎゅうじょ		
会社名	株式会社 建設環境研究所		
ふりがな	きのした ながのり	職種	管理技術者
技術者名	木下 長則		
ふりがな	あーるごとうかんだうみとせんかんきょうちょうさごしーななぎょうむ		
業務名	R 5 東関東水戸線環境調査 5 C 7 業務		
履行期限	(自) 令和6年3月16日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	常総国道事務所		
業務概要	本業務は、東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）周辺地域における環境保全対策のため、現地調査（猛禽類調査、水分調査等）や動植物等に関する環境保全措置対策の検討、環境検討委員会等の資料作成を行うものである。		
表彰理由	<p>本業務の履行にあたっては、業務の目的及び内容を十分に理解し、調査職員と綿密な連携を図りつつ、業務の実施体制を確保し、迅速に業務が進められた。</p> <p>特に環境保全対策の検討にあたっては、有識者の意見や過年度の調査結果を踏まえ、わかりやすい検討委員会資料の作成を行い、スムーズな委員会運営に寄与した。</p> <p>また、東関東水戸線の生物生息実態に即した「手引き（案）」の更新にあたっては、既往調査で得られた知見を踏まえた積極的な提案を行い、高い技術力と知見に基づき業務遂行がなされた。</p> <p>以上の理由により、積極的に業務に取り組み、他の模範となる業務遂行であったため、本業務を表彰するものである。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－15

ふりがな	あじあこうそく かぶしがいいしゃ うつのみやえいぎょうしょ		
会社名	アジア航測 株式会社 宇都宮営業所		
ふりがな	ふじがさき さとし	職種	管理（主任）技術者
技術者名	藤ヶ崎 聡		
ふりがな	あーるろうつのみやこくどうかんないどうろふぞくぶつおよびぼうさいてんけんぎょうむ		
業務名	R 6 宇都宮国道管内道路附属物及び防災点検業務		
履行期限	(自) 令和 6 年 5 月 1 7 日 (至) 令和 7 年 3 月 2 8 日		
事務所名	宇都宮国道事務所		
業務概要	本業務は、道路利用者及び第三者被害を防止する観点から、各点検要領に基づき道路附属物（標識、照明灯、情報板）点検、防災カルテ対象箇所の点検及び舗装点検を行うものである。		
表彰理由	<p>本業務の履行にあたっては、業務の目的及び内容を十分理解した上で、道路附属物など多岐にわたる道路施設の点検等業務を効率よく実施するとともに、調査職員の指示等に対しても積極的、かつ迅速に対応するなど、円滑で的確に業務を遂行した。</p> <p>特に、溝橋及びカルパートの調査による現地確認においては、国道路面下の溝橋が損傷している事象を発見した際、直ちに状況を報告すると共に、緊急復旧へ向けた比較検討案を同時進行で立案するなど、迅速かつ的確な対応により、早期に応急措置を完了できたため道路災害の防止に寄与した。また、溝橋の恒久対策検討においても高度な技術力を発揮し、優良な成果をとりまとめた。</p> <p>このように、業務への取り組み姿勢と技術力は特に評価できるものであった。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－16

ふりがな	だいにほんだいやこんさるたんとかぶしがいいしゃ かんとうししゃ		
会社名	大日本ダイヤコンサルタント 株式会社 関東支社		
ふりがな	はらだ ゆたか	職種	管理（主任）技術者
技術者名	原田 豊		
ふりがな	あーるごうつのみやこくどうかんないきょうりょうほしゅうせつけいほかぎょうむ		
業務名	R 5 宇都宮国道管内橋梁補修設計他業務		
履行期限	(自) 令和 5 年 7 月 2 8 日 (至) 令和 6 年 8 月 3 0 日		
事務所名	宇都宮国道事務所		
業務概要	宇都宮国道事務所管内で実施した点検結果等を参考に対策区分C1、C2を中心に確認調査、詳細調査を実施し橋梁・歩道橋の補修設計を行うものである。		
表彰理由	<p>本業務の履行にあたっては、業務の目的及び内容を十分理解し、確認調査と詳細調査による損傷状況を的確に把握し補修設計に反映するとともに、補修案と架け替え案の維持管理性による比較検討にあたってL C Cを考慮した案も提示された。</p> <p>また、B I M / C I Mモデルを活用し施工ステップ等の資料を作成するなど、協議の円滑化を図りながら的確に業務を遂行した。</p> <p>特に、突発的な地震時においては、直ちに現地へ向かい対象橋梁の緊急点検を行い、構造物の安全性を確認、評価するなど、調査職員の指示等に対しても迅速かつ的確に対応するとともに高度な技術力を発揮し、優良な成果をとりまとめた。</p> <p>このように、業務への取り組み姿勢と技術力は特に評価できるものであった。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－17

ふりがな	あじあこうそく かぶしがいいしゃ うつのみやえいぎょうしょ		
会社名	アジア航測 株式会社 宇都宮営業所		
ふりがな	おかの かずゆき	職種	管理技術者
技術者名	岡野 和行		
ふりがな	あーるごにつこうさぼうりゅうさ・すいもんかんそくしゅほうけんとうぎょうむ		
業務名	R 5 日光砂防流砂・水文観測手法検討業務		
履行期限	(自) 令和 5 年 1 1 月 3 0 日 (至) 令和 7 年 1 月 3 1 日		
事務所名	日光砂防事務所		
業務概要	本業務は、砂防計画や危機管理のための流域監視・警戒避難等への流砂・水文観測データの活用実装を目指し、流砂・水文観測における課題抽出、対策検討及び流域特性を捉えた活用検討を行うものである。		
表彰理由	本業務では、流域特性を踏まえた効率的な観測を目的に、流域内調査及び L P 差分解析により流域特性を整理した上で、ハイドロフォン、濁度計、L V P センサー等を含む流砂・水文観測施設の配置計画を検討した。さらに、観測施設の新設候補箇所においては、インターバルカメラや投げ込み式水位計などの安価な機器を設置し、出水期間中を通じた試験観測を行うことで配置計画の妥当性を確認した。また、既存施設を活用した土砂移動検知手法として、C C T V カメラの映像を用いた深層学習及び R G B による検知手法、並びに既設観測所における観測データ（掃流砂量と水位のヒステリシス）による検知手法を検証するなど、業務全般において高い技術力をもって積極的に業務に取り組み、他社の模範となる優れた成果を収めた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－18

ふりがな	いであ かぶしがいいしゃ		
会社名	いであ 株式会社		
ふりがな	まえだ けんぞう	職種	管理技術者
技術者名	前田 研造		
ふりがな	あーるごわたらせがわかんきょうけんとうぎょうむ		
業務名	R 5 渡良瀬川環境検討業務		
履行期限	(自) 令和6年4月11日 (至) 令和7年2月28日		
事務所名	渡良瀬川河川事務所		
業務概要	本業務は、渡良瀬川河川事務所管内における樹林化抑制対策検討、植生調査、環境整備事業評価資料の検討・作成を実施することで、河川環境整備・保全に資するものである。		
表彰理由	<p>栃木県足利市における「かわまちづくり（水辺整備）」の事業効果把握のため、C V M調査（W E Bアンケート）を行い、B／C算出後、事業再評価の資料作成を実施したが、当初、事業の審議を行う利根川水系渡良瀬川河川整備計画フォローアップ委員会を10月までに開催することが目標であった。</p> <p>そこで、W E Bアンケートにおいて、有効回答数を確実に回収するために、矛盾した回答をする とエラーメッセージが表示されるようにするなど、無効回答の低減を図った。また、整備箇所の工事費算定に当たり、足利市職員を含めた合同現地踏査を実施し、意見交換を行った。</p> <p>以上のような工夫を行うことで、手戻りなく業務を進め、10月までに委員会を開催することができ、かつ、わかりやすい説明資料を作成するなど、本業務において優れた成果を納めた。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－19

ふりがな	だいにちこんさるたんと かぶしがいいしゃ ひがしにほんししゃ		
会社名	大日コンサルタント 株式会社 東日本支社		
ふりがな	いいやま てつゆき	職種	管理技術者
技術者名	飯山 哲行		
ふりがな	あーるごこどうごじゅうごうまえばしかさかけどうろしょうさいしゅうせいせつけいぎょうむ		
業務名	R 5 国道 5 0 号前橋笠懸道路詳細修正設計業務		
履行期限	(自) 令和5年10月3日 (至) 令和6年10月31日		
事務所名	高崎河川国道事務所		
業務概要	本業務は、一般国道 5 0 号前橋笠懸道路事業区間における道路詳細修正設計、道路設計関係その他設計、一般構造物設計および仮設構造物設計を行うものである。		
表彰理由	本業務では、前橋笠懸道路における関係機関協議等による結果を反映した修正設計を行うこととなっているが、協議修正箇所及び内容が多岐にわたる中で、現地確認し、課題点や制約条件等を整理した上で修正設計を行った。また、当初予定した以外に顕在化した設計必要箇所においても設計を進めるなど配慮があった。 さらに工事が行われている中で発生した現場条件の変更による設計の見直しに対しても早期に修正設計を行い、設計成果を工事に引き渡すなど事業が遅延することのないよう進捗に寄与した。 これらについて、現地状況を踏まえた課題を整理し、成果をまとめたことは高く評価できる。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－20

ふりがな	かぶしきがいしゃ けんせつぎじゅつけんきゅうじょ とうきょうほんしゃ		
会社名	株式会社 建設技術研究所 東京本社		
ふりがな	やまだ さえか	職種	管理技術者
技術者名	山田 早恵香		
ふりがな	あーるろくからすがわ・かながわりゅういきげんさいたいさくほかけんとうぎょうむ		
業務名	R 6 烏川・神流川流域減災対策他検討業務		
履行期限	(自) 令和6年4月19日 (至) 令和7年3月27日		
事務所名	高崎河川国道事務所		
業務概要	本業務は、烏川・神流川流域の関係機関における防災・減災対策について、関係地方公共団体等と連携・共同により、防災減災対策の連携推進を発展させる検討を行うものである。併せて、烏川、神流川、鑄川、碓氷川の直轄管理区間において、重要水防箇所、危険水位及び危険箇所の検討及び河道内の砂利採取可能の検討も行うものである。		
表彰理由	烏川・神流川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会で関係機関が実施する取組について、関係機関が速やかに実施が出来るよう、年度当初から前年度までの取組進捗や今後の実施予定等のフォローアップを行った。また、要配慮者利用施設の避難訓練について、訓練の進捗を図るための資料を作成し周知するなど、創意工夫がみられた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－21

ふりがな	こくさいこうぎょう かぶしきがいしゃ ぐんまえいぎょうしょ		
会社名	国際航業 株式会社 群馬営業所		
ふりがな	みながわ じゅん	職種	管理技術者
技術者名	皆川 淳		
ふりがな	あーごとなねさぼうこうはいりょうはあくしゅほうけんとうぎょうむ		
業務名	R 5 利根砂防降灰量把握手法検討業務		
履行期限	(自) 令和6年3月19日 (至) 令和7年3月25日		
事務所名	利根川水系砂防事務所		
業務概要	本業務は、利根川水系砂防事務所管内（浅間山・草津白根山）で噴火が発生した際、立入規制区域となる火口近傍での降灰量を、安全かつ効率的に把握するため、既存の監視機器やUAV、無人観測機器の活用手法を検討するものである。		
表彰理由	<p>国土交通省は、火山噴火で降灰厚が1cmを超えると土石流リスクが高まるため、土砂災害防止法に基づき、住民避難支援のための降灰調査を実施する責務がある。しかし、従来の立入禁止区域の調査は、ヘリや予報、カメラ映像や区域外での有人調査により降灰範囲を推定するため、情報取得に時間と人員を要する等の課題があった。</p> <p>本業務において受注者はUAVに降灰厚計測デバイスを搭載し、浅間山で実証実験を実施。区域内に計測機を運搬・計測・回収することで、LiDARカメラによりmm単位の降灰厚を約2時間で把握することを実現させ、さらに、垂直離発着（VTOL型）UAVと高画質カメラでの降灰マーカー視認試験により、安全な地点からの降灰厚の把握も実現させ、省人化かつ安全迅速な降灰状況の把握が可能となり、迅速な住民避難支援を達成した。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－22

ふりがな	かぶしきがいしゃ おりえんたるこんさるたんつ さいたまじむしょ		
会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ 埼玉事務所		
ふりがな	おかわだ さきこ	職種	管理技術者
技術者名	岡和田 早紀子		
ふりがな	あーごとななかちょうせつちふせしたちくほかしゅういていしょうさいせつけいぎょうむ		
業務名	R 5 田中調節池布施下地区他周囲堤詳細設計業務		
履行期限	(自) 令和5年9月13日 (至) 令和6年12月27日		
事務所名	利根川上流河川事務所		
業務概要	本業務は、利根川上流河川事務所管内にある田中調節池の、周囲堤詳細設計及び樋門予備設計を行うものである。		
表彰理由	<p>本業務では、築堤や樋門予定箇所が現状民有地等となっているため、農地所有者、土地改良区、市など関係者・関係機関が複数存在し、事業により影響がある場合は復旧方法や機能補償について合意を得ながら設計を進める必要があるなか、受注者は関係者の整理や協議時期を的確に把握し、それぞれにあった資料や3Dパースを用い円滑に業務を進めた。</p> <p>また、当該設計箇所地盤が非常に軟弱なため、地盤状況を踏まえた設計が重要となるが、本業務は既存の地質調査を基に3次元モデル作成とCIMモデルとの統合を行いし、既設構造物への影響検討を精度よく実施した。</p> <p>多岐にわたる設計と対外調整を、会社のバックアップや監理技術者の適切なマネジメントにより、工期内に業務を完成させ優良な業務履行がなされた。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－23

ふりがな	いであ かぶしがいいしゃ		
会社名	いであ 株式会社		
ふりがな	かわぐち きわむ	職種	管理技術者
技術者名	川口 究		
ふりがな	あーごとながわじょうりゅうかんないかんぎょうちようさけんとうぎょうむ		
業務名	R 5 利根川上流管内環境調査検討業務		
履行期限	(自) 令和5年4月20日 (至) 令和6年6月28日		
事務所名	利根川上流河川事務所		
業務概要	本業務は、貴重な河川環境を有する渡良瀬遊水地、稲戸井調節池において動植物の生息状況等を調査し、とりまとめるとともに、河道掘削や樹木伐採後の河道変遷のとりまとめを行い自然再生の必要性を検討するものである。		
表彰理由	広大な渡良瀬遊水地、稲戸井調節池における環境調査を確実に行之、無事故で業務を履行した。特に渡良瀬遊水地環境調査においては、従前の調査ツールとして利用していたタブレット端末の課題を解決し、高い技術力を活かした創意工夫で、汎用性が高く利用しやすいツールを作成した。 また、河川整備基本方針及び河川整備計画の見直しの検討のために実施した自然再生の必要性検討において、管内の河川環境を俯瞰的に把握し、整理・評価が行われ、豊富な知識や技術力により調査結果がとりまとめられており、優良な業務履行がなされた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－24

ふりがな	にほんこうえい かぶしがいいしゃ きたかんとうじむしょ		
会社名	日本工営 株式会社 北関東事務所		
ふりがな	おおたき さとし	職種	管理技術者
技術者名	大瀧 諭		
ふりがな	あーるよん・あーるごあらかわうがんこなんようすいひかんかいちくしょうさいせつけいほかぎょうむ		
業務名	R 4 ・ R 5 荒川右岸古南用水樋管改築詳細設計他業務		
履行期限	(自) 令和4年6月4日 (至) 令和7年3月19日		
事務所名	荒川上流河川事務所		
業務概要	本業務は、荒川右岸44.1k付近の堤防整備に伴い改築が必要となる古南用水樋管改築の詳細設計及び周辺右岸の築堤護岸詳細設計を行い、併せて、影響が生じる近接構造物（既設 J R 川越線構造物、新設 J R 川越線構造物、川裏側構造物（住宅等））に対する施工影響検討、施工手順検討についても検討することを目的とする。		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、当初設計に加え、急遽条件変更となった樋管の構造諸元見直しによる概略設計の修正や、築堤に伴う市道の詳細設計追加、工事発注図書の作成など、多岐にわたる追加業務にも的確かつ効率的に対応した。 また、樋管・橋梁管理者や自治体など関係機関との協議・調整においては、要望や課題を的確に抽出し、積極的な提案・打合せを実施することで質の高い設計成果として取りまとめを行った。特に橋梁管理者とは定期的に会議を開催し、設計条件や施工方法の確認を行い、成果に反映させた。さらに、業務目的を十分に把握し、調査職員の指示にも迅速に対応するなど、円滑かつ正確な業務遂行がなされ、その成果は高く評価できる。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－25

ふりがな	みついきょうどうけんせつこんさるたんと かぶしきがいしゃ きたかんとうじむしょ		
会社名	三井共同建設コンサルタント 株式会社 北関東事務所		
ふりがな	じょ りゅうじ	職種	管理技術者
技術者名	徐 龍二		
ふりがな	あーるごおっぺがわ・ときがわちくていとうしょうさいせつけいぎょうむ		
業務名	R 5 越辺川・都幾川築堤等詳細設計業務		
履行期限	(自) 令和6年3月23日 (至) 令和7年3月25日		
事務所名	荒川上流河川事務所		
業務概要	本業務は、都幾川の築堤・県道取付部・堤外水路詳細設計、築堤護岸・樋管修正設計及び鉄道橋梁近接部堤防設計を実施したものである。		
表彰理由	<p>本業務は、多岐にわたる様々な前提条件や課題を十分に整理・把握し、地元関係者や関係機関との協議・調整結果を迅速に設計に反映する高度な業務であった。</p> <p>受注者は、業務内容に応じた作業体制を構築して業務進捗を図るとともに、関係機関との合意形成が早期に実現するよう、資料作成や協議への臨場を積極的に行うなど、状況に応じた体制作りを行い円滑に業務を遂行した。</p> <p>上記を踏まえ、難易度の高い業務に対して高い技術力をもって業務を遂行し、適切な業務管理がなされていたこと、及び関係機関等との円滑な合意形成に貢献したことは極めて高く評価できる。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－26

ふりがな	かぶしきがいしゃ かたひらしんにほんぎけん とうきょうほんてん		
会社名	株式会社 片平新日本技研 東京本店		
ふりがな	かとう ひとし	職種	管理技術者
技術者名	加藤 人土		
ふりがな	あーるろくおおみやこくどうかんだいこうぞうぶつてんけん・ほしゅうとうせつけいぎょうむ		
業務名	R 6 大宮国道管内構造物点検・補修等設計業務		
履行期限	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	大宮国道事務所		
業務概要	本業務は、大宮国道事務所管内の道路構造物について、損傷及び変状を早期に発見し、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害の防止を図るため等、道路構造物に係る維持管理を適切に行うために、点検・診断並びに補修・補強設計を行うものである。		
表彰理由	<p>本業務の履行にあたり、業務の目的及び内容を十分理解し、横断歩道橋や標識等の点検に際し有用な提案を行うなど、取組への積極性・責任感に対して特に評価できるものであった。</p> <p>横断歩道橋緊急点検においては、一般車両等の衝突事故等突発的な事象発生時に平休日昼夜を問わず迅速な点検を行い、安全性の確保を図った。</p> <p>また、多岐にわたる点検、設計項目に対し、業務内容を効率よく実施し、調査職員の指示等に対しても積極的、かつ迅速に対応するなど、円滑的確な業務遂行が行われ、優良な成果をとりまとめた。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－27

ふりがな	かぶしきがいしゃ　そうごうぎじゅつこんさるたんとうきょうししゃ		
会社名	株式会社　総合技術コンサルタント　東京支社		
ふりがな	やまもと　あきひろ	職種	管理技術者
技術者名	山本　晃弘		
ふりがな	あーろくしんおおみやあげおどうろほかきょうりょうせつけいほかぎょうむ		
業務名	R 6 新大宮上尾道路外橋梁設計他業務		
履行期限	(自)　令和6年10月1日		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－28

ふりがな	かぶしきがいはや ふっけんぎじゅつこんさるたんとうきょうしてん		
会社名	株式会社 復建技術コンサルタント 東京支店		
ふりがな	やまもと よしかず	職種	管理技術者
技術者名	山本 佳和		
ふりがな	あーごこくどうよんごうひがしさいたまどうろどうろしょうさいしゅうせいせつけいぎょうむ		
業務名	R 5 国道 4 号東埼玉道路道路詳細修正設計業務		
履行期限	(自) 令和5年6月3日 (至) 令和6年12月27日		
事務所名	北首都国道事務所		
業務概要	本業務は、過年度設計成果をもとに東埼玉道路一般部の事業範囲全線において、令和7年度春頃の開通に向けた工事に伴う道路詳細修正設計、一般構造物詳細設計、調整池修正設計、及び平面交差点設計を実施するものである。		
表彰理由	<p>道路詳細修正設計では、令和7年6月1日の東埼玉道路一部開通に向け、現場施工中に生じた様々な課題に対し、優先度を見極めながら迅速かつ的確に対応した。</p> <p>特に調整池修正設計では、調節池容量や地下水位、放流先水路等の設計条件を的確に把握し、将来的な整備を見据えて簡易な構造となるよう既存設計の修正を行った。設計にあたっては、現地条件に即した提案や施工上の技術的な助言を通じて高い技術力を発揮し、工事工程に応じた迅速な対応を行った。</p> <p>上記のほか、業務目的を的確に把握し、調査職員の指示にも迅速に対応するなど、円滑で正確な業務遂行がなされ、その成果は高く評価出来るものである。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－29

ふりがな	かぶしきがいしゃ けんせつぎじゅつけんきゅうじょ とうきょうほんしゃ		
会社名	株式会社 建設技術研究所 東京本社		
ふりがな	かねまる あさみ	職種	管理技術者
技術者名	金丸 阿沙美		
ふりがな	あーるごこくどうよんごうひがしさいたまどうろちようせいちけいかくけんとうぎょうむ		
業務名	R 5 国道 4 号東埼玉道路調整池計画検討業務		
履行期限	(自) 令和6年3月30日 (至) 令和6年12月27日		
事務所名	北首都国道事務所		
業務概要	本業務は、東埼玉道路における一般部整備時に加え、将来的に専用部が整備された際の調整池について、現況流域や流末等を確認しつつ、配置方針の検討や整備計画の策定を行うものである。		
表彰理由	<p>東埼玉道路は、周辺に中川や綾瀬川といった一級河川が流れるとともに浸水想定地域を通る道路であり、道路排水には十分は配慮する必要がある。また、一般部は開通済み及び現在施工中の区間があるとともに、専用部は全線高架区間となり、現在橋梁ごとに詳細設計を進めている状況である。さらに、東埼玉道路用地内において地元自治体とともにバス専用レーンの整備を検討している。</p> <p>本業務では、将来的な整備を見据えつつ、整備状況に合わせた段階的な調整池の配置計画を検討を行った。業務を進めるにあたり、膨大な既往成果を整理し、進行中の業務とも調整を図り、的確な情報を整理を行った。加えて、用地や整備状況等の多くの制約条件を伴う困難な課題に対し、高い技術力を発揮して解決策を検討した。</p> <p>上記のほか、業務の目的・内容を把握し、調査職員に対して積極的に提案を行うなど、業務に対する取り組む姿勢は高く評価できるものである。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－30

ふりがな	みついきょうどうけんせつこんさるたん と かぶしきがいしゃ ちばじむしょ		
会社名	三井共同建設コンサルタント 株式会社 千葉事務所		
ふりがな	ほんだ まさのぶ	職種	管理技術者
技術者名	本田 正修		
ふりがな	あーるごさわらがわひかんしょうさいせつけいぎょうむ		
業務名	R 5 佐原川樋管詳細設計業務		
履行期限	(自) 令和6年8月29日 (至) 令和7年3月25日		
事務所名	利根川下流河川事務所		
業務概要	本業務は、佐原川樋管の詳細設計（14.9k 付近）を行うもので、河口部の本川特性、堤外地環境、河川内漁業、堤内地利用、支川排水、土質条件等を考慮し、コスト縮減且つ環境負荷低減を目標に治水上有効となる河川施設を設計するものである。		
表彰理由	本業務は、利根川下流域の治水安全度向上の早期発現ための築堤事業を促進することを目的に、排水施設の一つである、佐原川樋管の詳細設計を行うものである。 早期の工事発注のために、短期間で詳細設計成果をとりまとめる必要があったが、概略発注のため、新たに地質データを取得したうえで地盤改良範囲を確定する検討を実施する必要があった。 近傍のボーリングデータでの地盤改良検討と並行して、新たに地質データを取得するなど、工程管理を適切に行うとともに、社内支援体制を強化して短時間で成果をとりまとめることができた。 また、施工計画の検討に当たり、発注者の判断が速やかに行えるようBIM/CIMを活用した三次元施工ステップ図を作成し同時施工による工期短縮を提案するなど、高度な技術力を発揮し、円滑な業務遂行により成果をとりまとめた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－31

ふりがな	かぶしがいいしゃ にっすいこん とうきょうししよ		
会社名	株式会社 日水コン 東京支所		
ふりがな	かまた のぶゆき	職種	管理技術者
技術者名	鎌田 信行		
ふりがな	あーるごえどがわかんないひかんかいちくとうけんとうせつけいぎようむ		
業務名	R 5 江戸川管内樋管改築等検討設計業務		
履行期限	(自) 令和6年3月28日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	江戸川河川事務所		
業務概要	本業務は、江戸川河川事務所管内の樋管（三郷浄水場取水樋管、三郷浄水場放流施設）の改築等に係る検討、堤防整備の詳細設計、浅間下排水樋管の修正設計及び工事用道路の設計を行うものである。		
表彰理由	<p>江戸川の河川整備の課題は、樋管等の構造物周辺において堤防が痩せ、流下能力評価の低い箇所が多数あり、気候変動による外力の増大を踏まえ、河川整備の加速化を図る方策の立案において、河川管理施設等構造令や、これまでの河川整備に関する考え方等との整合を図りつつ、樋管等構造物の対策を立案することは高度な技術力が必要であった。</p> <p>本業務では、堤防の計画断面拡大の歴史的経緯を整理し、断面不足と評価される要因となっている「小段」の機能に着目し、「侵食」、「浸透」、「耐震」、「構造物の健全性」を評価することで、樋管改築によらずに樋管箇所の流下能力を評価する考え方を整理するなど、河川整備の加速化方策立案において、必要な資料作成や協議資料の作成等を実施した。十分な理解と豊富な経験に基づき円滑に業務を遂行し、江戸川の河川整備の加速化に貢献したことは極めて高く評価できる。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－32

ふりがな	いであ かぶしがいいしゃ		
会社名	いであ 株式会社		
ふりがな	おかむら せいじ	職種	管理技術者
技術者名	岡村 誠司		
ふりがな	あーるごえどがわかかどうせいびけんとうぎようむ		
業務名	R 5 江戸川河道整備検討業務		
履行期限	(自) 令和6年2月2日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	江戸川河川事務所		
業務概要	本業務は、江戸川における河道特性の現状を整理し、河道整備等による効果を検討し、今後の江戸川の河道整備の検討を行うものである。		
表彰理由	<p>気候変動による将来の外力増大に対応する江戸川の河川整備メニューを検討する必要がある、これらの検討やメニューの立案は高度な技術力が必要であった。</p> <p>本業務の履行にあたり受注者は、河道特性の現状整理や現況流下能力の検証、河川整備実施後の河道安定性の検討等を行うとともに、準三次元不定流計算－平面二次元河床変動計算モデルを活用し江戸川への分派量の算定を行うなど、気候変動に対応した河川整備メニューの立案に必要な資料作成や協議資料の作成等を実施し、円滑に業務を遂行した。</p> <p>気候変動への対応といった、社会的な要請を踏まえた検討内容に対し、十分な理解と豊富な経験に基づく業務遂行により、江戸川の河川整備の計画立案に貢献したことは極めて高く評価できる。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－33

ふりがな	せんとらこんさるたんとかぶしきがいしゃちばえいぎょうしょ		
会社名	セントラルコンサルタント 株式会社 千葉営業所		
ふりがな	あかせ てつや	職種	管理技術者
技術者名	赤瀬 哲也		
ふりがな	あーるごちばこくどうかんないきょうりょうたいしんほぎょう・ほしゅうせつけいえむじゅういちぎょうむ		
業務名	R 5 千葉国道管内橋梁耐震補強・補修設計M 1 1 業務		
履行期限	(自) 令和5年11月1日 (至) 令和7年2月28日		
事務所名	千葉国道事務所		
業務概要	本業務は、千葉国道事務所管内における橋梁の耐震補強設計及び補修設計を行うものである。		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、業務の目的及び内容を十分理解し、調査職員と綿密な連携を図るとともに、設計にあたっては、現地構造物の現状を的確に把握したうえで、効果的な対策案を提案した。 特に、急遽必要となった設計対象橋梁の追加指示等において、社内の体制を整えて成果品をとりまとめる等、高い技術力と調整力を発揮し、円滑に業務を遂行した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－34

ふりがな	かぶしきがいしゃ　とうきょうけんせつこんさるたんとかぶしきがいしゃ		
会社名	株式会社　東京建設コンサルタント		
ふりがな	も　ぎ　てっぺい	職種	管理技術者
技術者名	茂木　鉄平		
ふりがな	あーごあらかわかりゅうはんらんかいせきとうけんとうぎょうむ		
業務名	R 5 荒川下流氾濫解析等検討業務		
履行期限	(自)　令和5年5月23日		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－35

ふりがな	あーごあらかわかりゅうりゅうりょうかんそくこうどかけんとうぎょうむばしふいっくこんさるたんつ・すいもんかんきょうせつけいきょうどうたい		
会社名	R 5 荒川下流流量観測高度化検討業務パシフィックコンサルタンツ・水文環境設計共同体		
ふりがな	はまぐち けんいちろう	職種	管理技術者
技術者名	浜口 憲一郎		
ふりがな	あーごあらかわかりゅうりゅうりょうかんそくこうどかけんとうぎょうむ		
業務名	R 5 荒川下流流量観測高度化検討業務		
履行期限	(自) 令和6年6月25日 (至) 令和7年2月28日		
事務所名	荒川下流河川事務所流域治水課		
業務概要	本業務は、荒川下流管内における高水流量観測の無人化・自動化の構築に向け、次世代型流量観測システムの導入及び検証を行ったものである。		
表彰理由	<p>本業務の履行にあたり、流量観測システムの観測流量の検証と観測時の品質管理が重要となる。</p> <p>笹目橋に設置した電波式流速計で観測した流量の検証においては、ADCPを用いた観測流量と比較分析し、風による表面流速の増加に加えて、風波が影響している可能性を示した。さらに学識者の助言も受けた上で、風波の影響を低減するための流量算出の補正方法を示した。</p> <p>また、流量観測の高度化への移行を見据えて、次世代型流量観測検討会で示される方針に沿ったデータの取りまとめを実施するとともに、機器整備、浮子観測からの移行を考慮した本格実装に向けたロードマップを作成した。</p> <p>以上のことから、課題に対して的確に業務を遂行した技術力は高く評価でき、他業務の模範となるべき特に優れたものであることから表彰に値する。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－36

ふりがな	ばしふいっくこんさるたんつ かぶしがいしゃ しゅとけんほんしゃ		
会社名	パシフィックコンサルタンツ 株式会社 首都圏本社		
ふりがな	いしはら だいさく	職種	管理技術者
技術者名	石原 大作		
ふりがな	あーごこくどうじゅうごごうしながわえきにしぐちきばんせいびしゅうせつけいそのいちぎょうむ		
業務名	R 5 国道1 5 号品川駅西口基盤整備詳細設計（その1）業務		
履行期限	（自） 令和5年9月1日 （至） 令和6年12月27日		
事務所名	東京国道事務所		
業務概要	国道15号品川駅西口基盤整備における交通広場デッキの橋梁詳細設計（鋼橋上部工・橋脚工）を行う。 ・橋梁詳細設計鋼橋上部工1式 ・橋梁詳細設計橋脚工1式 ・架設計画1式		
表彰理由	大規模かつ鋼結合ラーメン構造で難易度の高い交通広場デッキの設計にあたり、制約条件を理解した上で、積極的に業務に取り組み、品質の高い成果をあげた。 特に、交通広場デッキの荷重条件である建築物（大屋根、建屋等）の設計が同時並行で進行している中、建築物が交通広場デッキへ与える影響を把握するため動的解析モデルを構築し、建築設計と連携し効率的に設計を実施した。また、交通広場デッキの直下で実施する地下鉄工事、隣接する民間工事等との設計条件や制約条件を十分理解した上で、架設計画や関係機関との協議資料の作成において積極的な提案を行った。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－37

ふりがな	にほんこうえい かぶしがいいしゃ どうきょうしてん		
会社名	日本工営 株式会社 東京支店		
ふりがな	うえた とおる	職種	管理技術者
技術者名	上田 透		
ふりがな	あーるごとうきょうこくどうかんないどうろくうかんりかつようけんとうぎょうむ		
業務名	R 5 東京国道管内道路空間利活用検討業務		
履行期限	(自) 令和6年5月14日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	東京国道事務所		
業務概要	<p>道路空間を活用した交通モード間の接続を強化する取り組みとして実施してきた「道路空間を活用したカーシェアリング社会実験」を踏まえ、路上カーシェアステーションの課題検討及び協議会運営補助等を行う。</p> <p>また、様々な交通モードの接続・乗り換え拠点となるモビリティハブやにぎわい空間の創出に取り組むため、道路空間の有効的な活用方法を検討し、事例収集、法令整理を含めた新たな社会実験実施に向けた計画立案を行う。</p>		
表彰理由	<p>東京国道事務所では、「路上カーシェアステーション設置のための東京版ガイドライン」を策定し、路上カーシェア実施における課題を踏まえ次期社会実験に向けた検討を進めている。検討にあたり、早期に関係機関協議を進める必要があり、協議資料作成において、業務内容に応じ適切な人員を配置し、また、分かりやすく説明しやすい資料を作成するなど、円滑な協議進捗に尽力した。</p> <p>特に、社会実験に向けた計画立案及び収益確保方策の検討では、課題を踏まえ方向性を整理するとともに、他事例を交え積極的に発注者へ提案を行った。</p> <p>このように、発注者の要求する内容が十分に遂行され、品質の高い優れた成果を収めたため、本業務を表彰するものである。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－38

ふりがな	せんとらるこんさるたん と かぶしがいいしゃ どうきょうじぎょうほんぶ		
会社名	セントラルコンサルタント 株式会社 東京事業本部		
ふりがな	よしだ たけし	職種	管理技術者
技術者名	吉田 武		
ふりがな	あーるごじーこくどうにじゅうごうはちおうじみなみばいばすどうろしょうさいしゅうせいせつけいほかぎょうむ		
業務名	R 5 G 国道 2 0 号八王子南 B P 道路詳細修正設計他業務		
履行期限	(自) 令和5年5月24日 (至) 令和6年12月27日		
事務所名	相武国道事務所		
業務概要	本業務は、国道20号八王子南バイパス3工区において、過年度の設計成果を基に、道路詳細修正設計や一般構造物詳細設計、電線共同溝詳細修正設計等を行い、それらに伴う施工計画の検討、関係機関との協議資料の作成、電気通信設備の新規整備に向けた詳細設計を実施したものである。		
表彰理由	本業務では、バイパス供用時期が迫る中、担当職員や事業管理業務などの関係者と綿密に連携し、新技術を含む積極的な技術提案を通じて、経済性や施工性に配慮した設計を実施した。 特に、工事進捗に伴う新たな課題や調整事項には、工程上の重要度を踏まえて優先順位を設定し、タスクリストに基づく確実な作業管理と柔軟な体制で迅速かつ効率的に対応した。また、関係機関との協議では、合同現地踏査や迅速な資料作成により、早期の合意形成と円滑な協議締結に貢献した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－39

ふりがな	かぶしがいいしゃ おりえんたるこんさるたんつ かんとうししゃ		
会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ 関東支社		
ふりがな	おおはた たけし	職種	管理技術者
技術者名	大畑 長		
ふりがな	あーるごえむそうぶこくどうじむしょかんないじこたいさくけんとうぎょうむ		
業務名	R 5 M相武国道事務所管内事故対策検討業務		
履行期限	(自) 令和5年4月25日 (至) 令和6年5月31日		
事務所名	相武国道事務所		
業務概要	本業務は、相武国道事務所管内における交通事故対策推進のため、最新データに基づく要対策箇所の選定、発生要因分析、対策検討及び平面交差点詳細設計を行うものである。また、過年度対策実施箇所の整備効果分析を行うものである。		
表彰理由	本業務の履行にあたり、業務の進捗状況把握を行い、適切な工程管理を行うとともに、業務目的・内容を十分熟慮し、必要な情報を的確に収集し業務を遂行した。 また、業務遂行における発注者からの指示事項に対して正確に把握することに努め、最新の知見をもとにした技術の提案等を行い、業務全体を通して正確な報告がなされていた。 特に事故多発箇所における検討に関しては、最新のDX技術を活用した対策内容を提案するなど成果は高く評価できるものであった。 以上の理由により、本業務への取り組み姿勢が非常に前向きであり、他の模範となる業務遂行であったため、優良業務及び優秀技術者として表彰するものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－40

ふりがな	かぶしがいしゃ けんせつかんきょうけんぎゅうじょ		
会社名	株式会社 建設環境研究所		
ふりがな	しまだ けいいち	職種	管理技術者
技術者名	嶋田 啓一		
ふりがな	あーるろくみやがせだむかんないみずべげんちちょうさ（しょくぶつ・りょううじつたい）ほかぎょうむ		
業務名	R 6 宮ヶ瀬ダム管内水辺現地調査（植物・利用実態）他業務		
履行期限	（自） 令和6年4月1日（至） 令和7年3月31日		
事務所名	相模川水系広域ダム管理事務所		
業務概要	本業務は、宮ヶ瀬湖及び周辺地域における河川環境等を把握するため、植物調査、外来魚調査、出水時放流調査等の環境調査及び動植物プランクトン調査データのとりまとめを行うものである。		
表彰理由	本業務は、宮ヶ瀬ダム建設による周辺の自然環境の変化を把握するため、貯水池周辺の植物調査を実施したものであるが、広い範囲で実施する現地調査の効率化と精度の向上が課題となる。 現地調査の実施に当たり、自社開発の電子野帳を用い、種名の記録や環境写真、GPS機能を用いた位置情報の記録を行った。種名の記録においては、会社と現地を通信回線ですなぎ種の同定することにより、精度の向上と効率化を図ったほか、位置情報の取得についてはGPSの情報を用いることにより重要種の位置の記録精度を高めた。 このように、豊富な経験と高い技術力、企業の体制と創意工夫をもって業務を実施し、優良な業務であった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号ー41

ふりがな	いであ かぶしがいいしや		
会社名	いであ 株式会社		
ふりがな	おおの まさひろ	職種	管理技術者
技術者名	大野 正博		
ふりがな	あーるごせいしょうかいがんかんきょうちょうさぎょうむ		
業務名	R 5 西湘海岸環境調査業務		
履行期限	(自) 令和6年5月15日 (至) 令和7年3月21日		
事務所名	京浜河川事務所		
業務概要	本業務は、西湘海岸における海岸保全施設施工に伴う環境への影響・効果把握のため、西湘海岸に係る環境調査を行うものである。		
表彰理由	西湘海岸保全施設整備事業を進めるにあたって、環境調査は基礎的な資料収集を行うための調査であるが、西湘海岸は、相模湾特有の海底谷や波向の影響により漂砂のメカニズムを解明及び施設設計が非常に難しい海岸の一つであるが、日本初の岩盤型潜水突堤のモニタリング手法の提案や高波浪時にも対応できる波高、波向、濁度等の調査手法などの提案内容を他事例を参考に西湘独自の手法を検討し的確にレスポンス良く対応していた。また、調査にあたっては地元の2者の漁協の船舶を使用した調査を行い、丁寧なコミュニケーションを密にとりながら調査をスムーズに行うことができていた。さらに、そのおかげで、国土交通省が行う事業のイメージもアップし事業の進捗を大幅に進めるきっかけとなった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号ー42

ふりがな	かぶしきがいは けんせつかんきょうけんぎゅうじょ		
会社名	株式会社 建設環境研究所		
ふりがな	きのした ながのり	職種	管理技術者
技術者名	木下 長則		
ふりがな	あーるろくけいひんかんないみずべげんちちょうさ（かせんくうかんりようじったいちょうさ）ぎょうむ		
業務名	R 6 京浜管内水辺現地調査（河川空間利用実態調査）業務		
履行期限	（自） 令和6年4月1日 （至） 令和7年2月28日		
事務所名	京浜河川事務所		
業務概要	本業務は、「河川水辺の国勢調査」の一環として、多摩川水系、鶴見川水系、及び相模川水系における河川空間利用実態調査を行うものである。		
表彰理由	<p>本業務は、京浜河川事務所管内3河川の総延長215kmを対象に、各河川の利用者について把握するための調査である。本調査は全国一斉の調査日において、日の出から日没まで2時間毎に、調査員が利用者数のカウントを行う必要があり、特に夏場は熱中症のリスクが上昇して、安全管理に苦慮していた。このため、ウェアラブル端末を調査員に着用させ、調査員のバイタル情報をリアルタイムで監視することで、熱中症リスク回避を徹底した結果、延べ180名の調査員を配置した中でも、熱中症を一人も出さず完了することができた。</p> <p>また、本調査では調査員を同日に集中して確保する必要があるが、次回5年後の調査において調査員の確保は厳しい状況になると考えられることから、AI技術を用いたUAV撮影画像による利用者数の自動カウントを提案・試行し、今後の調査の効率化・省力化について鑑みるにあたり、先進的な取り組みとして非常に評価できる。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－43

ふりがな	やちよえんじにやりんぐ かぶしがいしゃ		
会社名	八千代エンジニアリング 株式会社		
ふりがな	ないとう いちろう	職種	管理技術者
技術者名	内藤 一郎		
ふりがな	あーごこくどういちごうじゅうたいじょうきょうぶんせき・たいさくけんとう（そのに）ぎょうむ		
業務名	R 5 国道 1 号渋滞状況分析・対策検討（その 2）業務		
履行期限	（自） 令和6年8月2日 （至） 令和7年3月31日		
事務所名	横浜国道事務所		
業務概要	本業務は、神奈川県内の国道 1 号における主要渋滞箇所等について、要因分析、対策検討、対策実施効果の検証等を行うものである。		
表彰理由	<p>本業務の履行に当たり、業務の目的を十分に理解し、国道 1 号の原宿交差点や矢澤交差点～藤沢バイパス出口交差点等の渋滞対策検討について、発注者とともに現地調査を行い現場状況をよく把握したうえで業務を遂行した。</p> <p>また、関係機関協議等の資料作成においては、警察や、自治体、地元住民などの多様な相手に対して理解しやすい資料作成がなされており、高く評価できるものであった。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－44

ふりがな	いであ かぶしがいしゃ		
会社名	いであ 株式会社		
ふりがな	きのした ゆうしろう	職種	管理技術者
技術者名	木下 裕士郎		
ふりがな	あーろくふじかわみずべげんちちょうさ（ぎょるい・くうかんりようじったいちょうさ）ぎょうむ		
業務名	R 6 富士川水辺現地調査（魚類・空間利用実態調査）業務		
履行期限	（自） 令和6年4月18日 （至） 令和7年3月28日		
事務所名	甲府河川国道事務所		
業務概要	<p>本業務は、「河川水辺の国勢調査」の一環として甲府河川国道事務所管内における魚類及び空間利用実態調査を行い、その生息状況、河川空間の利用状況を把握するものである。</p> <p>また、河川整備基本方針の変更にわかる環境関係の資料整理を実施した。</p>		
表彰理由	<p>本業務の実施にあたっては、魚類の同定における制度向上が重要となるが、受注者は同定の精度を確保するため、形質固定を行う他、同定が難しい種については遺伝子解析を行うことにより、同定精度の確保につとめた。現地調査時には、今後水辺の国勢調査でも導入が予定されている環境 DNA 調査を実施し、事前に生息する魚類を把握した上で調査を実施するとともに、CPUE(単位努力量あたり漁獲量)を用いた定量評価を行うことにより、アドバイザーからも高い評価を得るなど、高い技術力をもって業務を実施した。空間利用実態調査にあたっては調査進捗状況を共有しながら、円滑、安全に調査を完遂させた。</p> <p>さらに、業務途中で追加した河川整備基本方針変更に係るデータ整理、資料作成にあたっては、業務体制を再構築し、柔軟に対応した。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－45

ふりがな 会社名	おうようちしつ かぶしきがいしゃ とうきょうじむしょ 応用地質 株式会社 東京事務所		
ふりがな 技術者名	みの はるか 味野 晴佳	職種	担当技術者
ふりがな 業務名	あーごこうふかせんこくどうかんないぼうさいてんけん・せつけいぎょうむ R 5 甲府河川国道管内防災点検・設計業務		
履行期限	(自) 令和5年4月19日 (至) 令和7年3月28日		
事務所名	甲府河川国道事務所		
業務概要	本業務は、道路防災カルテを活用した現地点検や特定道路土工構造物点検などの定期点検のほか事故や災害などの発生状態を確認する緊急点検を実施するものである。また、点検の結果、必要とされる防災工事等の道路構造物の設計及び設計に必要な測量・地質調査などの基礎調査を行うものである。		
表彰理由	カルテ点検などの定期点検において、事前に計画準備を入念に行い、安全に効率よく点検を実施した。 また、災害時等の緊急点検においては、調査職員と連絡調整を行い迅速かつ正確な対応により遅延無く点検を実施し、応急対策が必要な箇所においては専門的知見に基づいた対策を迅速に提案することにより二次被害の防止に貢献した。 特に台風10号で中部横断自動車道の一色トンネル坑口付近の法面が崩落した時においては、緊急に現地調査を実施し、既存資料と照らし合わせ崩壊の原因を追及すると共に、応急対策及び恒久対策工事に着手出来るように、基礎調査及び設計を迅速に対応した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－46

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃ けんせつぎじゅつけんぎゅうじょ とうきょうほんしゃ 株式会社 建設技術研究所 東京本社		
ふりがな 技術者名	かねまる あさみ 金丸 阿沙美	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーごこくどうにじゅうごうせこうけいかくとうけんとうぎょうむ R 5 国道20号施工計画等検討業務		
履行期限	(自) 令和6年8月8日 (至) 令和7年3月21日		
事務所名	長野国道事務所		
業務概要	本業務は国道20号下諏訪岡谷バイパスと諏訪バイパスの施工計画検討等を実施する業務である。		
表彰理由	下諏訪岡谷バイパスでは進入路や用地・埋蔵文化財調査などの現地条件を踏まえ、工事工程計画を立案するとともに、橋梁部においてCIMモデルの作成により、施工ステップの検討を行い、課題の抽出及び対応策を立案するなど、優れた成果を上げ、貢献した。 諏訪バイパスにおいては各自治体へのヒアリングにより発生土の処分先の候補地の抽出を行うとともに、工事工程を踏まえた土配計画の立案、さらには各事業における現状把握と課題抽出を行い、留意事項や優先的に着手すべき協議や設計などを明確にするなど、円滑な事業推進に資する、優れた成果を上げ、貢献した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－47

ふりがな	でんせつこんさるたんつ かぶしがいいしゃ		
会社名	電設コンサルタンツ 株式会社		
ふりがな	まつお かずひろ	職種	管理技術者
技術者名	松尾 和宏		
ふりがな	あーごあづみのこうえんおおまち・まつかわちくでんきせつびせつけいぎょうむ		
業務名	R 5 あづみの公園大町・松川地区電気設備設計業務		
履行期限	(自) 令和6年3月12日 (至) 令和6年11月29日		
事務所名	長野国道事務所		
業務概要	本業務はアルプスあづみの公園内の老朽化した受変電設備更新や低圧化改造、さらには高圧配電線路の影響リスク削減を図るための詳細設計を行う業務である。		
表彰理由	アルプスあづみの公園内の老朽化した受変電設備の更新や低圧化改造を行うことを目的とした詳細設計を行うなど、優れた成果を上げ、貢献した。 また園内をとおりる拠点間の高圧配電線路の影響について、園内の分電盤やハンドホールを調査するとともに、来園者や他の設備等へ及ぼす影響リスクを削減するため、施設更新、撤去、配線方法の見直し検討を行うとともに、詳細設計を行うなど、優れた成果を上げ、貢献した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－48

ふりがな	かぶしがいいしゃ けんせつぎじゅつけんぎゅうじょ とうきょうほんしゃ		
会社名	株式会社 建設技術研究所 東京本社		
ふりがな	なかや あきひこ	職種	管理技術者
技術者名	中谷 明彦		
ふりがな	あーろくとねがわじょうりゅうぶちすいけんとうぎょうむ		
業務名	R 6 利根川上流部治水検討業務		
履行期限	(自) 令和6年4月19日 (至) 令和7年3月24日		
事務所名	利根川ダム統合管理事務所		
業務概要	本業務は、利根川（八斗島）上流域における気候変動を考慮した降雨量、流量の検討を踏まえた、洪水調節施設に関する検討及び施設整備の検討を行うものである。 また、洪水の流出計算に関する資料整理及び試算を行うものである。		
表彰理由	本業務における洪水調節施設に関する検討においては、様々な条件での検討が必要であったが、社内でする関連情報や技術的知見を活用し、目的や作業スケジュールを確認しながら迅速且つ的確に対応した。検討にあたっては、既存ストックの有効活用が重要であり、検討の中で生じた事前放流の課題について、独自の条件設定（対象波形の抽出、ダム毎の降雨量設定）の提案を行い、課題を解決する検討を行った。また、追加変更となった相俣ダム操作規則・細則の変更案とりまとめにおいては、変更点の考え方や他条項との関連を分かりやすく併記することで、記載内容の認識の共有ができるよう工夫を行うなど迅速に資料のとりまとめを行った。 以上のように業務全般を通して高い水準で業務を遂行し、成果品も今後の課題が整理された優れた評価の出来るものであり、優良表彰に該当する業務内容であった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－49

ふりがな	あーろくゆにしがわだむみずうんようこうどかけんとうぎようむ にゅーじえっく・こくどぎじゅつけんきゆうせんたーせつけいきようどうたい		
会社名	R 6 湯西川ダム水運用高度化検討業務ニュージェック・国土技術研究センター設計共同体		
ふりがな	あかまつ としゆき	職種	管理技術者
技術者名	赤松 利之		
ふりがな	あーろくゆにしがわだむみずうんようこうどかけんとうぎようむ		
業務名	R 6 湯西川ダム水運用高度化検討業務		
履行期限	(自) 令和6年6月6日 (至) 令和7年2月28日		
事務所名	鬼怒川ダム統合管理事務所		
業務概要	本業務は、湯西川ダムにおける貯水量を最大限に有効活用するため、管理ダムにおける利水機能の増強、水力発電の増電を目的に、高度な水運用について検討を行うものである。		
表彰理由	<p>本業務を履行するにあたり、土木施設、水力発電、機械設備、ダム運用上の制度など多岐にわたる分野を網羅した技術者を配置し、湯西川ダムにおける水力発電の増電に向け、事前放流及び洪水後の貯水位低下等を考慮し、さらに系統連系の制約など複雑な条件を踏まえ高度な水運用の検討を実施し、優れた成果を上げた。</p> <p>また、「湯西川ダム新水力発電所設置・運営事業（ハイブリッドダム事業）」に関する公募に向け、タイトなスケジュールであったが、公募資料の作成、応募者から提出される企画提案書等の審査手順、評価基準・方法等のとりまとめ、委員会の開催、委員への事前説明など迅速に対応した。それにより、国土交通省が管理するダムで全国初となる公募をスムーズに開始することができたため。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－50

ふりがな	あーろくでじたるぎじゅつをかつようしたかせんかんりぎじゅつりよくこうじょうにかんするけんとうぎようむかせんざいだん・にほんこうえいせつけいきようどうたい		
会社名	R 6 デジタル技術を活用した河川管理技術力向上に関する検討業務河川財団・日本工営設計共同体		
ふりがな	つくい としひこ	職種	管理技術者
技術者名	津久井 俊彦		
ふりがな	あーろくでじたるぎじゅつをかつようしたかせんかんりぎじゅつりよくこうじょうにかんするけんとうぎようむ		
業務名	R 6 デジタル技術を活用した河川管理技術力向上に関する検討業務		
履行期限	(自) 令和6年4月27日 (至) 令和6年12月25日		
事務所名	関東技術事務所		
業務概要	デジタル技術を活用することにより、河川管理者の技術力向上を図る方法を検討するとともに、河川堤防の変状及びその過程を、デジタル技術を用いて具現化する手法を検討し、河川管理の水準確保・向上を図るものである。		
表彰理由	<p>本業務では、xR(VR・AR等の総称)技術のうち汎用性が高く、研修への活用性が高いと判断されたVR・AR・三次元CG動画に着目・検討し、堤防点検に関する学習用コンテンツとして、VR堤防点検シミュレータ、ARによる植生・浸食破堤の表示、浸透破堤メカニズムの動画を制作した。</p> <p>さらに、河川構造物等の変状に起因し破堤につながる現象や点検評価のポイントを樋門等の構造物点検に対応したVR堤防点検シミュレータの構造物点検モードの解説モードを追加し、b評価とc評価の違いが学べる変状パターンも作成した。</p> <p>また、被災事例を基にした三次元CG動画や、研修での習熟度を測定・分析できるコンテンツも開発し、実務者研修に活用した。</p> <p>これらを通じて、業務目的を的確に捉え、優れた成果を上げた極めて優良な業務である。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－51

ふりがな	いっばんざいだんほうじん きょうりょうちようさかい		
会社名	一般財団法人 橋梁調査会		
ふりがな	にいぬま としはる	職種	管理技術者
技術者名	新沼 俊治		
ふりがな	あーるご・あーるろくかんとうえむしーかんないきょうりょうしんだんほかぎょうむ		
業務名	R 5 ・ R 6 関東M C 管内橋梁診断他業務		
履行期限	(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年6月28日		
事務所名	関東道路メンテナンスセンター		
業務概要	本業務は、橋梁定期点検要領」に基づく点検結果を踏まえた橋梁診断の実施、橋梁管理カルテの作成・更新及び技術力向上を図る研修補助を行うものである。		
表彰理由	<p>本業務の履行に当たっては、業務の目的及び内容を十分に理解し、調査職員と綿密な連携を図りつつ、定期点検要領に規定する定期点検等を適切かつ効率的に実施した。</p> <p>特に、点検診断に当たって、過去の点検調書等の関連資料を収集整理、現状を把握し、橋梁診断の準備を行い、各事務所が行う点検開始前に診断で留意する橋毎の事項を「点検時の留意事項」としてとりまとめ、的確かつ効率的な定期点検の実施が行われるようにした。また、十数名いる橋梁診断員が正確で分かり易く統一的な点検調書を作成するために、「点検調書作成時の留意事項」を作成するなど診断業務の品質向上をさせた点は高く評価できる。</p> <p>また、点検時に発見した不具合に対しては、部材の健全性や橋としての供用性を考慮しつつ、不具合発生の原因や損傷の進行性の考察等を添えて、調査職員に迅速に報告することで、橋梁の通行安全性の確保に貢献した。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－52

ふりがな	みついきょうどうけんせつこんさるたんと かぶしきがいしゃ きたかんとうじむしょ		
会社名	三井共同建設コンサルタント 株式会社 北関東事務所		
ふりがな	さとう ひろやす	職種	管理技術者
技術者名	佐藤 弘康		
ふりがな	あーるごあらかわちようせつちきょうりょうえいきょうたいさくしやうさいせつけいぎょうむ		
業務名	R 5 荒川調節池橋梁影響対策詳細設計業務		
履行期限	(自) 令和5年10月11日 (至) 令和7年3月14日		
事務所名	荒川調節池工事事務所		
業務概要	本業務は、最新の地質データを基に囲繞堤盛土に伴う治水橋および上江橋・新上江橋への影響対策検討・詳細設計、特殊堤の概略検討、地盤改良に関する検討などを実施した。		
表彰理由	<p>本業務の履行にあたっては、最新の地質データを活用し、囲繞堤盛土に伴う橋梁への影響をFEM解析により詳細に検討し、変位許容値を満足させるための最適な対策工法をトライアル計算による経済的な改良仕様により迅速かつ適切に選定した。特に、上空制限下でも施工可能な低変位型機械攪拌工法による継施工案の提案、および自立式特殊堤と地盤改良案との経済性・施工性を考慮した比較検討による最適案の選定は高度な技術力と現場への深い理解を示すものである。適切な執行管理のもと、迅速かつ的確な対策検討は特に評価できるものであった。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－53

ふりがな	あーるろくくじがわきんきゅうちすいたいさくこうじかんとくしえんぎょうむかんとうけんせつ・さんてんみねせつけいぎょうどうたい		
会社名	R 6 久慈川緊急治水対策工事監督支援業務関東建設・三展ミネ設計共同体		
ふりがな	おおたに かずひろ	職種	管理技術者
技術者名	大谷 一宏		
ふりがな	あーるろくくじがわきんきゅうちすいたいさくこうじかんとくしえんぎょうむ		
業務名	R 6 久慈川緊急治水対策工事監督支援業務		
履行期限	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	久慈川緊急治水対策河川事務所		
業務概要	本業務は、久慈川緊急治水対策河川事務所に関する工事实施の監督補助を行うものであり、発注者の業務を支援し、当該発注工事の円滑な履行及び品質確保を図ることを目的とする業務である。		
表彰理由	本業務は、久慈川緊急治水対策プロジェクトの工事の円滑な履行と品質確保を目的に、直轄区間および権限代行区間における監督補助を実施したものである。工事契約の履行確認、関係機関との調整、設計変更資料の作成、工事検査の立会い、提出資料の確認などを適切かつ迅速に行った。 また、主担当技術者を常駐させ、各担当技術者の業務を統括し、多数の関連工事の調整や、受注者への指導、積算業務との連携、進捗管理なども実施した。 以上のことから、業務全体を通して責任感をもって迅速に業務を遂行させ、工事の円滑な履行及び品質確保を図ることができ、発注者の体制や能力の量的及び技術的補完に多大な貢献がなされたことから、その手法は高く評価できるものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－54

ふりがな	かぶしきがいしゃ えいとにほんぎじゅつかいはつ とうきょうししゃ		
会社名	株式会社 エイト日本技術開発 東京支社		
ふりがな	むらやま かつや	職種	管理技術者
技術者名	村山 克也		
ふりがな	あーるごむさしきゅうりょうしんりんこうえんせいび・かんりうんえいありかたけんとうぎょうむ		
業務名	R 5 武蔵丘陵森林公園整備・管理運営あり方検討業務		
履行期限	(自) 令和5年12月15日 (至) 令和7年2月28日		
事務所名	国営昭和記念公園事務所		
業務概要	本業務は、国営武蔵丘陵森林公園において、これまでに行った現況把握や課題整理結果を踏まえ、整備・管理運営方針を検討した。検討に際し、有識者3名と自治体を委員とした懇談会を実施し意見聴取を行った。さらに社会実験を行いニーズを把握した。		
表彰理由	本業務では、国営武蔵丘陵森林公園の今後のあり方を検討するため、有識者や地元自治体等多くの主体から意見を聴取、ニーズを把握する必要があった。 懇談会の開催においては、これまでの経緯をまとめ、わかりやすく課題整理し、意見を聴取した。また、社会実験においては、事前に運営維持管理事業者と調整を行い、社会実験協力団体と交渉し、事故なく円滑に実施することができた。さらに、民間事業者とのサウンディング調査では、民間事業者の参加可能性を探るために民間の動向を把握し対話を円滑に進めた。 業務全体として適切な工程管理と積極的な提案を行い、有識者、民間事業者等対外的にもわかりやすい説明し、有意義な対話に努められた。そして遅滞なく業務を完了させたことは表彰に値するものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－55

ふりがな	かぶしきがいしゃ けんせつぎじゅつけんぎゅうじょ とうきょうほんしゃ		
会社名	株式会社 建設技術研究所 東京本社		
ふりがな	はら だいすけ	職種	担当技術者
技術者名	原 大輔		
ふりがな	あーるごけんおうどうちかすいほかちようさけんとうじーはちぎょうむ		
業務名	R 5 圏央道地下水他調査検討 G 8 業務		
履行期限	(自) 令和5年9月16日 (至) 令和6年10月31日		
事務所名	千葉国道事務所		
業務概要	本業務は、圏央道千葉県区間（大栄～横芝）において、工事箇所周辺の水文調査を行うことで工事影響の有無を把握すると共に、対策検討を行うことを目的として実施。また、工事箇所における詳細な湧水の流動について把握するための地下水測定を行った。		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、業務の目的及び内容を十分理解し、調査職員と綿密な連携、現地調査時における安全管理、地元住民と円滑な調整を図り、適切な実施体制を確保し的確に業務が進められた。 特に、湧水調査が必要となった際、迅速に体制を整えて原因となる地下水流動を把握する調査方法(電気探査) など、早期に調査計画を立案して、速やかに調査を完了させたことで対策設計に必要な資料をとりまとめ、事業の進捗に大きく貢献した。 このように、高い技術力、幅広い経験及び知見をもって業務を実施しており、優良な業務であった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－56

ふりがな	かわさきちしつ かぶしきがいはしゃ かんとうししや		
会社名	川崎地質 株式会社 関東支社		
ふりがな	うちだ ひでき	職種	主任技術者
技術者名	内田 秀樹		
ふりがな	あーるろくこくどういちごうとつかちくちしつちようさぎょうむ		
業務名	R 6 国道 1 号戸塚地区地質調査業務		
履行期限	(自) 令和6年5月24日 (至) 令和6年11月29日		
事務所名	横浜国道事務所		
業務概要	本業務は、国道1号戸塚警察署交差点付近の道路構造等を検討するにあたり、現地地形・地質性状等を詳細に把握するため地質調査を行うものである。		
表彰理由	本業務の地質調査では、現地条件に制約のある斜面地や民地内における地質調査実施であったが、現地状況を把握した上で、適切な仮設方法の提案、関係機関協議を迅速に行った。 また、民地内の調査にあたり、相手方と円滑に調整を行い、協力体制のもと、円滑かつ無事故で調査を実施した。 ボーリング調査実施位置については既往の成果も踏まえながら現地条件を考慮し、的確な位置を提案したことにより、道路構造の検討に必要な地質性状データとして精度が高いものが得られた。 また、報告書作成にあたっては、今後の設計検討内容を積極的に把握整理し、資料作成の工夫を行い、業務の目的に対し十分な業務を遂行した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－57

ふりがな	かぶしがいいしや ちけんそうごうこんさるたんとうきょうしでん		
会社名	株式会社 地図総合コンサルタント 東京支店		
ふりがな	よなが ゆうすけ	職種	主任技術者
技術者名	代永 佑輔		
ふりがな	あーごしんやまなしかんじょうどうろちしつちようさぎょうむ		
業務名	R 5 新山梨環状道路地質調査業務		
履行期限	(自) 令和6年3月16日 (至) 令和6年12月13日		
事務所名	甲府河川国道事務所		
業務概要	本業務は、国道20号新山梨環状道路において、道路設計、橋梁設計に必要な地質調査を行うものである。		
表彰理由	<p>受注者は、業務の目的、内容を十分理解し、過年度までの調査結果や、地形・地質、土地利用、設計進捗状況を踏まえた地質調査計画書を作成し、調査箇所の選定、選定目的、調査結果の設計への反映の視点等を、発注者にわかりやく説明の上、現地調査に着手した。</p> <p>現地調査では、調査箇所周辺への周知について、受発注者間でしっかりコミュニケーションをとり、迅速かつ適切に地元立入りの周知を行い、調査期間中トラブルの発生はなかった。</p> <p>また、履行上の重要ポイントに対して、設計に資する礫質土地盤の調査精度向上を課題として、調査計画書作成段階から現地調査を十分に行いボーリング地点を選定し、礫地盤に対し標準貫入試験を蜜に行うことで、N値の適正評価を行い、地質調査の精度向上に努め、信頼性の高い地質縦断図作成しており、その成果は高く評価できるものである。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－58

ふりがな	にほんこうえい かぶしがいいしや きたかんとうじむしょ		
会社名	日本工営 株式会社 北関東事務所		
ふりがな	ふじもと りょう	職種	管理（主任）技術者
技術者名	藤元 亮		
ふりがな	あーるごふたせだむあらかわじょうりゅうちくじすべりかんそくたいせいせいびけんとうぎょうむ		
業務名	R 5 二瀬ダム荒川上流地区地すべり観測体制整備検討業務		
履行期限	(自) 令和6年3月22日 (至) 令和7年3月31日		
事務所名	二瀬ダム管理所		
業務概要	本業務は、地すべりに起因する特異な貯水池運用改善に資するための観測体制整備を目的として、ボーリング調査、地すべり解析、観測機器設置を行った。		
表彰理由	本業務は、今後の貯水位運用改善に取り組むために、地すべりの観測体制を整備を目的として、ボーリング調査、地すべりの解析、観測機器の設置に必要な業務を行ったものである。地質及び風化区分断面図の作成、現地踏査の実施により得られた地すべり平面形状の更新等多岐にわたる調査・解析等を実施し、今後の二瀬ダムの管理に必要な検討を行い、ポイントが的確に整理され、わかりやすい成果として適切にとりまとめた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－59

ふりがな	かぶしきがいしゃ とうきょうそいるりさーち よこはましてん		
会社名	株式会社 東京ソイルリサーチ 横浜支店		
ふりがな	いちじま しゅん	職種	管理技術者
技術者名	市島 俊		
ふりがな	かわさきこうわんごうどうちようしゃ（かしよう）（にじゅうよん）しきちようさ		
業務名	川崎港湾合同庁舎（仮称）（24）敷地調査		
履行期限	（自） 令和6年6月18日 （至） 令和6年12月13日		
事務所名	横浜営繕事務所		
業務概要	本業務は、川崎市川崎区千鳥町12番3号において、敷地調査を行うものである。		
表彰理由	<p>本業務の調査場所は業務中である現庁舎敷地内であるため、現地での作業については、施設利用者等への安全対策が徹底された作業計画を作成し、安全に現地作業を完了させた。また、本施設（海上保安署等）の業務内容を踏まえ、施設管理者に対して騒音、振動の発生に関する説明を丁寧に行い、業務への影響を低減させるよう努めた。さらに敷地測量の際には、契約図書で指定した水準点の更新記録を確認し、近隣で更新情報が新しい他の水準点と比較するなど、精度の向上を図ったことも評価できる。それらの功績は非常に大きく、優良業務として表彰するものである。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－60

ふりがな	かぶしきがいしゃ こくどかいはずせんたー ながのえいぎようしょ		
会社名	株式会社 国土開発センター 長野営業所		
ふりがな	なかつち はるき	職種	主任技術者
技術者名	中土 春輝		
ふりがな	あーるごながのこくどうじむしょかんないようちちようさとうぎようむ		
業務名	R5長野国道事務所管内用地調査等業務		
履行期限	（自） 令和6年3月8日 （至） 令和7年2月28日		
事務所名	長野国道事務所		
業務概要	本業務は、長野国道事務所施行の道路事業に必要な土地等の取得等に伴う用地調査等を行う業務である。		
表彰理由	<p>本件業務の履行にあたり、管内多数の事業箇所を対象とする特性を理解した業務計画が立案がなされ、用地測量調査等の作業が計画的に実施された。</p> <p>特に、上部機関の承認を要する複数の移転工法検討においては被補償者との協議が遅延しないよう発注者が期待する期間内にわかりやすい成果が得られ、また前例僅少な特殊物件については自ら再調査の必要性を提案のうえ移転工法検討を行うなど優れた成果をあげ、事業進捗に貢献した。</p> <p>また、用地測量調査においても、境界立会では安全性向上と効率化に取組み、その後の補償協議工程を踏まえた作業計画を立案し業務を行うなど優れた成果をあげ、事業進捗に貢献した。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－61

ふりがな	にほんかいようこんさるたんとかぶしきがいしゃ		
会社名	日本海洋コンサルタント 株式会社		
ふりがな	くぼ こうじ	職種	管理技術者
技術者名	久保 浩司		
ふりがな	れいわろくねんど よこはまこうほんもくちくでいーごがんべきふぞくしせつこうぞうけんとうぎょうむ		
業務名	令和6年度 横浜港本牧地区D5岸壁付属施設構造検討業務		
履行期限	(自) 令和6年4月9日 (至) 令和7年3月28日		
事務所名	京浜港湾事務所		
業務概要	横浜港本牧地区D5岸壁付属施設として、D5コンテナターミナル再編整備の施工時における仮設ドルフィンまたは仮設栈橋の構造検討を行ったものである。		
表彰理由	<p>本業務の実施においては、早々に施設の配置計画や付帯施設の諸元を利用者等にヒアリングを行い確実な設計条件の設定を行った。構造検討では、杭打ちの施工で周辺を航行する船舶に影響を与えず、施工性と経済性で優れる直杭式ドルフィン構造とし、付帯施設の製作期間を含めた施工工程の検討を行って整備期間が想定内に収まることを確認した。</p> <p>さらに、杭の打設において、隣接工区で杭の高止まりが発生していたことから、高止まり対策として、杭の継ぎ位置の変更、並びに杭の押込み及び引抜き抵抗力の不足に備え衝撃載荷試験を立案し試験計画書を作成するとともに、施設を撤去する際の施工検討を実施するなど、施設整備を進める上できわめて有用な成果が納められた。</p> <p>管理技術者は、業務目的や内容を十分理解し、施設利用者及び発注者との意思疎通に努めながら豊富な知識と十分な技術力により、きわめて優れた品質の成果をとりまとめ、受注者の高い技術力、提案力、業務遂行力は、他の業務の模範となるものである。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－62

ふりがな	ふっけんちようさせつけい かぶしきがいはや とうきようししゃ		
会社名	復建調査設計 株式会社 東京支社		
ふりがな	わたなべ しんご	職種	管理技術者
技術者名	渡邊 真悟		
ふりがな	れいわごねんど とうきようこくさいくこうにしがわたりみなるちくえぶろんじばんおよびほそうかいりょうせつけい		
業務名	令和5年度 東京国際空港西側ターミナル地区エプロン地盤及び舗装改良設計		
履行期限	(自) 令和5年5月30日 (至) 令和6年7月31日		
事務所名	東京空港整備事務所		
業務概要	本業務は、東京国際空港西側ターミナル地区エプロンの耐震性の強化に向けて、基礎地盤の地盤改良設計及び舗装改良設計を行うものである。		
表彰理由	<p>本業務は、東京国際空港西側ターミナル地区エプロンの耐震性の強化に向けて、レベル2地震動を対象とした基礎地盤の液化化対策のための地盤及び舗装改良設計を行った。本業務の設計対象箇所は運用中のエプロンであり、現地施工時の運用条件が未確定な状況の中、設計を実施する必要があった。このため、関係機関との調整を密に実施し設計条件の設定を行うとともに、未確定項目においても、現地状況に最大限配慮し最適な設計を実施した。</p> <p>このような複雑な調整かつ長期の履行期間においても、受発注者双方が業務の進捗状況を確認できるよう、毎月進捗報告を実施し、工期内に業務を完了させた。</p> <p>以上のように、現場の状況及び発注者の意向を十分に理解し優れた成果を取りまとめ、業務の履行はもとより、業務に対する真摯な対応について、他の業務の模範となるものであり、優良業務及び優秀技術者として表彰するものである。</p>		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－63

ふりがな	かぶしきがいしゃ えこー		
会社名	株式会社 エコー		
ふりがな	はせがわ いわお	職種	管理技術者
技術者名	長谷川 巖		
ふりがな	れいわごねんど ちばこうふなばしちくかいはんぼせんしせつだんめんすいりもけいじっけん		
業務名	令和5年度 千葉港船橋地区海岸保全施設断面水理模型実験		
履行期限	(自) 令和6年2月22日 (至) 令和6年9月20日		
事務所名	横浜港湾空港技術調査事務所		
業務概要	本業務は、千葉港船橋地区海岸保全施設の日の出護岸における前面捨石・被覆石の形状変更による越波量及び護岸に作用する波圧等の把握・影響について、二次元水理模型実験を行い、解析検討するものである。		
表彰理由	当該施設は気候変動対策や耐震対策、老朽化に伴う施設更新を、中核市都市機能を保持しつつ整備するものであり、護岸の安定性や防災機能に与える影響を机上検討で評価することが困難であるため水理模型実験を実施した。越波実験に関しては、前面捨石・被覆石の規模による影響及び越波流量を確認した。波圧実験では、全潮位で前面捨石・被覆石形状の違いによらず衝撃砕破の発生を確認するなど、以降の設計に適用する波圧・波力設定のための基礎データを取得し、現設計断面に対しての有用な提案が為され、業務目的を十分に満足する成果を上げた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－64

ふりがな	かぶしがいがいしゃ にゅーじえっく		
会社名	株式会社 ニュージェック		
ふりがな	たかおか よしと	職種	管理技術者
技術者名	高岡 慶人		
ふりがな	れいわごねんど ちばこうふなばしちくかいはんぼせんしせつ（みなとちょうきょうへき）きほんせつけい		
業務名	令和5年度 千葉港船橋地区海岸保全施設（湊町胸壁）基本設計		
履行期限	（自） 令和6年3月13日 （至） 令和7年3月21日		
事務所名	横浜港湾空港技術調査事務所		
業務概要	本業務は、千葉港船橋湊町地区に胸壁として構築されている海岸保全施設の老朽化に伴い、延命化と機能向上を兼ねた改良設計（基本設計）を行うものである。		
表彰理由	設計対象である胸壁の検討にあたっては、工区によって異なる既設胸壁の構造および背面の利用状況を考慮する必要がある。その課題に対し、工区により既設胸壁の前面増厚と背面増厚を使い分け、その構造と利用形態に配慮する検討を行った。 また、最適断面の提案にあたり、諸条件に対応した構造検討を行い、さらに既設胸壁前面の支障物についても考慮した構造の提案や施工手順の提示を行うなど、優れた技術力をもって適切に業務を履行し、業務目的を十分に満足する成果を上げた。		

関東インフラDX大賞
局長表彰の概要及び表彰理由

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5国道6号日立国道出張所管内防災他工事
受注者	鈴縫工業株式会社
発注者	常陸河川国道事務所

工事・業務概要

令和5年9月の台風13号により被災した法面崩壊箇所の復旧と既存の裏面の保護をする工事である。歩道と民地間の極めて狭隘な法面での工事となるため作業員、一般交通、民地耕作者の安全確保のほか、翌台風シーズン到来前に迅速に復旧することが課題であった。
動的な3Dモデルを活用することにより、作業員・重機の導線、規制帯の形状、民地の借地と耕作者の出入りの円滑な検討に寄与した。

表彰理由

<有効性>

復旧工事着手にあたり共有中の車道に常設作業帯を設置する必要があるが、2万台を超える交通量のほか隣接する工業団地への大型車両の交通の安全確保が課題となった。
また、法肩には民地耕作地があり狭隘な借地ヤードでの作業導線と耕作者の安全な出入り確保も課題となった。
このような状況のなかで台風シーズンが到来する9月頃までには崩落法面を復旧しなければならず、迅速な施工が求められた。
今回の工事においては動的な3Dモデルを活用することによって、交通管理者・工業団地関係者・民地耕作者への円滑な説明により早期に合意を得られたほか、揚重・運搬・足場設置撤去等の施工手順を動的に検討することで安全かつ迅速な施工を可能となるなど有効な取り組みであった。

<先進性>

一部が崩落した狭隘な法面であり、着工に際しては安全確保のため立ち入りに制約がある中で施工手順を検討する必要があった。
被災後の地上式レーザースキャナーの点群データを元にモデルを作成することによって地形を早期に把握した。迅速さが要求される災害復旧工事においては先進的な取り組みである。
また、交通規制帯の設置にあたっても視距などの幾何構造設計だけでなく、モデルをアニメーションにすることによって運転手に与える印象を検証することは先進的な取り組みである。

<波及性>

今回復旧した法面は今後の台風や豪雨に備え再度被災することのないよう維持管理していく必要がある。
作成した3Dモデルの主要な点には出来形を実測した空間座標が属性付与しており、定期的な計測に活用することで法面形状の変異を早期に発見することが期待される。
また、崩落の形状や擁壁の構造は被災履歴とともに後世に引き継いでいくことが重要であり、今回作成した3Dモデルや属性情報は他の施設情報とともに体系的に管理していくことが期待される。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5久慈川・那珂川河床材料調査業務
受注者	応用地質株式会社
発注者	常陸河川国道事務所

工事・業務概要

本業務では、久慈川水系及び那珂川水系において、河道計画の基礎データを取得するために河床材料を採取し粒度分布等を調査した。

調査位置は、低水路の河床材料を代表する位置として本川(久慈川・那珂川)では河川の縦断方向1Km毎に3箇所ずつ選定し、支川(里川・山田川・涸沼川・桜川・藤井川)では、河川の縦断方向1Km毎に1箇所ずつ選定した。陸上部では河床表面の最大粒径に応じて、100mm以下は容積法、100mmより大きい場合は線格子法で粒度分析を行った。水中部では潜水土による河床材料を採取した。調査で得られた河床材料の粒度特性は、特異値を検出した上で既往調査や既往洪水との対比も含めて分析・評価した。代表粒径は、ポピュレーションブレイクにより設定した。本業務で実施した格子法は現地での人による粒度測定作業が主体で多くの労力を要しており、画像粒度解析に代用できれば現地では画像撮影のみで大幅な生産性向上が期待される。一般的な画像解析では礫の面的な形状を読み取るのみであったが、AIを活用して礫の奥行きを推定することで粒度の推定精度向上を図った。検証の結果、一定の精度がある粒度分析が実施できることを確認できた。

表彰理由

<有効性>

本業務では、「河床材料調査の効率化に向けたAI画像粒度解析の適用」について取組みを行った。

河床材料調査の手法には容積法や格子法があり、河道内で砂州を対象に試料採取(室内で粒度試験)や粒径測定等の作業を行うものである。河床材料の粒径が大きい場合には格子法を適用し、現地で等間隔に採取した100個の河床礫の寸法(長径・中径・短径)を測定する。

河床材料調査は現地作業が主体であり、河道内作業であるため特に出水期中は河川水位の状況を監視しながら作業をする必要がある。また、高水敷の樹林化などによって、砂州へのアクセスも容易ではない場合が多い。さらには、礫径が大きくなるほど寸法測定の作業も重労働となる。このように、現地調査に多大な労力を要する。

一方で作業自体は礫の寸法を測定する単純作業であり、これを画像解析で代用することができれば、河床材料調査の効率化に向けた大きな第一歩となる。

<先進性>

過去の画像解析は、上方から撮影した河床の画像に対して礫の寸法を測定するものである。当然ながら、礫の鉛直(画像では奥行き)方向の寸法を測定することはできない。

格子法の礫の粒径は、長径・中径・短径を乗じた値の三乗根で算出される。つまり、礫の奥行きを測定することで粒径の測定精度が高まる。特に扁平な形状をした礫は奥行きの測定が重要である。本取組みは、上方からみた礫の2辺に加えてAIを活用して礫の奥行きを推定した画像粒度解析である。

適用した三次元奥行推定粒径解析は、360度動画を用いた画像解析技術で礫の奥行方向の寸法を推定するものである。SfM技術や深度推定技術を活用し、複数の視点からの画像を統合することで礫の三次元形状を推定する。

那珂川29k右岸の寄り州をフィールドに格子法と画像解析を比較したところ、現状の技術でも12mmより大きい礫径に対しては格子法と同等の結果が得られることが確認され、新たな分析手法として期待される。

<波及性>

現地で動画を撮影するだけで作業が完了するため、現地作業の効率化の効果はすぐに発揮される。河床材料調査手法は河川砂防技術基準で定められているため、まずは河床材料の粒度調査結果にばらつきのある箇所での補間調査等への適用が考えられる。また、従来の格子法による調査間隔を縦断方向に粗くして、画像粒度解析で補間する方法もある。

ドローンの発達により空中写真撮影が容易になった今日において、河道へ立入ることなく奥行きを推定できる画像が撮影出来れば、大幅の作業の効率化となる。さらに、これまでの点の情報から河床全体の面での情報を得ることもつながる。画像解析による粒度測定が一般的となれば、河床材料調査を効率的・効果的に進められると期待される。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5東関東道延方前川地区改良工事
受注者	株式会社加藤建設 東京支店
発注者	常総国道事務所

工事・業務概要

本工事は東関東自動車道水戸線において、茨城県潮来市内で道路土工および擁壁工を実施するものである。受注者は、ICT施工および各種デジタルソリューションツールを活用し、「省力化・生産性向上」という建設業界の喫緊の課題に取り組んだ。

1. **3次元デジタルデータの取得と活用**: 進捗する地形情報を3次元データ化し、AR技術により埋設物を現地に投影することで、手戻りを防ぎ、無駄削減と安全性向上を図った。
 2. **土砂運搬管理の容易化と合理化**: 盛土に対する土砂運搬では、解析技術を用いたシミュレーションソフトで計画立案を効率化し、全ダンプにスマホを搭載して走行位置や積載量をリアルタイムで把握・共有することで、運搬管理を合理化した。
 3. **現場管理事務の迅速化と簡素化**: 現場管理ではタブレット端末に野帳アプリを導入し、図面集約や報告書作成をその場でい、業務を迅速化した。
- これらを通じて現場の効率化を図るとともに、視察者や業界関係者への紹介を通じて業界の魅力向上にも寄与した。

表彰理由

<有効性>

デジタル機器を連携させ、3次元データをクラウド上で一元管理・リアルタイムに見える化することで作業効率を向上させた。これを土量進捗管理にも活用し、手戻りの発生を防止した結果、「毎月6人の測量作業員を削減」することに成功した。さらに、複雑な土砂運搬計画にはシミュレーションソフトを導入し、ダンプや重機の稼働状況・最適配置・導入台数の過不足を事前に把握したことで、「実施工を最適化」した。全ダンプに専用アプリ搭載スマホを設置し、走行位置共有や音声アラート機能により交通事故ゼロを達成した。掘削機にペイロードシステムを導入し、積載確認時間を「1台当たり毎日50分短縮」した。さらに、職員・職長端末と大型電光掲示板を活用した情報共有により、「毎日15分の打合時間短縮」と「20%のペーパーレス化」を実現した。

<先進性>

クラウド上に集約した3次元データを多面的・複合的に活用し、「リアルタイムでの情報共有」を可能にすることで、工事の進捗管理を効率化・高度化させた。また、誤差±20mmの「高精度AR技術により埋設物を現地に投影・可視化」した結果、作業の迅速化と安全性の向上に繋がり、施工の先進性も一段と高まった。さらに、「予実算データに基づくシミュレーション」によって計画立案を自動化し、最適化と省人化を実現させた。「ダンプ搭載の専用スマホとICT建機を連動」させ、事務所内PCや大型電光掲示板、職員のタブレット端末、運転室モニターなど「全デジタル機器と即時共有」を図ったことで、遠隔地でも情報を確認でき、電話連絡や紙媒体による報告の削減にも繋がった。さらに、安全書類や作業予定表などを「アプリで即時処理」することで作業時間と周知時間を短縮し、残業時間の削減と働き方改革にも貢献した。

<波及性>

「3次元データの多面的・複合的な活用」は、複雑な土砂受入れ調整や測量業務への応用にとどまらず、経験の浅い若手職員への教育訓練、関係機関との連絡調整など多様な段階・場面において有効であり、今後の働き方改革を一層推進する手段として大いに期待される。また、「建機シミュレーション」や「運行管理アプリ」は他の多くの工事へも展開可能であり、生産性向上や建設DXの加速に寄与する。さらに、運転手の高齢化に伴う技能や判断力の低下に対応するため、運転支援アラートやルート逸脱警告機能といった「デジタル技術」の必要性は今後ますます高まり、労働力不足を補ううえで欠かせない存在となる。屋内外や遠隔地、時間帯を問わず「リアルタイムに情報共有できるアプリ」は、安全・品質・工程管理の合理化にも寄与し、幅広い分野での普及が見込まれる。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R4国道121号日光川治防災詳細設計業務
受注者	三井共同建設コンサルタント株式会社 北関東事務所
発注者	宇都宮国道事務所

工事・業務概要

本業務は、一般国道121号日光川治防災事業(直轄権限代行)の自動車専用部における工事着手に必要な設計図書を作成すべく、令和4年度までに実施された地質調査、道路予備設計、トンネル予備設計ならびに橋梁予備設計を基にして、鋼とコンクリートの合成床版を有する鋼4径間合理化トラス橋の上部工(L=307m)および高さ54m程度の中空式橋脚の橋梁詳細設計を実施するものである。

なお、本業務はBIM/CIM適用業務(発注者指定型)であり、地質調査結果を含めて業務着手当初より、予備設計から引き継いだ日光川治防災(直轄権限代行区間)全域の三次元データを活用して、発注者との設計打合せや現地踏査、対外協議の円滑化を図るとともに、構造の妥当性検討にて三次元データで設計上情報を管理することで設計・施工の手戻りのないよう効果的な活用を図っている。

また、本業務で作成した三次元データを活用して、日光川治防災(橋梁部)を対象とした景観の検討、後段階への情報伝達、関係者との合意形成を実施した。

表彰理由

<有効性>

前工程の3D測量で作成された点群から赤色立体地図を作成し、色の濃淡で地形の傾斜を判読した。斜面安定解析に必要な断面位置を容易に特定することが可能であり、省力化による生産性向上と作業コスト・時間の短縮を可能にした。また、3次元データとして送り送り事項やその位置を残すことで、一般的な二次元情報のみによる場合と比べて、視覚的に伝達が可能になるため、設計のみならず維持管理においても有効な情報の引継となることが期待できる。

加えて、3Dプリンターから模型を作成し、複雑な高架構造を模型で表現することで、立体的な完成イメージを関係者と共有することを可能にした。これらは、視覚的訴求力の高さから事業説明会等の対外的説明にも活用された。

<先進性>

前工程の地質調査で作成された3次元地質モデルから、任意の地層断面を自動で取得して地質断面を斜面安定解析に反映することで、解析精度と業務効率を高めることを可能にした。

また、模型作成に3Dプリンターを活用することで、手作業の工程が省略可能で、省力化による生産性向上と作業コスト・時間の短縮を可能にした。

<波及性>

本業務では、360°カメラとAR技術で取得した現地データからストリートビューマップを作成し、現地状況の確認漏れ防止とQRコードの活用による関係者間での効率的な情報共有を実現した。360°カメラ画像で現地の状況を確認でき、現地確認不足による設計ミスを防げるため、波及性は高い。

また、三次元データを使用した橋梁詳細設計業務成果品をフリーソフトのAdobe Acrobat Readerで閲覧可能な3D-PDFとして残すことで、将来のソフトウェアリスクを低減して長期に渡って活用を可能とした。後続業務においても同様の取組により一層の効果が期待できる。

なお、三次元データとARの組み合わせも構造物の外観確認のほか、内部資料や対外説明にも活用の可能性が広いことと、精細の程度に差はあれ作成の難易度はさほど高くはないため、後続業務においても同様の取組により情報の蓄積が期待できる。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5日光砂防管内自律飛行型UAVによる点検計画検討業務
受注者	株式会社エイト日本技術開発 東京支社
発注者	日光砂防事務所

工事・業務概要

本業務は、日光砂防事務所管内において、UAVによる砂防施設点検の実施手法の確立のため、UAVによる試行点検を実施するとともに、UAVを用いた砂防関係施設点検計画の検討を行ったものである。砂防施設の臨時点検を対象に、UAVを活用した砂防施設の臨時点検における変状の自動判別の検討、砂防施設の自動判定のためのUAVによる検討用データの取得、臨時点検を想定した顕著な変状の自動判定方法の試行を実施した上で、UAVによる砂防施設の臨時点検システムの検討を行った。合わせて、定期点検についても、UAVによる施設点検の検証や定期点検方法の検討を行い、過年度作成したUAVを用いた砂防関係施設点検計画(案)を更新した。

特に、臨時点検においては、大規模災害後にUAVの画像を用いて、施設の安定性に影響する大きな破壊や亀裂など顕著な変状を対象として、自動的に変状を判定する方法について検討を行い、UAV飛行ルートの設定、撮影ポイントでの画像取得、解析・判定を行う「UAVによる砂防施設の臨時点検システム」の概略設計を実施した。

表彰理由

<有効性>

臨時点検は、災害発生に際して突発的に多数の施設を点検する必要があるが、より安全かつ効率的な点検を行うため、本業務において自律飛行型UAVによる点検計画を検討している。UAVを活用した砂防施設の臨時点検における変状の自動判別の検討においては、UAVにより取得した被災前後の空撮画像を差分解析することにより、施設の安定性に影響する大きな破壊や亀裂など顕著な変状の可能性をヒートマップとして画像中に表現する手法を開発した。

臨時点検を想定した顕著な変状の自動判定方法の試行では、3箇所の施設に対して、それぞれ見逃し率28.8%(日向堰堤)、40.9%(稻荷川山腹工1)、13.1%(稻荷川山腹工2)と施設によりばらつきはあるものの、特に砂防堰堤の袖の変状や側壁護岸の破壊など、大規模な変状が検出できており、一定の有効性が示された。

<先進性>

従来は、ヘリコプターやUAVが撮影した映像を、点検者が撮影時間中を通じて、注意深く視聴する必要があったため、映像チェックに時間を要していた。また、変状の自動判定に関する先行技術においては三次元点群データを用いた手法があるが、データが重く、フィルタリング処理に時間を要することが課題である。また、機械学習(AI)による手法も、精度を向上するために数千箇所程度の教師データが必要である上、過学習の影響により学習に使用していない施設での適用が困難になることがある。

本検討で適用した画像の差分解析を用いる変状の自動判定では、計算処理が軽く、変状判定処理の迅速化が図れる。現場で試行した結果、1施設あたりの画像処理時間は、UAV撮影後10～15分であった。点検者は解析処理された画像を確認するだけで大規模な変状箇所の確認が可能であり、映像閲覧時間の短縮が期待できる。

<波及性>

「UAVによる砂防施設の臨時点検システム」として、まずはコマンドラインで動作するプログラムを開発したが、今後GUIを整備する事により一般的な点検業者が使用できるよう、汎用性を持たせる検討を行った。さらに、本業務で検討した自動判定プログラムは商用利用可能なフリーソフトで構成しているため、特定業者でなくても利用可能である。また、画像差分解析のため、予め平常時に撮影ポイント(ウェイポイント)を設定し、かつ「災害発生前」の写真を撮影しておけば、他流域でも導入は容易である。

従って、日光砂防事務所だけでなく、他の国土交通省の事務所、あるいは自治体等での利活用が期待できる。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5利根砂防降灰量把握手法検討業務
受注者	国際航業株式会社 群馬営業所
発注者	利根川水系砂防事務所

工事・業務概要
<p>本業務は、管内の火山（浅間山、草津白根山）で火山噴火が発生した場合、立入規制区域となる火口近傍で発生する降灰後の土石流の危険性に対して、UAVを活用した自動計測技術等を活用することで緊急調査実施の判断に必要となる降灰厚情報を安全かつ効率的に把握する手法を検討することを目的とし、現地検証を実施した上で調査計画（案）としてとりまとめた。</p> <p>受注者は、①自動降灰厚計測技術（降灰厚計測デバイス）、②垂直離着陸型固定翼ドローン（VTOL）と降灰マーカーを組合わせた計測技術を用いて、立入規制区域内の降灰厚情報を安全かつ迅速に把握するための調査地点を火口周辺の8方位に網羅的に設定した調査計画を立案した。さらに、設定した調査地点を踏まえて、現地検証として、降灰厚計測デバイスの運搬計測試験、VTOLによる降灰マーカー等視認試験を複数箇所で行い、降灰厚計測が可能である調査地点や飛行ルート、及び撮影高度等を繰り返し検証した。その結果、浅間山の立入規制区域において、mm単位の降灰厚を約2時間で計測できることを確認し、火山噴火時の緊急調査を実施する際の省人化と安全・迅速な避難支援を実現した。</p>
表彰理由
<p>＜有効性＞</p> <p>火山噴火に伴う降灰厚が1cm以上となった場合、土石流発生リスクが高まるため、土砂災害防止法に基づき、住民避難支援のため降灰調査を実施する必要がある。従来の立入規制区域の調査は、ヘリ調査、降灰予報、カメラ映像や区域外での有人調査により降灰範囲を推定するため、情報取得に時間や人員を要する等の課題がある。</p> <p>今回実証実験を行った自動降灰厚計測技術（降灰厚計測デバイス）により、区域内の目標地点にデバイスを正確に運搬し、LiDARカメラにより降灰厚を直接計測することで、mm単位かつ2時間程度（準備1時間、飛行・計測30分、撤収1時間）で降灰厚を把握できることを確認した。また、降灰厚計測デバイスが運用できない飛行距離が長い火口近傍は、高画質カメラを搭載したVTOLと降灰マーカーを組み合わせ、1cmの降灰厚が把握できることを確認した。</p> <p>以上より、省人化に加え安全・迅速な調査による避難支援を実現した。</p> <p>＜先進性＞</p> <p>降灰厚計測デバイスについて、近年の噴火実績があり難環境（高標高で風速が相対的に大きい）である浅間山において日本初の実証飛行を行い、風速6m/s、往復4km、比高600mの地点での稼働および、UAV用ウィンチで、目的地点への正確な設置（半径1m程度の誤差）が可能であることを確認し、技術の信頼性について検証することができた。</p> <p>降灰厚計測デバイスは、降灰後にUAVで立入規制区域内に運搬し計測するため、安全性・迅速性・確実性が高く、事前設置や維持管理の費用が不要となる技術である。</p> <p>さらに、立入規制区域外から飛行距離が長い火口近傍調査を実施するために、回転翼と固定翼の長所を兼ね備えたVTOLを使用して降灰マーカーを空撮する実証飛行を行った。その結果、総飛行距離23km、比高800mを飛行し、高画質カメラで対地高度150mから1cmの降灰マーカーが判別可能であることを確認した。</p> <p>＜波及性＞</p> <p>【技術的波及性】</p> <p>降灰厚計測デバイスは、スマートフォンアプリにより誰にでも容易に扱える技術となっている。また、UAV用のウィンチを活用することで、デバイス重量である5kg程度のペイロードを有するUAVであれば、メーカー及び機種を問わず、デバイスを使用することが可能となっている。以上の高い汎用性から、今後は、全国111の活火山での普及が期待される。</p> <p>【社会的波及性】</p> <p>同デバイスは戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「スマートインフラマネジメントシステムの構築」の仕組みも活用して、国土交通省と連携し、検証実験を公表している。また、同省が策定した火山噴火緊急減災計画策定ガイドラインに標準技術として掲載されており、技術研修等での活用が進められている。動画や3次元データは、火山周辺の状況を視覚的に分かりやすく伝えることが可能で、住民の避難支援への貢献が期待される。</p>

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6荒川水系小ヶ谷地点流量観測及び管内測量業務
受注者	株式会社リョーチ
発注者	荒川上流河川事務所

工事・業務概要

本業務では、荒川水系入間川の小ヶ谷地点において低水および高水の流量観測を行い、水位流量曲線(式)を作成した。
近年の気候変動により、大洪水や干ばつといった極端な異常気象が激甚化や頻発化しており、河川計画や管理の基礎資料となる流量観測の重要性はより一層高まっている。これらの背景を踏まえ、株式会社リョーチは「屋外ARシステムおよび三次元空間情報を活用した高水流量観測」を通じて、観測の高度化と安全性精度向上を実現した。

表彰理由

<有効性>

高水流量観測におけるARシステムの活用:従来の高水流量観測では、浮子の流下状況が正常であるかの適否判断を熟達した作業者の主観に依存していたため、一貫性に欠け、観測精度に課題があった。高精度な屋外ARシステムは、スマートフォン画面上において浮子の流下測線と現実の風景を正確に一致させ、浮子の流下状況の良否に対する定量的な判定を可能にさせることで、高水流量観測の高度化に寄与した。

高水出動訓練における三次元空間情報の活用:高水流量観測は、大型台風襲来などに伴う洪水時に昼夜を問わず、強風や大雨といった過酷な条件下で行われる。そのため、観測員の安全確保は最も重要な課題である。この課題を解決するためには、全観測員が出動訓練を通じて適切な安全対策を習得する必要がある。現場では訓練以上に円滑な安全対策を講じなければならない。この出動訓練に三次元空間情報を活用することで、実環境さながらのバーチャル環境での訓練が可能となり、観測員は安全な状況下で実践的な安全対策を学ぶことができる。この方法は、効率的な訓練と安全性の向上を両立するための有効な手段である。加えて、三次元空間情報上の観測所設備にラベルを設けるとともに台帳や写真等の情報を付加することで、流量観測と観測所設備の一元的で効率的な管理に寄与した。

<先進性>

AR技術と三次元空間情報の活用:浮子を用いた高水流量観測における、観測良否の判定が不確実となる課題を解決するため、AR技術を活用した。当該技術は観測データをリアルタイムで視覚化することにより観測結果を迅速かつ的確に判定可能とした先進的な取り組みである。

三次元空間情報(Matterport):Matterportは3Dスキャンカメラやスマートフォンを使用して空間情報を取り込むことにより設備や空間を3Dデジタル化することができる。これにより、現実の空間をデジタルツインとして仮想空間上に再現し、シミュレーションや施設管理の効率化を可能にする先進的な技術である。

<波及性>

AR技術の波及性:AR技術はGNSSアンテナとタブレットを組み合わせたコンパクトなシステムにより、優れた機動性を有する。当該システムにより、タブレット等の画面を通じて三次元モデルと現実の風景を高精度で重ね合わせることが可能となる。その結果、複雑な三次元設計データと現実の位置関係を直感的かつ容易に把握することが可能となり、今後の施工管理や安全管理等の様々な用途での活用が期待される。

三次元空間情報の波及性:三次元空間情報を活用したバーチャル環境下での訓練や付帯のラベルを用いた施設管理は、安全性向上や施設管理の効率化に寄与し、熟練者と初心者間のスキルギャップを埋める役割も果たすことができる。これにより、流量観測分野における観測者の能力向上や新たな人材育成のみならず、他分野での施設管理や安全管理においても幅広く活用されると期待される。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5圏央道高須賀地区改良その4工事
受注者	金杉建設株式会社
発注者	北首都国道事務所

工事・業務概要

本工事は、国道468号首都圏中央連絡自動車道の茨城県つくば市高須賀地区において、4車線化工事における盛土を施工するものである。

主な工種は路体盛土工（ICT）（V=4,600m³）、路床盛土工（ICT）（V=660m³）、軽量盛土工（一式）。

本工事では、事務連絡「デジタルデータを活用した監督・検査等の実施について（試行）」の一例として、路床盛土のヒートマップ出来形のAR（拡張現実）化について検証し、省人化と生産性向上を図り、次世代へ向けた工事検査の簡素化や遠隔臨場での有効性を確認された。

表彰理由

<有効性>

盛土のヒートマップ出来形帳票を用いた現地での確認は、出来形帳票から位置の特定が困難であったが、AR化によって現地での位置指定が容易になり、タブレットを通して現場移動しながら目視するだけで設計値内であるか確認できる。

工事検査の簡素化として遠隔臨場時、AR投影されたタブレット画面を共有して位置を指定し、出来形確認を行った。これによって出来形確認の効率化が非常に図れた。

<先進性>

これまでのICT施工から変化する作業は、ヒートマップ帳票を作成する際の入力が入力システムに入力するところであり、以降は最後の出来形確認まで同様である。

AR化されたヒートマップの確認では、受注者は人力によるテープ等を使用した位置測定作業が一切ないので、AR投影されたタブレットが現場にあれば容易に任意の位置の出来形確認ができる。遠隔臨場では、現地のタブレット持参者に移動してもらい、位置指定の際も、意思の疎通が容易にでき、瞬時に確認位置の対応ができる。

工事検査において、従来では計測する為の人員を含め3人必要であったが、AR投影されたタブレット持参者1名で出来形確認の対応が可能、また計測器具の準備及び測量作業では1時間必要であった時間が15分程で確認が行え大幅な省人化となる。

手直しでは、従来は詳細な位置の共有で半日時間を要していたが、重機オペレーターへの規格値外等の修正指示は、AR化を行ったタブレットを用いる事によって、修正箇所の手戻りや指示間違いが減少となる、また指示が行いやすく1時間程度で修正について共有でき大幅な時間の短縮ができる。

<波及性>

ARシステムを活用することによって、受注者と発注者双方で、多くの利点があった。特に発注者側の利点は、工事検査時にARヒートマップによって現地状況による出来形が従来よりわかりやすく、ARの利点が大いに発揮される。出来形確認時に現場でAR投影されたタブレットを見ながら確認を行ったが、実際に確認しているものはタブレット画面であり、遠隔臨場でも同様のクオリティであれば、従来までの遠隔臨場による測量機械の数値を読むものやテープで数値を読むものと比較すると技術的に大きな進歩であった。

今回施工での目的は盛土ヒートマップをAR化であったが、軽量盛土（発泡スチロール）や仮設材も同様にAR化しタブレット画面で表示を行い、現地にて施工前の施工ステップ確認や安全教育などにもAR投影は活用できた。

映像や3Dプリンターにて出力したものを用いて、会議室で打合せを行った。こういったものは住民説明等で大きな役割を果たしていくものである。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5国道4号東埼玉道路橋梁詳細設計(その3)業務
受注者	JR東日本コンサルタンツ株式会社
発注者	北首都国道事務所

工事・業務概要
<p>本業務は、国道4号東埼玉道路の自動車専用部における工事着手に必要な設計図書を作成するため、令和4年度までに実施された道路予備設計ならびに橋梁予備設計を基にして、鋼とコンクリートの合成床版を有する上下線分離構造の上部工(L=218m,L=171m)およびPC梁含む張出し式橋脚の2橋の橋梁詳細設計を実施した。</p> <p>本区間は一般部と自動車専用部(高架)がランプで接続する構造であり、既に一般部が供用済みであり、中央部に自動車専用道路を施工する計画である。</p> <p>詳細設計に当たっては、隣接する供用済みの一般部の交通の離隔、建築限界の確保、埋設管への影響等の検討が重要であり、これらの検討にCIMを有効活用した。</p> <p>また、自動車専用部の施工計画の検討にCIMを活用した。</p>
表彰理由
<p><有効性></p> <p>設計対象区間上には東京電力の電線があり、離隔の確保が条件となるため、構造計画、施工計画にあたり、①点群測量を実施→②統合モデルへ組込→③構造計画と施工計画へ活用した。</p> <p>また、現地踏査にて、現地と予備設計モデルを重ねたARを活用することで、現地にて構造物と周辺状況のイメージを共有し、周辺利用状況や支障物干渉などを確認し、後設計へ活かすことができた。</p> <p>さらに、関係機関協議において、橋脚と料金所等の施設の取合いなどを3Dで示すことで、相互理解の促進ができ、円滑な協議を実施することができた。</p> <p><先進性></p> <p>BIM/CIMモデル等をクラウド上で統合・共有・活用できるソフトを選定し、本業務の統合アプリをクラウド上で共有、活用した。誰でも必要なタイミングで活用でき、発注者－受注者間での情報共有や、発注者内の各種資料にも活用することができた。</p> <p><波及性></p> <p>施工計画に時間軸を入れた4Dモデルを作成した。これにより施工計画を視覚化し、情報を共有化することで、全体施工計画への展開や今後の工事発注業務への活用が期待される。</p>

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5利根川左岸荒波樋管新設工事
受注者	岡田土建株式会社
発注者	利根川下流河川事務所

工事・業務概要
<p>本工事は、利根川下流河川事務所銚子出張所管内の茨城県神栖市波崎地先で、荒波排水樋管を新設する工事である。当該区間は、令和元年台風19号により浸水被害が発生した無堤防区間の整備で、地元より早期完成が望まれる箇所である。</p> <p>本工事では、地盤改良を伴う樋管(幅3.6m×高2.0m)で、①CIMモデルを活用し、様々な職種の下請け業者との施工段取りの打合せや安全教育に活用した。②樋管函体施工後に3次元計測技術を用いた出来型管理を実施した。③門柱部等のコンクリート構造物を築造する時にAI配筋検査システムを活用した。</p>
表彰理由
<p><有効性></p> <p>①従来は、図面や紙資料での打合せのため、認識の共有にずれが生じたり、時間を要していたが、CIMモデルを使用することで、ARを活用し現場でタブレット見ながらBHオペレータと複雑な床堀形状を確認したり現場イメージの共有が早く、元請けと下請けの認識ズレがなくなり、認識の共有が早くなり、打合せ時間の短縮することが出来た。</p> <p>②従来、構造部の出来形は、検尺テープ等により計測していたが、函体完成後に地上レーザースキャナー(TLS)で構造物の計測することにより、PC上で任意の箇所の幅、高さ、厚さが表示されたため、表示値を出来形管理表に入力し、管理することで、出来映えの評価、また、計測時の安全性とともに生産性の向上に寄与した。</p> <p>③従来、樋管などの重要構造物では、鉄筋組立完了時に段階検査を実施している。これまでは、検査する鉄筋にテープでマーキングし、鉄筋径や鉄筋間の寸法をノギスやメジャーで確認していた。AI配筋検査システムでは、専用のタブレット端末で、鉄筋組立完了時に鉄筋を撮影。設計値との整合が表示され、出来形管理図表まで自動作成されるため、約78%の時間が削減され生産性が向上した。</p> <p><先進性></p> <p>①利根川下流河川事務所管内でも、CIMモデルを活用し、下請け打合せなど利用されているが、ARを活用し現場でタブレット見ながら、現場イメージを確認している現場は少なく、先進的な取組である。</p> <p>②3次元計測技術を用いた出来形管理も、管内で初めて実施され、先進的な取組である。今後、AI配筋検査システムのように他の現場でも、出来映えの評価や安全性、生産性の向上することが出来るため、波及が見込まれる。</p> <p>③AI配筋検査システムも、管内で初めて実施され、他の現場でも使用するなど波及している先進的な取組である。</p> <p><波及性></p> <p>受注者は、ICT経営者セミナーなどの機会、ICTの活用事例を紹介し、担い手確保、生産性向上の推進している。下請けで使用することで、地域での他工事での活用も見込まれ、地域の建設業全体の生産性向上、担い手確保、働き方改革にもつながり、業界全体への波及が期待される。</p>

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5北千葉道路(市川・松戸)トンネル詳細設計業務
受注者	中央復建コンサルタンツ株式会社
発注者	首都国道事務所

工事・業務概要
<p>本業務は、北千葉道路(市川・松戸)の開削トンネルにおいて、トンネル上部の国道計画や1級河川の橋梁計画を反映した開削トンネルの詳細設計と、開削トンネルの施工時、完成時で三次元浸透流解析及び圧密沈下解析を行い、施工時、完成後とも地下水流動保全対策が必要であることを把握し、対策工を立案した。</p> <p>本業務はBIM/CIM活用業務(発注者指定型)であり、受注者は地下埋設物や土層、並行業務の国道や橋梁計画を3次元モデルに取り込み、地下料金所を含めた複雑なトンネル構造、仮設計画、急傾斜地や現道交差部、河川交差部の施工計画を3次元でモデル化した。また、受注者の提案により①開削トンネルの施工ステップや仮設計画をメタバース空間に再現、②施工時の切回し道路において3次元の自動車走行シミュレーションを実施、③2次元バーコードを読み取ることで3次元モデルを360° 閲覧できる3次元閲覧システムを活用し、設計打合せや合同現地踏査、対外協議で円滑にイメージの共有を図ることができ、施工計画の妥当性や国道、橋梁計画とトンネル計画の整合性を簡単に確認することができた。</p>
表彰理由
<p><有効性></p> <p>①メタバース空間に、開削トンネルの鉄筋組立、止水板設置、コンクリート打設の施工ステップや仮設計画を再現した。複数名が同時にメタバース空間で3次元モデルを確認できるため、例えば施工前の発注者、施工者、設計者の3者協議において、施工の留意点の共有や工事の手戻り防止、安全確保等に寄与できる。</p> <p>②3次元の自動車走行シミュレーションは、走行速度、日照状況、視点を設定でき、例えば、夜間の道路照明の設置有無による視認性や走行性を設計段階から確認することができ、現地状況に応じた交通安全対策の検討が可能となる。</p> <p>③3次元閲覧システムは、専用ツールを用いずに2次元バーコードを読み取るだけで、誰もが容易に3次元モデルを360° 好きな方向で閲覧でき、完成時や施工時のイメージの共有が容易となる。例えば、地元説明会、関係機関協議で配布する資料や事業用地の看板に添付することで、複数の方に事業概要を説明することが可能である。</p> <p><先進性></p> <p>①メタバース空間での施工ステップや仮設計画の再現、②3次元走行シミュレーションともに、図面では伝えきれないリスクを3次元(①は3次元空間)で複数の視点で確認することにより、円滑な合意形成に寄与できることに先進性が認められる。</p> <p>③これまで3次元モデルの閲覧には専用ツールが必要であり、誰もが手軽に確認することが困難であった。今回実施した2次元バーコードによる3次元閲覧システムは、専用アプリのダウンロードは不要で、誰でもスマートフォンやタブレットと2次元バーコードを活用して、容易にモデルが確認できる点に先進性が認められる。</p> <p><波及性></p> <p>①メタバース空間での施工ステップや仮設計画の再現、②3次元走行シミュレーションともに、様々なリスクシミュレーションに活用可能であり、高い波及性が認められる。</p> <p>③3次元閲覧システムは、3次元モデルで作成したあらゆるデータの読み込みが可能であり、例えば①②のスナップショットも本システムで閲覧することが可能である。今後、関係機関協議や地元との合意形成に有効で、工事の出来形確認時にも手軽に3次元モデルの閲覧が可能となり、今後様々なシーンで活用が見込まれることから、高い波及性が認められる。</p>

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5千葉国道管内トンネル及び構造物点検M7業務
受注者	応用地質株式会社
発注者	千葉国道事務所

工事・業務概要
<p>本業務は、木更津管内の交通量の多い一般国道127号に位置する13トンネルの定期点検で、多くの点検員による人海戦術となることや当該路線は交通量6000台/日以上で夜間も大型車両が通行し点検時間は限られるため、近接目視と打音検査に点検支援技術を活用し、点検精度の向上、変状位置の正確な把握、作業効率化に総合的に取り組んだ事例である。</p> <p>①近接目視の支援として、3Dトンネルレーザ計測システムを用いて覆工面全方位の点群データを高精度で計測した。その点群データを解析して覆工展開画像を取得、画像に記録された変状をAIで抽出し、変状の見逃し防止と高品質な点検結果を作成した。他の点検作業と同時に計測可能な本システムは10m毎に3分間の計測を行う。通常の人カスケッチは10分間かかるため、作業時間は1/3に短縮でき作業が効率化となり、所定時間内で作業を終えることができた。</p> <p>②打音検査の支援として、AIによる打音検査診断システムにより打撃力波形を取得し、AIでリアルタイム波形解析し、定量的で高品質な打音診断を行った。市販品を活用でき簡単な操作で点検員を選ばないことから生産性向上や働き方改革にも通じる。</p>
表彰理由
<p><有効性></p> <p>対象トンネルは吹付け工で内巻きされ覆工表面が一様な見た目であるため、ひび割れやうきなどの変状を見逃しやすい。</p> <p>①3Dトンネルレーザ計測システム(NETIS登録番号KT-170093-A、点検支援技術番号TN010013-V0222)は、点検時に覆工にマーキングした変状の形状や既往対策工や附属物の位置について、レーザースキャナを用いて高精度かつ高速に三次元点群データを取得する技術である。取得された三次元点群データは専用ソフトで解析し覆工展開画像を自動で作成、AIで変状を抽出することができ、点検調書を効率的かつ高精度に作成することができた。</p> <p>②打音異常の有無を判断する打音検査は点検員の個人差が生じやすいが、AIによる打音検査診断システム(TN020021-V0023)を用いて打撃力波形を計測、AIでリアルタイムに診断支援することで、個人差を解消でき打音検査を高品質化できた。</p> <p><先進性></p> <p>①実用されている画像計測技術の多くは、カメラ撮影時に覆工表面の照度を高くするため対向車両への影響が懸念される。複数のカメラを配置するため、画像のつなぎ合わせが必要で画像内にはひずみが生じる。一方、3Dトンネルレーザ計測システムは、人体に影響がない赤外線レーザ計測であり、安全で計測時に覆工を照らす必要はなく対向車両への影響はない。計測した三次元点群データを二次元に変換する解析を行い画像化できるため、カメラ撮影のようなつなぎ合わせが不要で、ひずみが無く位置精度の高い覆工展開画像を取得でき、覆工展開画像から変状をAIで自動抽出することも可能である。</p> <p>②AIによる打音検査診断システムは、変状種類別に打撃力波形をAIに学習させ、変状の程度を診断支援できる。騒音など周辺環境の影響を受けない計測で、定量的であるため、点検員の技量に左右されない診断が可能である。これらの点に先進性がある。</p> <p><波及性></p> <p>3Dトンネルレーザ計測システムとAIによる打音検査診断システムは市販品で計測可能で作業に専門性を必要としない。機材や作業員の調達がしやすく、低コストで工程の調整も容易な導入しやすい技術であることから、市場への波及効果は高いと言える。</p> <p>特に3Dトンネルレーザ計測システムで取得できる覆工展開画像は、維持管理の基礎データとなるため、次の観点で維持管理の高度化に対する波及効果も期待できる。</p> <p>a)次回点検時の活用: 次回点検前に覆工の状態を確認できるため、定期点検の生産性と品質の向上の両立が可能</p> <p>b)補修設計および対策工事時の活用: 対策位置周辺の附属物の配置なども含めた状況を予め把握でき、設計ミスの予防、工事時の仮設や養生の検討が可能</p> <p>c)外力作用時の変形問題の検討: トンネルに変形が生じた場合、点群データの再計測と前データとの比較により変形量が把握でき、外力診断や必要な対策工の検討が可能</p>

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R2国道246号渋谷駅周辺地下道工事
受注者	東急建設株式会社
発注者	東京国道事務所

工事・業務概要
<p>本工事は、渋谷駅西口において、歩行者の利便性向上、道路交通の円滑化のため、国道246号の地下空間に再開発ビルと渋谷駅を結ぶ歩道及び車路の建設、また渋谷駅東口においても渋谷駅地下広場と再開発ビルを結ぶ地下歩道を建設する工事である。</p> <p>渋谷駅西口の地下道工事は、渋谷駅に隣接し、上空には首都高速道路、地上には約7万台／日の国道246号、地下には、地下埋設物が多数存在する狭隘な空間での施工が必要であった。そのため、ボックスカルバートの施工において、VRや3次元モデルを活用した4Dシミュレーションにより、機材の配置、材料の投入位置や据付手順等の確認を行い、施工計画の最適化を行った。</p>
表彰理由
<p><有効性></p> <p>本工事では、新たな建設現場の生産性向上(省人化)の取り組みとして、国土交通省が推進する「i-Construction2.0」の建設現場のオートメーション化のうちデータ連携のオートメーション化として、3次元モデルに時間軸を組み込んだ4Dシミュレーションを活用した施工計画の最適化、VRによる施工検討を実施することで、プレキャスト部材の据付日数を4Dシミュレーション実施前に対して約40%短縮することで生産性の向上を実現できた。</p> <p><先進性></p> <p>本工事は、国道246号の地下空間に地下歩道等を構築する工事であり、上空には首都高速道路・歩道橋、地上には約7万台／日の国道246号及び地下埋設物などが多数存在する狭隘な空間で施工する必要があった。そのため、ボックスカルバートの施工において、3次元モデルに時間軸を組み込んだ4Dシミュレーションの活用により、時間的制約・空間的制約下の機材の配置、材料の投入位置や据付手順等の確認を行い施工計画の最適化を行った。またVRによる施工検討を実施し、工法・工程の妥当性検討、施工手順・計画を視覚的に把握することで、施工段階での手戻り防止、施工中の危険箇所の確認を行うなど、先進性の高い取り組みを行った。</p> <p><波及性></p> <p>上空施設がある箇所、狭隘な施工箇所、また規制時間の限られた箇所等、制約の多い施工現場において、BIM／CIMによる3次元モデルデータを活用し、時間軸を組み込んだ4Dシミュレーション、VR施工検討を実施することで、事前に施工状況等の把握・検討を行い、施工計画の最適化により、生産性向上を図ることができるため、今後、他現場でも広く活用が期待される。</p>

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5国道20号八王子南BP館地区改良その22工事
受注者	中部土木株式会社
発注者	相武国道事務所

工事・業務概要
<p>本工事は、東京都八王子市館町において、一般国道20号バイパスの場所打ち擁壁及び補強土壁等を構築し、殿入川の改修を行うものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地盤改良工 ・場所打擁壁工 ・場所打擁壁工 ・ジオテキスタイル補強土壁工 ・プレキャストカルバート工
表彰理由
<p><有効性></p> <p>建設業の就業者数は年々減少傾向かつ高齢化さらには時間外労働規制の課題がある、本工事では各施工過程において積極的にDXを取り入れ省力・省人化を図り、休日の確保・残業時間の縮減を達成することで、若手・女性技術者へむけた働き方改革や魅力ある建設現場を目指し、活用した結果から成果が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CIM3次元モデルを基本に、レーザースキャナによる起工測量と出来形計測 ・3次元配筋出来形計測ツールにより施工や計測時間の短縮。 ・現場と本社をリアルタイム接続しデータ共有環境を整備、社内職員が遠隔資料作成することで、現場職員の負担軽減。 <p>これらにより、通期での土日休日確保、従来平均40時間／月の残業を20時間／月へ削減</p> <p><先進性></p> <p>DX実施に際し、データ作成・処理・計測については外注せずに社員が実施する内製化とすることで、施工後即計測や出来形不良の即確認が可能となり、外注待ち時間等ロスタイムを削減した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3次元計測から帳票作成 外注5営業日 内製即日対応 ・天候不良での再計測 外注3営業日 内製即日対応 <p>社内にDXを専門に扱う担当部署を設け一元的に効率的な処理を実施。人材に新たに元CADオペレータを採用するなどして、成果が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ作成・処理の専門知識により時間短縮 ・従来からの建設関係以外の採用が可能となり、新たな人材確保 <p><波及性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデータを起工測量～施工～出来形計測～帳票作成まで一連工程化し習熟することで、様々な施工現場に展開 ・デジタル機材を取り扱うことで若手社員のやる気向上、イメージアップにより新入社員の獲得に貢献 ・DX専門部署を設置したことで、他工事に積極的に導入 <p>などによって、波及効果が期待される。</p>

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6J相武国道管内道路管理効率化検討他業務
受注者	株式会社オリエンタルコンサルタンツ
発注者	相武国道事務所

工事・業務概要

本業務は、相武国道工事事務所管内における道路の降雪対応にCCTVの情報からスタック等の異常事象を予測する手法の確立に向け、複数のAI技術を組み合わせて、試験運用を実施したうえで、スタック等の短期予測システムを立案した。

受注者は、①生成AI技術を用いて、降雨、降雪及び霧等のCCTV画像を鮮明化し、その画像から交通密度をAI技術で数値化し、CCTV間の交通密度の相関関係の乱れから異常を検知する早期予測モデルを構築した。当該システムで試験運用を行い、交通事故及び道路工事等における異常事象発生時の事後検知の有効性を検証できた。②構築したシステムは、CCTV情報のみを使用し、スタンドアロンで運用可能なため、複数の入力データ欠測等によるシステムの無効化等の頑強性が高く、加えて情報通信ネットワーク外との非接続によるセキュリティ上優位である。また当該システムは、動画ではなく、静止画像から交通密度を取得し、交通密度の相関異常を検知するシステムを構築したことから、1台のサーバーで、これまで以上のCCTV台数の接続が期待できることに大きなメリットがある。

表彰理由

<有効性>

道路管理に不可欠な設備（インフラ）であるCCTVカメラの設置が進展しているが、一方で、監視員の人数は限定的・複数業務の同時遂行により、常時監視が困難な状況にある。異常時対応は実務経験年数による判断差が存在している。現状を解決するために、短期予測システムを構築した。画像処理技術と異常検知アルゴリズムを活用し、CCTVカメラの視認範囲外の短期予測・事後検知を実現し、業務の効率化、リスク回避及び労働環境の改善に寄与するものである。機器を設置した試験運用は、管内の20箇所のCCTVカメラを対象に、本年1月20日から2月20日の32日間で実施した。試験運用期間に降雪が無かったため、対象CCTV近傍(2km程度)の交通事故・道路工事に関する事後検知の有無を検証した。結果は、交通事故は8件発生し、異常度は、全てで0.24以上、道路工事は40件全てで0.24以上を検出し、システムの有効性の確認ができた。

<先進性>

疎構造学習モデルを用いた異常検知は、CCTVの静止画像からAI画像認識技術を活用して道路上の交通密度を数値化し、相関関係の乱れから異常を検出する。通常時の各CCTV間の偏相関関係を基準に、CCTV近傍(～2km程度)の異常時の変化を検知する仕組みである。疎構造学習モデルは、教師なし学習モデルで、5分ごとに約20台のCCTV画像を解析する。交通密度が閾値を超えた場合に異常としてアラートを発出する。CCTV画像を入力値とした疎構造学習モデルを適用した事例はなく、先進性のある事例である。加えて、複数(5種類)のAIの要素技術をすり合わせ・統合し、高度化することでスタンドアロンのシステムを構築した。大きな優位性として動画ではなく、静止画を取り扱うことから、1台のサーバーで、これまで以上のCCTV台数の接続が可能である。

<波及性>

開発した短期予測システムは、CCTVシステムへの負荷なしでの短期予測システムの導入が可能である。導入メリットは、①低コストで高い効果が得られる、②DX技術による監視員の負担軽減できる、③異常区間の情報取得による業務の効率化、リスク回避及び労働環境の改善に寄与する。本格運用による維持管理上の課題発見と他事務所への展開が期待できる。生成AI技術による悪天候・夜間画像の鮮明化することで、日常での詳細な確認が可能となる。スタック・道路冠水の短期予測、交通に影響を及ぼしている道路工事・倒木・土砂崩れ・交通事故等の事後検知が可能となり、本格運用への期待ができる。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6京浜管内水辺現地調査(河川空間利用実態調査)業務
受注者	株式会社建設環境研究所
発注者	京浜河川事務所

工事・業務概要
<p>本業務は、「河川水辺の国勢調査」の一環として、河川における空間利用実態の把握を目的に、河川空間利用実態調査及び川の通信簿調査を実施した。</p> <p>河川空間利用実態調査では、計7回調査を実施し、多摩川水系、鶴見川水系、相模川水系における利用者の実態把握及び年間利用者数の推計を行った。また、近年の気温上昇が利用者数に及ぼす影響についても分析した。調査の結果、年間利用者数は、多摩川水系が約1,579万人、鶴見川水系が約400万人、相模川水系が約73万人と推計された。多摩川水系では高水敷に整備されたグラウンド等で特に多くの利用がみられた。鶴見川水系では堤防上での散策利用が多くみられた他、公園等でのスポーツ利用がみられた。相模川水系は、他の2水系に比べて水面・水際の利用割合が高く、水上バイクやサップ等の特徴的な利用がみられた。また、AI技術を用いたUAV撮影画像による利用者数の自動カウントを試行した。</p> <p>川の通信簿調査では、11点検箇所において、市民参加型のアンケート調査を実施した。また、各箇所の点検結果を通信簿にまとめるとともに、点検箇所や河川の名所等のイラストを掲載した親水マップを新たに作成した。</p>
表彰理由
<p><有効性></p> <p>「多摩川緑地福生南公園周辺」(多摩川左岸48.3k~49.2k)にて、ドローン撮影により公園内の画像を取得し、取得した画像からAI技術により公園利用者を識別し自動カウントする技術を試行した。</p> <p>ドローン撮影は高度50mで行い、UAV撮影画像から深層学習の基本的な物体検知モデルの1種であるFasterRCNNを用いて人間を検知して河川利用者数カウントした結果、適切な撮影計画を立てることで、UAV画像でも十分に利用者のカウントが可能であった。従来、河畔林や高茎草地で視界が遮られる水辺では、目視による利用者の確認が困難であったが、UAV及びAIを用いる調査方法の有効性が確認された。</p> <p><先進性></p> <p>管内の多摩川・鶴見川・相模川において、総延長約1,500kmに及ぶ広範な区間を対象に、河川空間利用実態を把握するための大規模な調査となっており、四季を通じて年7回、日の出から日没まで2時間ごとに利用者を集計する調査手法は、調査員の長時間屋外作業による熱中症リスクや、全国一斉調査における人員確保など、運用面で課題があるなかで、ドローンを用いた河川利用者の自動認識技術の試行については、他現場で実施された事例がなく、先進性のある事例であり、今後、調査の効率化が期待される。</p> <p><波及性></p> <p>本試行を踏まえ、今後ドローン飛行が可能な地区について全国展開することで、さらなる省力化が図られ、波及効果も大きいものと期待される。</p>

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5新山梨環状道路実施設計業務
受注者	株式会社 総合技術コンサルタント
発注者	甲府河川国道事務所

工事・業務概要

新山梨環状道路は、甲府圏域内の幹線道路の慢性的な交通渋滞緩和や事故削減を目的として計画された、環状道路の一部をなす延長17kmの国道20号のバイパス事業である。そのうち広瀬～桜井は、甲府市東部の市街地を通過する道路事業で、交通容量確保による交通渋滞緩和と、交通渋滞に起因する交通事故の減少を整備の目的とした、笛吹市石和町広瀬から甲府市桜井までの延長2.0kmの道路である。

本業務においては、国道20号新山梨環状道路(広瀬～桜井)および現道部において、過年度成果に基づき、道路工事に必要な平面・縦横断・小構造物等および一般構造物の実施設計を行い、各工種別数量計算を行ったものである。DX関連として、既存モデルの照査・修正、後工程を考慮したデータの引き継ぎ方法の検討、プロジェクト管理ツールを導入した事業工程管理データの作成をおこなった。

表彰理由

<有効性>

【3Dモデルと事業工程表を連携した、事業進捗の可視化】

現行では、設計段階で作成された3次元統合モデルは、出来上がりイメージの確認や関係者説明として活用されることが多いが、業務を跨いだ活用が出来ていない他、事業工程表単体では進捗や今後の展開が読み取りにくく、関係者全員が理解しやすい表現方法が必要であった。

本業務では、事業工程のクリティカルを設定することで、事業工程の更新に伴う工程の不整合が生じることがないようにし、統合モデルと連携することにより、事業工程に沿った進捗状況や事業展開の可視化により、知識の幅や深度に関わらず事業への理解が容易となるため、あらゆる場面での活用が期待される。

<先進性>

【手動更新・修正作業から事業工程管理の自動化】

現行の事業工程表は表計算ソフト等で作成・管理されることが一般的であるが、作成・更新作業は基本が手作業であるため、更新に手間・時間がかかるだけでなく、ミスや手戻りが生じやすいという課題があった。

本業務では、プロジェクト管理ソフトを活用し、新たに事業工程管理データの作成を実施した。

これより工程表のプログラム化が可能となり、一つの工程に生じた変更に対して関連する工程が自動更新されるため、更新作業の省力化・影響するタスクの明確化及び工程検討の効率化が期待される。

また、用途に合わせて自由にプログラムを組むことが可能であるため、工程表の利活用及び関連情報を紐づけた一元管理が期待される。

<波及性>

【統合モデルの更新データの規則化】

モデル更新作業および工事への引継ぎ等にあたり、モデル内オブジェクトの名称に関する規則等はないことから、自由に設定可能なため、引き継ぎ・部分更新等にあたりデータ整理に手間がかかる状況であった。本業務では、更新作業・活用等における省力化に向けて、統合モデルの更新データの規則化のためのオブジェクト名称の命名規則(案)を提案した。

また、「BIM/CIMモデル事前協議・引継ぎシート」運用により業務間のデータ引継ぎを行っているが、「いつ」「誰が」「何処を」「何を参照して」更新されたデータなのかわかりにくい状態であった。そこで、現行の《事前協議・引継ぎシート》に加えて、後作業でそれらの更新状況が把握できるように提案した。

これらの提案は、統合モデルの更新データの規則化に際して寄与するものである。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5富士川砂防自律飛行型UAVによる点検計画検討業務
受注者	株式会社パスコ 山梨支店
発注者	富士川砂防事務所

工事・業務概要
<p>富士川砂防事務所管内における砂防施設の人力による定期点検において、対象となる705基の多くは山間部の狭隘な箇所であり、施設までのアクセスに時間を要することや、点検自体も急勾配な法面や高低差による転落及び溪流を横断することにより施設自体の点検にも時間を要することや転落など点検要員に対する安全性確保が課題となっている。このため、本業務ではUAVによる自律飛行を活用した砂防施設の定期点検の試行を行い、定期点検における効率化の程度や安全性について検討を実施した。またUAVを定期点検に適用していくために過年度作成した富士川砂防事務所の「UAVを活用した定期点検要領(案)」の検証を行い、運用上の課題を抽出し対応策を検討して、砂防施設点検へのUAV導入の目的の一つである「現地作業の効率化」を達成するための改善を実施した。</p>
表彰理由
<p><有効性> 管内の34施設を人力点検とUAVによる自律飛行による点検との比較を行い、UAVによる施設点検にいて次のような有効性が確認された。</p> <p>①人力点検と施設毎にUAVの自律飛行ルートを設定済みでの場合との比較で、UAVによる点検の効率化が確認されUAVのみ点検可能な施設で最大約79%、平均で38%効率化となった。また、樹木の繁茂や損傷箇所の部位により人力での補足点検が必要な施設においては、最大で約54%、平均で31%効率化となり、一部分人力補足点検が必要な施設も含めてUAVでの自律飛行による点検は従前の人力点検と比較すると効率的で有効性がある。</p> <p>②急勾配な法面や流水部分及び砂防堰堤の袖部や水通しの部への高低差のある場所への立ち入る必要がなくなることから、大幅に安全性が向上することは砂防施設点検においては非常に有効性がある。</p> <p><先進性> ①UAV点検の管内全施設への適用性把握 過年度業務における点検試行結果及びオルソフォト写真により管内の点検対象施設である705基について適用性を確認し、約39%の273基が有効、約61%の432基は非有効と判断され、全施設におけるUAV点検の適用性を確認したことは先進的である。</p> <p>②UAVの現地作業効率化 UAVの運航は操縦者、補助操縦者、監視員の3人以上の体制としていることが多い。現状の人力点検は2人で実施している。このためUAVの点検を目視飛行で自律飛行とすることで、2人体制(操縦者及び監視員を兼ねた操縦補助者)での点検を可能にして効率化を図ったことは先進的である。</p> <p>③UAVの飛行精度確保効率化 UAVは稀に10mを超えるような誤差が発生するため、各施設の点検開始時に砂防堰堤の水通しの側端部を検証点として設定し、汎用機で精度の確保を可能にしたことは先進的である。</p> <p><波及性> 点検精度確保の簡略化・効率化 UAVによる点検では人力点検と比較すると必要によりズーム機能により詳細に確認したい箇所は確認もできるが、施設に間近まで接近できないため明瞭かつ定量的な点検ができない。しかしながら砂防関係施設点検要領(案)ではa、b、cの3段階評価であり、定性的な評価となっている。よってUAV点検においては、過年度より変状が拡大するなどUAVで検知可能な規模へ拡大しているか否かについて確認できれば良いこととし、また新しい変状についてもUAVで確認できなければ変状なしで評価することとした。これにより、よりUAV点検の利便性が高まり全国の砂防施設点検において波及していくことが想定される。</p>

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6道路防災診断等業務
受注者	基礎地盤コンサルタンツ株式会社 千葉支店
発注者	関東技術事務所

工事・業務概要
<p>本業務は、災害履歴や気象データを基に斜面や構造物の経年的な変状や防災対策完了後の経過等进行分析・整理し、その結果を踏まえ有識者等が防災カルテ点検継続の有無について診断・評価するものである。業務遂行にあたっては、現地確認の効率化及び点検・診断の高度化により効果的な予防保全対策に繋げることも重要な目的として取り組んだ。具体的には、地形的な潜在リスク箇所を抽出するための航空レーザ測量(LP)による高精度地形図と衛星SAR解析、擁壁壁面全体の変状を定量把握するためのMMS、急傾斜地での危険斜面のストリートビュー化、落石・転石等の危険源の3D可視化技術を適用した。特に衛星SAR解析では、災害多発区間の地表面変位を過去に遡って経時的かつ俯瞰的に把握することで、潜在リスク箇所として未然に災害の兆候を捕捉できる可能性を確認した。また、有識者による現地調査が困難な危険箇所では、遠隔臨場により安全を確保しつつ危険斜面のストリートビュー化や3D可視化技術により、立体的な視覚情報として記録して、対象を様々な角度から繰り返し確認することで現地での近接目視と遜色ない的確かつ迅速な診断につなげた。</p>
表彰理由
<p><有効性> 関東地方整備局管内の点検箇所数は千箇所を超えるなか、災害の兆候を速やかに把握し防災カルテ点検継続の有無を迅速に診断することが課題である。本業務では、下記の取り組みにより有識者等による診断を高度化した。 1)高精度地形図に加え、広域の地表面変位を比較的安価に捕捉できる衛星SAR解析を併用することで、潜在リスク箇所を抽出できる可能性があり有識者からも好評であった。今後、高リスク箇所の情報を段階的に詳細化し、緊急度高の箇所から詳細調査や対策を施せば効果的なリスク低減が期待できる。 2)MMSを用いて擁壁の壁面全体の状態を面的に捉え、はらみ出しの範囲・規模を明確に示すことで、的確な診断につなげた。 3)安全かつ迅速に危険斜面等の現地状況を把握するため、踏査ルートをストリートビュー化し危険源を3D化した。また、遠隔臨場と組み合わせることで、現場立入りを最小限に留め安全かつ的確な診断が実施できた。</p> <p><先進性> 令和元年度に全国の直轄国道で航空レーザ測量(LP)が実施され、そのデータを用いて比較的高い精度で危険箇所の抽出が可能となり、令和3年3月には本省から「三次元点群データを活用した道路斜面災害リスク箇所の抽出要領(案)」も発出されている。しかし、広範囲かつ高頻度のデータ取得にはコスト面で課題があるため、LPに比べ比較的安価にデータを取得できる衛星SAR解析により災害リスク箇所の抽出が可能かを確認した。 衛星SAR解析を用いて土砂災害多発区間における被災前後の地表面変位を過去に遡って確認した。実際に被災した箇所では、変状が顕在化する以前から地表面変位が沈降傾向を示していた。つまり、LPによる高精度の地形データと衛星SAR解析を組み合わせることで、スクリーニングすることで、災害発生の兆候を捉えられる可能性がある。地形的な潜在リスク箇所に加え、わずかな地表面変位を経時的に把握できる先進的な手法である。</p> <p><波及性> 航空レーザ測量(LP)と衛星SAR解析を組み合わせることで、スクリーニングすることで、災害リスク箇所の抽出精度と的確性が向上する。今後、適用事例を増やすことでモデルケースを作成し、スクリーニング手法等の標準化により関東地方整備局管内の道路関係事務所に波及することが期待される。また、効果的な道路防災管理や対策を実施するためには、道路以外の他分野とのデータ連携、特に沿道リスク低減のために砂防や河川分野との連携も重要と考えており、災害リスク低減に向け分野を超えた波及も期待される。 本業務で取り組んだ道路防災関連のデジタルデータの活用と蓄積は、変状原因を踏まえた効果的な詳細調査や対策にもつながる。それをもって道路防災管理の継続的改善によりマネジメント水準を向上させることで、被災リスク低減と迅速な復旧、社会的被害の最小化、道路の安全性と信頼性向上に資する。今後さらに活用の幅を広げることで波及効果が期待される。</p>

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5関東MC構造物LCC計算アプリ検討業務
受注者	株式会社建設技術研究所 東京本社
発注者	関東道路メンテナンスセンター

工事・業務概要

本業務は、道路施設の効率的な維持管理計画の立案支援のため、実際の橋梁点検データを用いてLCC(ライフサイクルコスト)を計算するためのアプリを構築・改良する業務である。

本業務では、令和4年から運用が開始されたxROADの「全国道路施設点検データベース」から、LCC計算に必要な点検データを取得して計算する方法を検討し、クラウド上での計算実行によって迅速に手間なくLCC計算を行えるようアプリの改良を行った。これにより、実際の点検データを基にして、橋梁ごとに予防保全と事後保全を比較した補修費用の推移や、各橋梁の健全度の推移をLCC計算結果として出力できるようにすることで、客観的な指標に基づく維持管理戦略の立案支援を可能とした。

表彰理由

<有効性>

○計算手法の信頼性: LCCの計算手法は、国土技術政策総合研究所の研究成果である国総研資料第985号「定期点検データを用いた道路橋の劣化特性に関する分析」等を適用し、計算を実行する職員の負担軽減のため計算条件やパラメーターは、予め推奨条件として設定した。また、補修工法は関東地整の実態に合わせて選定している。補修単価は補修工法ごとの標準単価として、積算基準に基づく歩掛りと労務単価を予め設定し、年度ごとに積算基準が更新された場合の補修単価の更新方法を確立した。

○簡便な利用環境: 国土技術政策総合研究所が開発したLCC計算アプリでは、LCC計算を実行するためのアプリを使用者のパソコンにインストールし、過去の点検データを手作業で収集してデータ形式を整理したうえで、計算条件やパラメーター設定を確認する必要があった。そこで、本業務では、LCC計算アプリの計算プログラムと関東地方整備局管内の全橋梁の点検データをクラウド上の仮想デスクトップ環境に構築し、ログインすることで迅速に手間なくLCC計算を実行できる利用環境を整えた。

<先進性>

○xROADの高度な活用: 令和4年7月から運用が開始されたxROADの「全国道路施設点検データベース」によって提供される点検データの実務への高度な活用をいち早く実現した。xROADデータの活用レベルの観点では、点検による橋梁ごとの判定区分や各部材の損傷程度、損傷写真の確認といった、点検データを参照・閲覧する程度の初歩的な活用の範囲を超え、データを統計的な分析や予測計算に活用する高度なデータ活用を実現させており、先進的な取り組みと評価できる。

○戦略的インフラメンテナンスへの貢献: 事後保全から予防保全への転換により、更新(架け替え)の抑制等によるLCC縮減や長寿命化が重要な課題となっている。こうした中、既存の成果としては、LCCの計算手法や試算を踏まえた考察の論文発表等は散見されるが、本業務の成果は、実際の点検データを用いて道路構造物の維持管理戦略の立案支援という、道路管理の実務に活用することを目的としている点が他と一線を画している。このように、LCC計算アプリを職員が迅速に手間なく利用できる環境を整備したことは、先進的な取り組みと評価できる。

<波及性>

○他の道路管理者への適用性: 本業務で構築したLCC計算アプリは、次の3点の特徴により、他の道路管理者がLCC計算を行う場合でも、計算根拠とする点検データや補修単価を入れ替えることにより適用できる。

- ・国総研にて検証された信頼性の高い計算手法を適用
- ・xROADの点検データは全ての道路管理者の点検データを蓄積
- ・クラウド環境にあるため、アプリを個別のパソコンへインストールすることなくログインにより利用開始が可能

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R4荒川第二調節池下大久保下流工区囲繞堤工事
受注者	戸田建設株式会社 関東支店
発注者	荒川調節池工事事務所

工事・業務概要
<p>荒川第二調節池整備は、荒川流域の治水安全度向上を図るための抜本的な対策として、広い高水敷を活用した調節池を整備するものであり、本工事は、荒川左岸39.0～39.6km付近において、囲繞堤築堤工事（施工延長約700m）等を行うものである。</p> <p>本工事では、地盤改良工における固結工の品質向上対策として、3Dモデルを活用した改良品質情報の一元集中を実施し、監督検査の効率化を行った。</p>
表彰理由
<p><有効性></p> <p>○出来形・品質資料作成時間の短縮が図られ有効性が確認された。</p> <p>【これまで】</p> <ul style="list-style-type: none"> 膨大な資料から出来形・品質それぞれを読み取り、管理図表を作成する。 <p>【これから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT施工により自動で得られた施工履歴を用いて3Dデータを作成することにより、資料作成時間を短縮。 <p>○監督検査の効率化が図られ有効性が確認された。</p> <p>【これまで】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図面や出来形管理図表等による確認である為、全体像を掴みづらく且つ書類が膨大。 <p>【これから】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成された3Dデータにて検査確認項目の視覚化を行い、効率的な検査を実現。 <p>（参考情報）</p> <ul style="list-style-type: none"> 書類作成時間＋検査時間を12.3時間から4.1時間へ短縮。※杭数が2000本の場合 <p><先進性></p> <p>建設業時間外労働の上限規制による働き方改革が求められている中、執務業務の効率化が急務となっている。特に大規模な地盤改良工のような資料が膨大となるものについてはその負担が大きく、その対応としてICT施工による情報の自動取得により取り纏め作業の短縮化を行った。さらに取得データを3Dデータに変換し、品質管理書類や出来形管理書類を属性付与することにより、監督検査中の書類の探索ややり取りの量の大幅な低減を図った。CIMデータを活用することにより、資料を一元管理することが可能となる為、2次元図面を使用する場合よりも監督検査に必要な時間を短縮が図られ、先進的な取組であった。</p> <p><波及性></p> <p>今後、国土強靱化・スマートインフラ整備に向けて、3Dデータの活用が不可欠となる為、施工履歴を3D化しそのまま監督検査まで活用できる形で、あらかじめ資料作成することで今後、同様工種においては技術者の業務負担を大幅に低減することが可能となり、波及効果が期待される。</p>

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	令和5年度横浜港新本牧地区護岸(防波)南側築造工事
受注者	あおみ建設株式会社
発注者	京浜港湾事務所

工事・業務概要

本工事は、横浜港新本牧地区において護岸(防波)南側の築造を行ったものであり、基礎捨石マウンドの投入、本均し(機械均し)整形後、千葉県袖ケ浦市内で製作されたハイブリットケーソン5函の運搬・据付を行ったものである。工事実施にあたりケーソン吊り曳航時の安全対策や高精度の据付が課題となったが、様々なICTやAI/ARを含むDX技術を駆使することで安全性を高め高精度で効率的な施工を実現した。

表彰理由

<有効性>

- ① ケーソン据付の高精度化 ケーソンのリアルタイムな位置情報を把握し、起重機船とクレーン付台船に設置したウインチの自動制御により、ケーソンの位置ズレを自動修正することで、据付精度の向上を達成した。また、水中部の目地間隔をリアルタイムに計測できる「耐マルチパス水中音響測位システム」を使用し、左右の目地間隔の均等性を高精度に保つことができた。
- ② ケーソンの起重機船による吊り運搬時の安全確保 AIによる航路ナビを活用し、高性能カメラの映像上に運航経路を拡張現実(AR)として表示することで、運航経路を遵守し、一般船舶との針路交差を予測・監視した。この結果、吊り運搬時の安全性が向上した。
- ③ CIM活用 吊上げ場所での係留状態から吊上げ、係留解除、運搬、据付、中詰材投入までのフローを、CIMを活用して作成した動画で表現することにより、施工関係者に視覚的に施工手順を理解してもらい、意思統一と理解度の向上に寄与した。

<先進性>

- ① 評価された新技術の活用 本工事で使用した「耐マルチパス水中音響測位システム」は、浅海域で安定かつ高精度に測位できる技術として、2023年5月には海洋音響学会から「業績賞」を受賞するなど、高く評価されている。現在、水中バックホウの遠隔操作の基礎技術として開発中のものを、ケーソン据付高精度化のために国内で初めて水中計測に活用している。
- ② AI・AR技術の統合活用 「ARを活用した航路ナビ」「AIを用いた船舶検知システム(AI-KEN)」「AIS情報とレーダー情報により一般船舶の動静を早期に把握できる航行安全管理システム(航行-MSCO)」を統合活用し、吊り運搬時の作業船団と一般船舶の安全を確保している。
- ③ CIMによる4Dシミュレーション ケーソン据付施工計画をもとに3次元モデルを活用し、作業船配置と既設構造物の位置関係を時間の経過ごとに確認可能な4Dシミュレーション動画を作成している。この動画は受発注者間や協力会社との打合せに活用されている。

<波及性>

- ① 技術の進展期待 目地間計測に使用した「耐マルチパス水中音響測位システム」は、本工事での活用を経て、今後水中でGNSSのように利用できる技術としての進展が期待される。
- ② AI・AR技術の適用拡大 本工事で活用したように、AI・AR技術を情報通信技術と組み合わせることで、今後様々な分野で港湾工事に適用され、安全な施工に直結することが期待される。
- ③ CIMデータの活用 CIMにより得られた3Dデータと付与された各属性データは、次工程の施工および供用後の維持管理にも活用される。
- ④ 次世代育成の取り組み 本工事においてインターンシップ(全国の高専・大学から参加)を7回現地開催した他、日建連・関東支部学生向け現場見学会の受け入れを行った。これにより、次世代の建設工事の担い手である学生に港湾工事のスケール感を実感してもらい、現場説明や工事概要説明時に建設DXの取り組みによる施工効率化の重要性を伝えることができた。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	令和5年度 鹿島港外港地区中央防波堤付属施設築造工事(その2)
受注者	五洋建設株式会社
発注者	鹿島港湾・空港整備事務所

工事・業務概要
<p>本工事は、鹿島港外港地区の荷役稼働率向上を目的とした長周期波対策の一環として、中央防波堤の港内側に基礎工、被覆・根固工及び消波工を施工したものである。</p> <p>受注者は、海象条件が厳しく稼働日が限られた当海域での消波ブロック据付において、</p> <p>①ブロック据付場所の現地盤を反映した三次元モデルを作成し、地盤の凹凸を考慮したブロック配置と施工手順を事前にシミュレーションすることで、ブロック据付作業時間の短縮に繋がった。</p> <p>②水中4Dソナー及び音響測位装置を活用し、水中部をリアルタイムで可視化することで、ブロック据付高さや傾きの良否を速やかに判断でき、ブロック据付時間の短縮に繋がった。また、潜水土とブロックの位置をリアルタイムで把握し、安全な離隔距離を目視確認することで、潜水災害発生リスクの低減に繋がった。</p> <p>③UAVグリーンレーザー測量により、水面下のブロックを三次元モデルで可視化し、ブロック全体の位置やかみ合わせを確認できたことで、出来形測定の有用性を示した。</p> <p>以上により、工期短縮及び無事故・無災害を実現した。</p>
表彰理由
<p><有効性></p> <p>①【据付計画】据付前の現地盤を反映した三次元モデルを使用し、ブロックのかみ合わせを考慮したブロック配置のシミュレーションを実施した。また、クレーン運転席（運転手からの視線）及びクレーンブーム先端カメラ（真上からのカメラ映像）に合わせた配置図を作成し、ブロック1個あたり据付作業時間の短縮及び据付精度の向上を図った。これにより、計画より3日間の工程短縮が実現でき、当時の現場稼働率を考慮すると約12日分であり、その後の海象不良を鑑みると大いに有効であった。</p> <p>②【据付作業】4Dソナーと音響測位装置を使用することで、潜水土とブロック（クレーン付台船ブーム先端）との位置関係をリアルタイムに可視化でき、クレーン付台船運転手は、安全な離隔距離が確保されていることを目視で確認しながら作業可能となったことで、事故・ヒヤリハット無く工事を完了させた。</p> <p>③【据付成果】施工場所は、干潮時でも上段の消波ブロック頭頂部が僅かに水面上で目視できる程度であるが、UAVグリーンレーザー測量により水中部のブロック据付状態が可視化され、ブロックの配置やかみ合わせに問題ないことを確認する有効な手段となった。</p> <p><先進性></p> <p>①【据付計画】事前シミュレーションの精度を上げるため、消波ブロック据付前に捨石マウンドのナローマルチビーム測深を行い、現況地盤の三次元モデルを作成した。実際の地盤の凹凸を考慮したブロックの配置をシミュレーションすることで据付精度が大きく向上し、より現地状況に即した据付計画を立案することが可能となった。</p> <p>②【据付作業】潜水土が装着した水中カメラ映像と、クレーン付台船に設置した水中4Dソナーによる水中部4D映像を同時に確認することが可能となった。陸上から目視できない水中部のブロックもリアルタイムに可視化されるため、ブロック据付時の高さや傾きの良否をクレーン運転手と元請職員が同時に速やかに判断することが可能となった。</p> <p>③【据付成果】グリーンレーザー測量システムの使用により、構造物のデータを陸上部から水中部にかけて連続的かつ詳細に取得することが可能となった。水中部の消波ブロック形状も鮮明に捉え、当測量が水深－7m程度の計測に有効であることを実証した。</p> <p><波及性></p> <p>①【据付計画】種類の異なるブロックを同一断面に据付する場合、形状が異なるブロック同士のかみ合わせ、据付位置・個数を事前に精度良くシミュレーションすることで、断面形状や仕上がり天端高の検討が可能となる。</p> <p>②【据付作業】潜水土の安全確保の観点から、近年採用が増えている工法「ブロック撤去用バケット」にて既設ブロックを撤去する場合、水中部を可視化することで、撤去対象ブロックを安全かつ確実に掴んで撤去可能となる。</p> <p>③【据付成果】離岸堤や潜堤等、陸上からの出来形測定が困難な場合、UAVグリーンレーザー測量により陸上から目視できないブロックを三次元モデル化して、天端幅・天端高を算出可能となる。また、施工延長が長い場合や海象条件により作業日が限定される場合、UAVグリーンレーザー測量を活用して据付成果を確認することで、潜水作業を省力化し、潜水土の負担低減に繋がることが期待できる。</p>